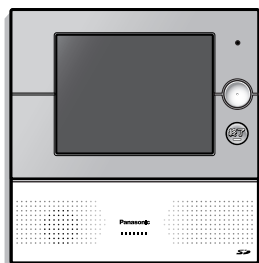
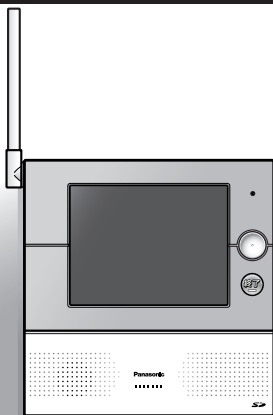
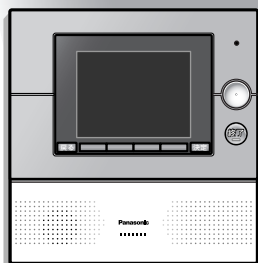
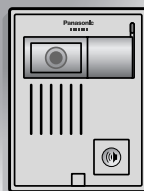
Panasonic®

取扱説明書

住まいるサポ [S型] [W型] 3：5

親機
品番 WQH500W

親機
（ワイヤレス機器接続型）
品番 WQH510W

通話副親機
品番 WQH571W
品番 WQH570W

副親機
品番 WQH552W

子器
品番 WQD872B（例）

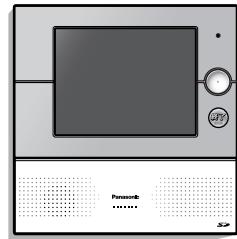
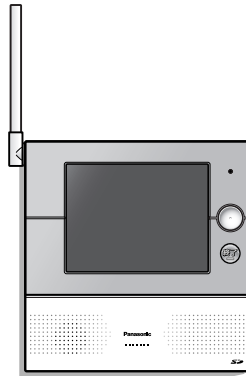
保証書別添付

施工説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（12ページ）を必ずお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●各機器の商品名と品番については、14～24ページを参照してください。

この取扱説明書は親機がWQH500Wの場合とWQH510W(ワイヤレス機器接続型)の場合を共用しています。
親機の**Panasonic**マーク下に表示されている品番をご確認のうえ、該当するページをお読みください。

●もくじに WQH500W WQH510W マークで示しています。

WQH500W　　WQH510W

付属のSDメモリーカードを親機に挿入してください。
☞15ページ
挿入していないと、録画・録音は行われません。

●SDメモリーカードの注意事項については、86・87ページをご確認ください。

●もくじ

はじめに　WQH500W　WQH510W

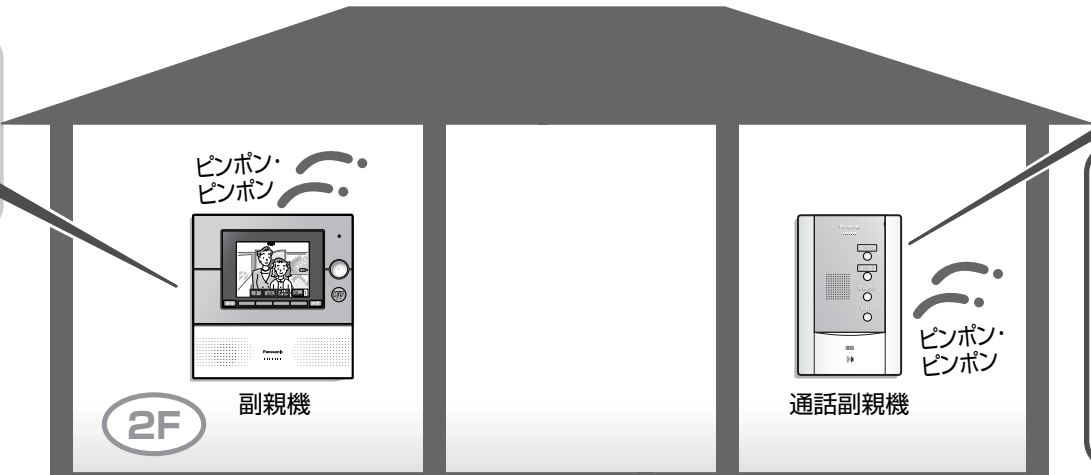
生活モード　WQH500W　WQH510W

通　話　WQH500W　WQH510W

もくじ（つづき）

●商品の特長とシステム例

この商品は戸建て住宅専用です。マンションなどの集合住宅には使用できません。

副親機
●子器からの呼出に応答できます。
●ほかの部屋と内線通話ができます。
●各子器まわりの様子をモニターできます。

通話副親機
●子器からの呼出に応答できます。
●ほかの部屋と内線通話ができます。

親機
●子器からの呼出に応答できます。
●ほかの部屋と内線通話ができます。
●来客者や侵入者の映像を動画録画・録音します。
●各子器まわりの様子をモニターできます。
●ワイヤレス機器が登録できるアンテナ付タイプもあります。

子器
●来客時に親機、副親機、通話副親機を呼び出します。

センサーカメラ
●侵入者(※)を検知し警告したうえ撮影します。
●照明機能のないタイプもあります。

副親機

通話副親機

2F

カラーカメラ付
ドアホン子器

玄関

1F

親機

センサーライト付
カメラ子器

ガレージ

センサー付
カメラ子器

※侵入者を区別して検知するものではありません。
(74ページ参照)

システムアップでさらに便利に

●**増設スピーカーを接続すると…**
音や光で来客などをお知らせします。

●**住宅用火災警報器やアラームユニットを接続すると…**
異常発生時に親機、副親機、通話副親機、および子器でも警報をお知らせします。
住宅用火災警報器(連動型)の場合は、警報器の警報音を住まいるサポで止めることができます。

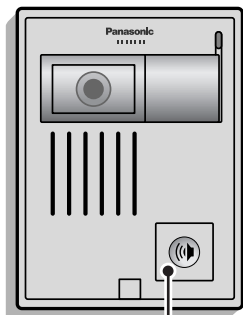
●**ワイヤレスセンサーを設置すると… (親機がWQH510Wの場合)**
玄関や窓などをワイヤレス機器によって警戒し、異常発生時に住まいるサポで警報を知らせます。

●**電気錠操作器を接続すると…**
画面でお客様を確認後、住まいるサポから玄関を施錠・解錠できます。

●**住まいるサポ専用計測ボックスを接続すると…**
住宅分電盤に住まいるサポ専用計測ボックスを接続すると、省エネモニターを表示できます。

●**ネットアダプタ(住まいるサポ用)を接続すると…**
住まいるサポをインターネットに接続し、家の様子を携帯電話から確認することができます。
詳しくは当社へ相談してください。

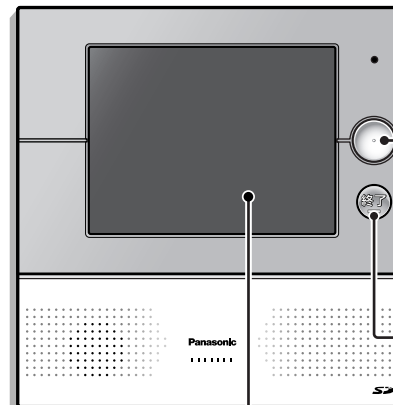
●使ってみましょう！①

玄関先の子器で

室内を呼び出すには

1. を押す
2. 相手が応答したら通話する

室内の親機・副親機で

親機（WQH500W）の場合

「ピンポン・ピンポン」が鳴ったら…

1. お客様が映る（映像が出る）
2. （ガイドボタン）を押す
3. お客様と通話する
4. 終わったら 終了 を押す

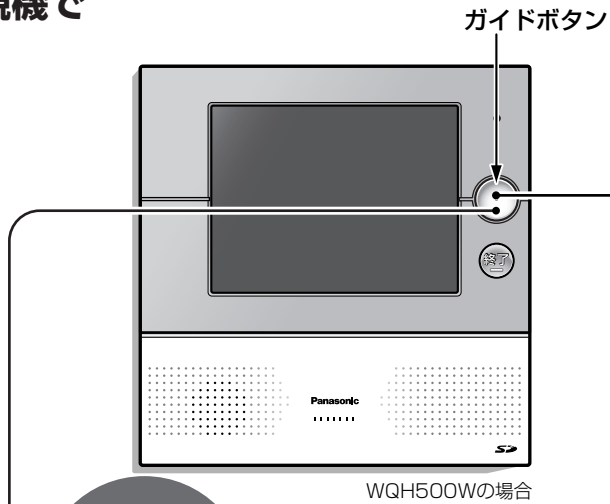
メモ

室内の通話副親機で

●通話副親機の場合は、通話ボタンを押すと、通話の応答・終了ができます。ただし、モニター画面がないため、映像は映し出せません。

●使ってみましょう！②

室内の親機で

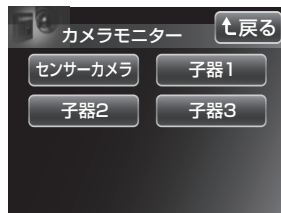
WQH500Wの場合

玄関まわりなどの様子を確認するには

1 （ガイドボタン）を押す

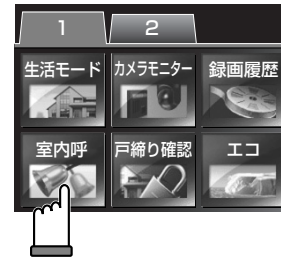
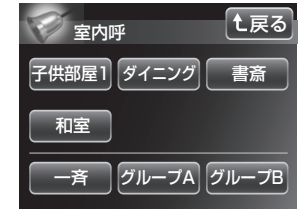
2 カメラモニター をタッチする

3 確認したい場所の子器を選んでタッチする

4 映像を確認する

※30秒経過すると自動的に消えます。

ほかの部屋と話すには

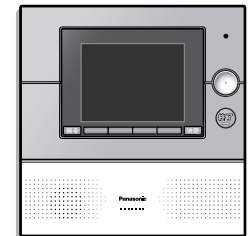
1 （ガイドボタン）を押す

2 室内呼 をタッチする

3 話したい部屋を選んでタッチする

4 通話する

5 終わったら 終了 を押す

メモ

室内の副親機・通話副親機で

●副親機でも親機と同様にカメラモニターや室内呼び出しができます。
ただし、画面はタッチパネルではなく、機能ボタンとなり、画面表示は親機とは異なります。
●通話副親機からほかの部屋を呼び出す場合は、一斉呼出かグループ呼出となります。
☞69 ページ

●安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。
禁止	**SDメモリーカードは乳幼児の手の届く所に置かない。** 誤って飲み込むおそれがあります。 万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師と相談してください。
必ず守る	**万一、異常が発生したら電源スイッチを切る。** 切らないと、発熱・発火の原因となります。(電源スイッチの切り方：179ページ)

⚠注意

禁止	**液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない。** 液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となります。
接触禁止	**液晶パネルが割れた場合、液晶パネル内部の液体には絶対に触らない。** 皮膚の炎症などの原因となります。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師と相談してください。

●使用上のご注意

■停電のとき

●この商品は、予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので停電の場合は動作しません。

■映像に関するご注意

●夜間など周囲が暗くなっても、子器内蔵の赤外線照明により撮像し、子器から50cm以内の来客などを映し出しますが、周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。(赤外線照明の照射距離が約50cmのため、それ以上離れている背景などは映し出せません。)周囲が常に暗い場所では蛍光灯などの補助照明を設置してください。

●子器は夜間、被写体を見えやすくするために感度を上げています。そのため、背景の暗い部分にノイズが見えやすくなることがありますが、故障ではありません。

●子器に直射日光や強い照明の光などが入ると、親機、副親機の画面に縦の白線や黒点が生じて映像が白くなったり、太陽光や照明の光による反射模様が発生することがありますが、故障ではありません。(右図)使用上問題がある場合は、子器の取付場所を変更してください。

●しま模様や細かい模様を映し出した場合、実際の人物や背景とは輪郭が異なったり、実際にない色を映し出すことがありますが、故障ではありません。

●モニター画面に使用している液晶には、画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますが、故障ではありません。

●近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

使用上のご注意

 水をかけないで! 故障の原因となります。	 **ストーブなど高温の物を近づけないで!** 故障の原因となります。	 **炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!** 故障の原因となります。	 **テレビ・ラジオなどは2m以上離して!** 映像や音声が乱れる場合があります。

お手入れ

ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。

汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

●各部のなまえとはたらき

親機

住まいるサポ[S型]3:5 親機

品番 WQH500W（露出型）（動画録画・録音機能付）（5型モニター）

画面に表示されるボタンの操作と説明書の表記について ☞27ページ

注 ランプはすべて点灯している状態で説明しています。

モニター画面

留守ランプ

留守設定時は赤色点灯、留守設定中に録画·録音されると赤色点滅します。

呼出音停止ランプ

呼出音量「切」のときに赤色点灯します。（68ページ参照）

解錠ランプ

別売の電気錠操作器を接続している場合、解錠すると赤色点灯します。

スピーカー

電源スイッチ

出荷時：「入」側

通話用マイク

ガイドライン

- ●呼び出されたときやセンサーカメラが検知したときに青色点滅し、通話中に青色点灯します。
- ●別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時などに赤色点滅します。（88ページ参照）

ガイドボタン

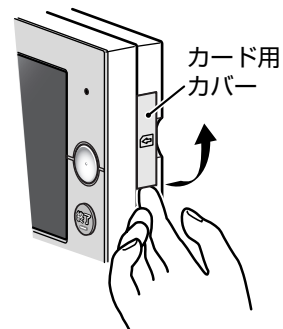
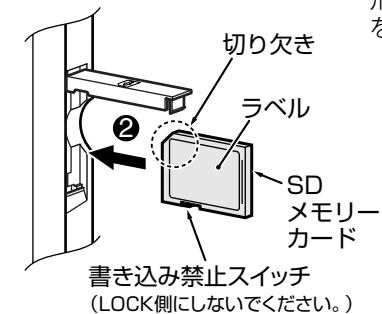
- ●通話するときに押します。
- ●メニュー画面を表示させるときに押します。
- ●画面が消えていてガイドラインが赤色点滅している場合、押すと「お知らせ画面」が表示されます。（96ページ参照）

終了ボタン

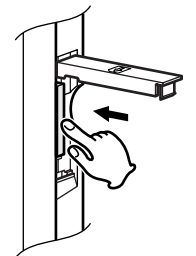
通話やメニュー操作を終了するときに押します。

SDメモリーカードの出し入れ方法

注
- ●カードはモニター画面が消えている状態で挿入してください。
- ●カードを取り出す際には、121ページにしたがって取り出し操作をしてください。

❶ **カード用カバーを開ける**

❷ **カードの向きを確認し、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む**

❸ **カード用カバーを閉じる**

SDメモリーカードを取り出すとき

カードを「カチッ」と音がするまで押してから、飛び出しているカードをまっすぐ引き抜く

●各部のなまえとはたらき（つづき）

親機

住まいるサポ[W型]3:5 親機

品番WQH510W（露出型）（ワイヤレス機器接続型）
（動画録画・録音機能付）（5型モニター）

画面に表示されるボタンの操作と説明書の表記について ☞27ページ

注 ランプはすべて点灯している状態で説明しています。

アンテナ

留守ランプ
留守設定時は赤色点灯、留守設定中に録画·録音されると赤色点滅します。

報知ランプ
報知セットされると緑色点灯します。

呼出音停止ランプ
呼出音量「切」のときに赤色点灯します。（68ページ参照）

解錠ランプ
別売の電気錠操作器を接続している場合、解錠すると赤色点灯します。

戸締り確認ランプ※
開いている窓や玄関があると赤色点灯します。

電源ランプ
電源が入っていると緑色点灯します。

スピーカー

受信モニター
ワイヤレス機器からの信号を受信すると赤色点灯します。

警戒ランプ
警戒セットされると赤色点灯します。

モニター画面

通話用マイク

ガイドライン
- 呼び出されたときやセンサーカメラが検知したときに青色点滅し、通話中に青色点灯します。
- 別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時などに赤色点滅します。（88ページ参照）

ガイドボタン
- 通話するときに押します。
- メニュー画面を表示させるときに押します。
- 画面が消えていてガイドラインが赤色点滅している場合、押すと「お知らせ画面」が表示されます。（96ページ参照）

SDメモリーカードの出し入れ方法 ☞15ページ

終了ボタン
通話やメニュー操作を終了するときに押します。

電源スイッチ
出荷時：「入」側

切 入 電源
カバー

●カバーをはずしてください。

※ワイヤレスドアセンサー送信器・ワイヤレス窓センサー送信器を登録している場合のみ

●各部のなまえとはたらき（つづき）

副親機 住まいるサポ3:5 副親機

品番 WQH552W（露出型）

注 副親機では録画・録音画像を再生できません。

画面に表示されるボタンの操作と説明書の表記について ☞27ページ

注 ランプはすべて点灯している状態で説明しています。

警戒ランプ※
警戒セットされると赤色点灯します。

報知ランプ※
報知セットされると緑色点灯します。

呼出音停止ランプ
呼出音量「切」のときに赤色点灯します。（68ページ参照）

解錠ランプ
別売の電気錠操作器を接続している場合、解錠すると赤色点灯します。

戸締り確認ランプ※
開いている窓や玄関があると赤色点灯します。

スピーカー

電源スイッチ
出荷時：「入」側

モニター画面

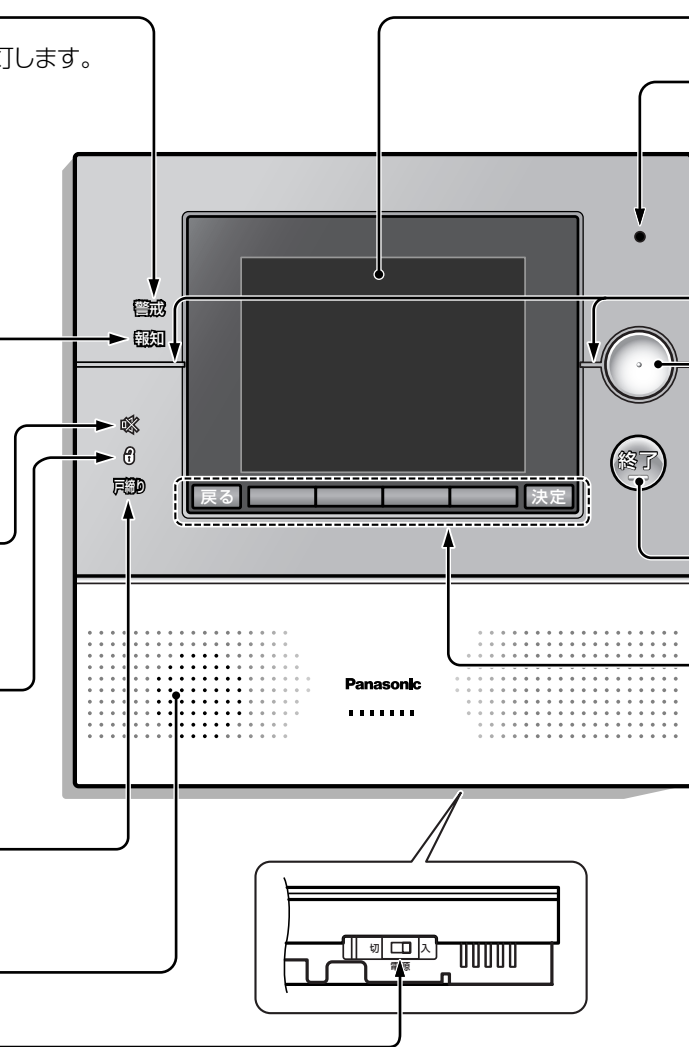
通話用マイク

ガイドライン
- 呼び出されたときやセンサーカメラが検知したときに青色点滅し、通話中に青色点灯します。
- 別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時などに赤色点滅します。（88ページ参照）

ガイドボタン
- 通話するときに押します。
- メニュー画面を表示させるときに押します。
- 画面が消えていてガイドラインが赤色点滅している場合、押すと「お知らせ画面」が表示されます。（96ページ参照）

終了ボタン
通話やメニュー操作を終了するときに押します。

機能ボタン
画面操作をするときに押します。

警戒
報知
戸締り
戻る
決定
終了
Panasonic
切
入
電源

※親機がWQH510Wの場合のみ
　また、戸締り確認ランプは、ワイヤレスドアセンサー送信器・ワイヤレス窓センサー送信器を登録している場合のみ

●各部のなまえとはたらき （つづき）

通話副親機

住まいるサポ3:5 通話副親機

品番WQH571W（露出型）（電気錠釦付）
品番WQH570W（露出型）

注 ランプはすべて点灯している状態で説明しています。

警報ランプ

別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時に赤色点滅します。（88 ページ参照）

使用中ランプ

ほかの機器が使用中で操作できないときに赤色点灯します。
（68 ページ参照）

呼出音停止ランプ

呼出音量「切」のときに赤色点灯します。
（68 ページ参照）

スピーカー

解錠ランプ

別売の電気錠操作器を接続している場合、解錠すると赤色点灯します。
（WQH571Wのみ）

通話ボタン

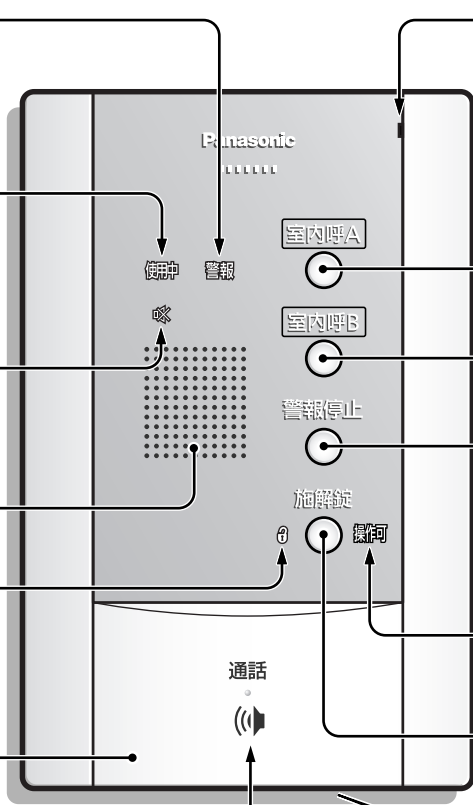
通話するときに押します。

通話中ランプ

呼び出されたときに点滅し、通話中に点灯します。

子器1	赤色（点滅：速）
子器2	黄色（点滅：速）
子器3	赤色（点滅：遅）

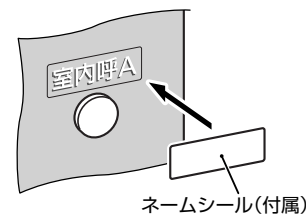
センサーカメラ	検知時、黄色点滅 （通話ボタンを押している間は点灯）
室内呼	緑色

注 センサーカメラを複数台接続していてもすべて黄色点灯・黄色点滅です。（区別はできません。）

通話用マイク

室内呼A・室内呼Bボタン

室内呼出をするときに押します。（69ページ参照）
（例えば、室内呼Aボタンを押すと、グループAに設定されている機器を呼び出します。）

●室内呼A・室内呼Bボタンの表示は呼出先に応じて付属のネームシールから選んで変更できます。

室内呼A
ネームシール（付属）

警報停止ボタン

警報時の警報音を止めるときに押します。

操作可ランプ

施解錠操作が可能であるときに緑色点灯します。（WQH571Wのみ）

施解錠ボタン

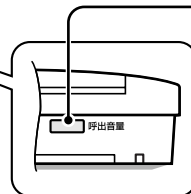
電気錠を施錠・解錠するときに押します。（WQH571Wのみ）

呼出音量切替ボタン

呼出音量

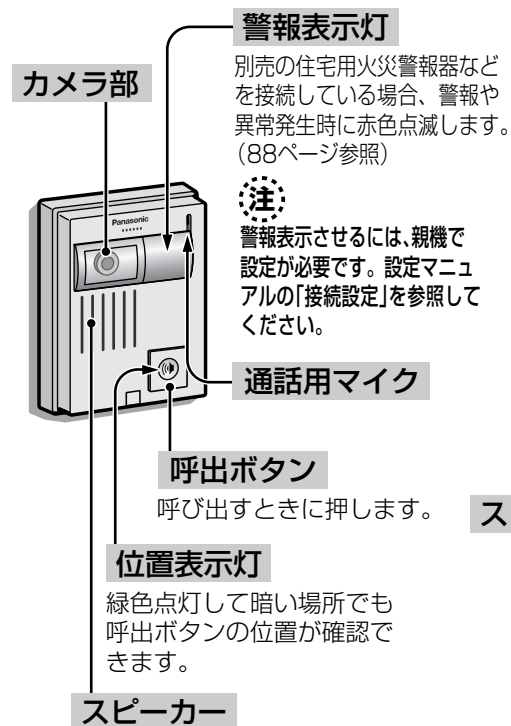
押すごとに呼出音を4段階（大→切→小→中→大…）で切り替えます。
（出荷時：大）

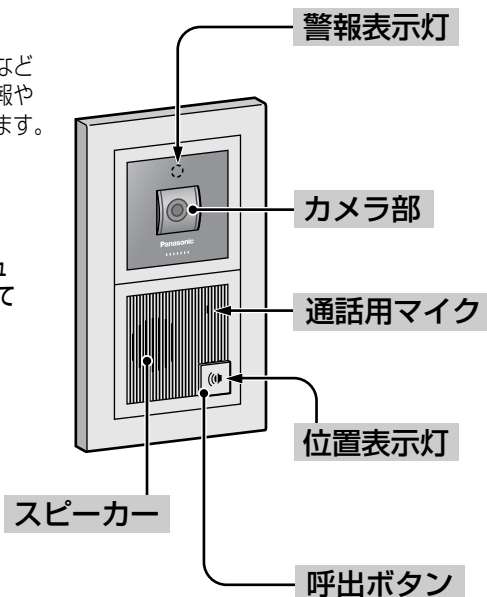
動作していないときに設定可能

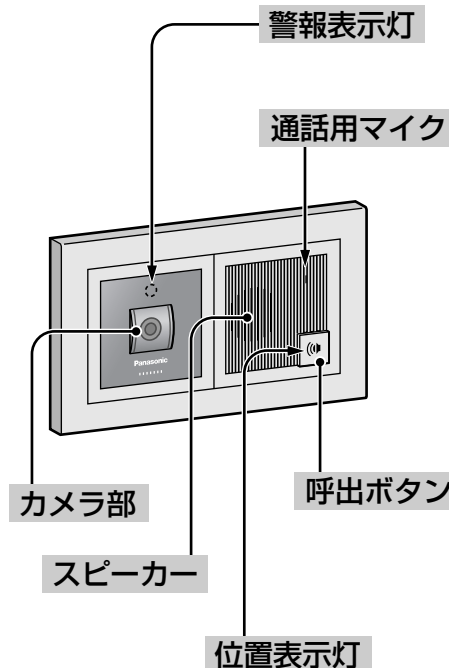
注
●警報音量と通話音量の切替、および増設スピーカーの音量調節はできません。
●切り替えると、設定した音量で「ピンポン」音が鳴ります。
●連絡（コール）用押釦が押されたときの呼出音「プップップー」音量も同時に切り替わります。

●各部のなまえとはたらき（つづき）

注 露出薄型や露出薄型・金属プレート付のカラーカメラ付ドアホン子器（WQD852B・WQD852S・WQD852Y・WQD862B・WQD862Y）も使用できます。

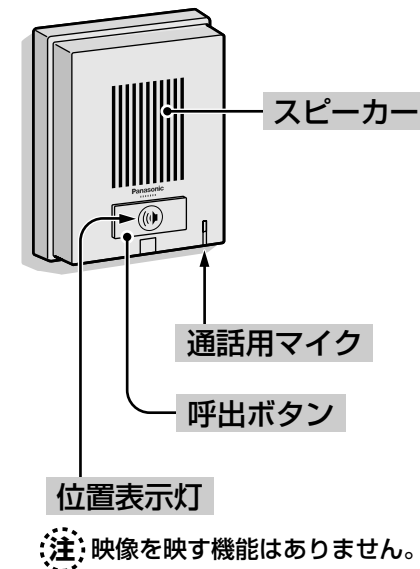
カラーカメラ付ドアホン子器
（広角）（露出型）（警報表示付）

品番WQD872B（オフブラック）
品番WQD872S（シルバー）
品番WQD872Y（シャンパンブロンズ）

カラーカメラ付ドアホン子器
（広角）（FFシリーズ）（縦型）（警報表示付）

品番WQD828B（ブラック）

カラーカメラ付ドアホン子器
（広角）（FFシリーズ）（横型）（警報表示付）

品番WQD827B（ブラック）

ドアホン子器
（露出型）（グレイッシュブラウン）

品番WQD500A

注 映像を映す機能はありません。

子器に関するご注意

- 外気温が急激にさがった場合（降雨後など）、子器のカメラ部がくもり、映像がぼやけることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると正常に戻ります。
- 子器は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
- 冬期、子器の表面が凍結すると、映像が見えにくくなったり、呼出ボタンが動かないことがありますが、故障ではありません。
- カメラ部の汚れがひどいときは、コップなどで少量の水を数回ゆっくりかけて砂ぼこりなどを洗い流した後、柔らかい布で軽くふいてください。強くこすって傷がつくと、映像が見えにくくなる場合がありますので注意してください。

●各部のなまえとはたらき（つづき）

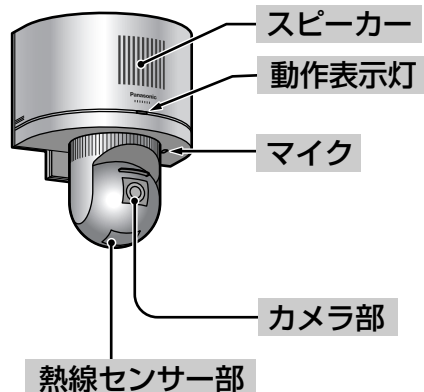
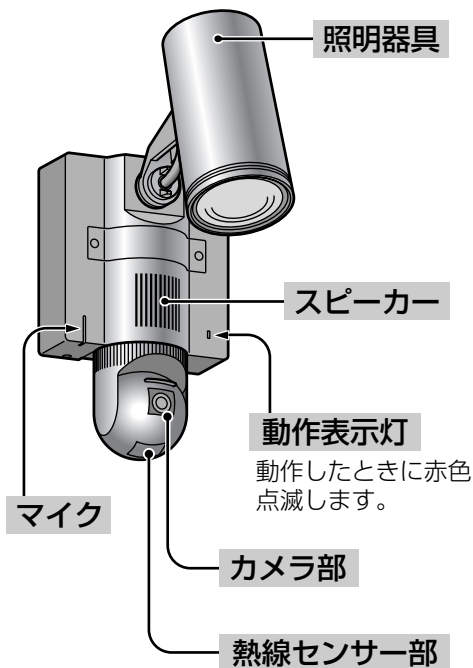
センサーカメラ

注 この取扱説明書では、センサーライト付カメラ子器またはセンサー付カメラ子器のことを「センサーカメラ」と表記します。

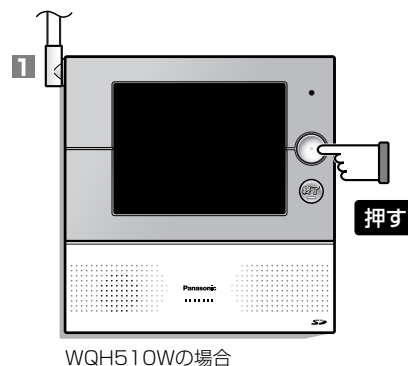
センサーライト付カメラ子器

品番 WQD843B（オフブラック）
品番 WQD843Y（プラチナメタリック）

センサー付カメラ子器

品番 WQD832B（オフブラック）
品番 WQD832Y（プラチナメタリック）

●メニュー画面について

●メニュー画面は操作や設定の入り口です。

WQH510Wの場合

1 モニター画面が消えているとき（ガイドボタン）を押す

2 メニュー画面が表示される

3 操作・設定したい項目をタッチする

●各項目の画面が表示されます。

注 接続されている機器に関するメニュー（画面表示）が表示されます。

☞30ページ

☞158ページ

☞62ページ

☞100ページ

☞82ページ

☞116ページ

☞66ページ

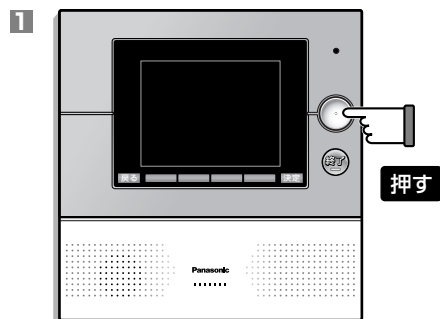
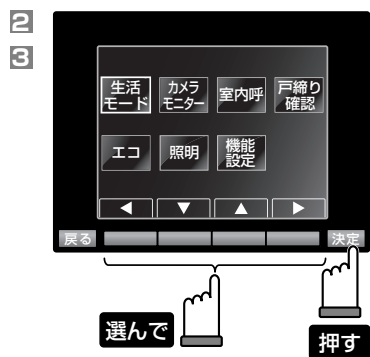
☞116ページ

☞57ページ
144ページ

☞別冊「設定マニュアル」

☞102ページ

●メニュー画面について（つづき）

副親機

1 モニター画面が消えているとき（ガイドボタン）を押す

2 メニュー画面が表示される

3 操作・設定したい項目を画面下ボタンで選んで 決定 を押す

●各項目の画面が表示されます。

☞30ページ

☞62ページ

☞58ページ
144ページ

☞66ページ

エコ ☞103ページ

☞158ページ

☞116ページ

注 接続されている機器に関するメニュー（画面表示）が表示されます。

●画面に表示されるボタンの操作と説明書の表記について

親　機

◎たとえば、画面表示をズーム画像に切り替える場合は…

SDメモリーカードが挿入されているときに表示されます。

◎取扱説明書では ズーム をタッチする と表記します。

●操作するときは画面のボタン表示をタッチしてください。

注 モニター画面（タッチパネル）は傷がつきやすいため、先端が固いもの（爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。

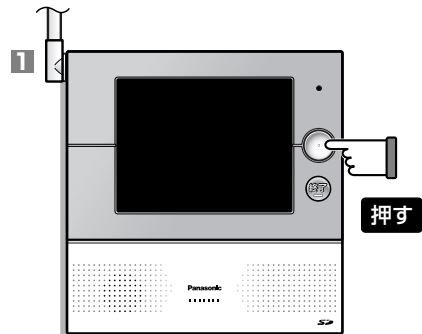
副親機

◎たとえば、画面表示をズーム画像に切り替える場合は…

●画面表示と下の機能ボタンが対応していますので、操作するときは対応する機能ボタンを押してください。

●時刻を設定する 〔ご使用前に必要です〕

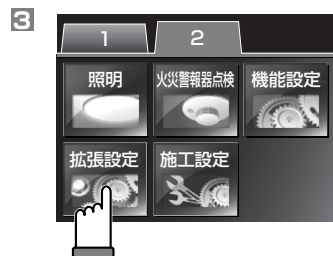
●ご使用前に必ず日付時刻設定を行ってください。
（未設定時は、映像表示時などに画面下に「時刻設定してください」と表示されます。）

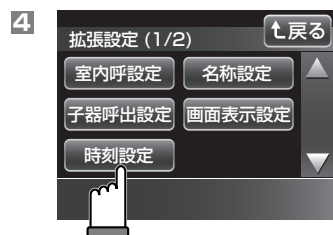
注 **●時刻を設定しないと、再生時にいつの録画データなのかわからなくなります。**
●1時間以上停電があった場合には時刻設定は消える場合があります。
その場合は再度設定してください。

1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 2 をタッチする

●メニュー2画面が表示されます。

注 **メニュー画面のボタン構成は接続している機器によって異なります。**

3 拡張設定 をタッチする

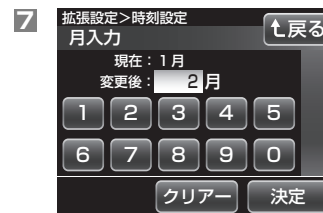
●拡張設定画面が表示されます。

4 時刻設定 をタッチする

●時刻設定画面が表示されます。

5 「年」表示をタッチする

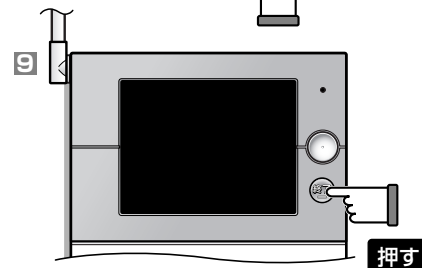
●年入力画面が表示されます。

6 番号ボタンで「年」を入力して 決定 をタッチする

●時刻設定画面に戻ります。
● クリアー をタッチすると入力中の数値が消去されます。

7 手順 5・6 と同様に「月」・「日」・「時」・「分」を入力する

注 「時」は24時間表示で入力してください。

8 決定 をタッチする

●入力した時刻を決定します。

9 終了 を押す

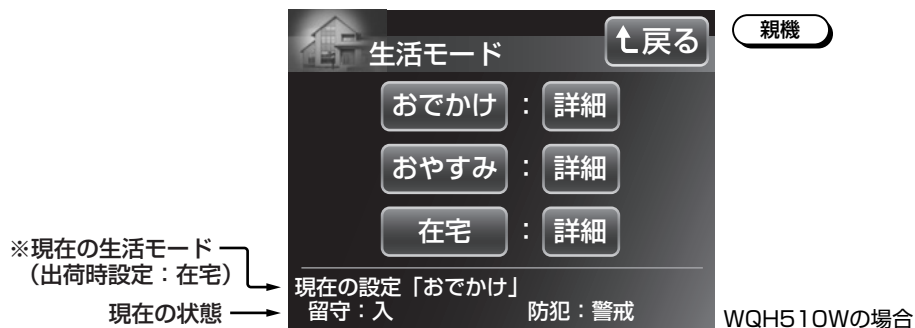
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

●生活モードについて

●現在の生活モード(おでかけ/おやすみ/在宅)を選ぶだけで、それぞれのモードに適した住まいるサポシステムの状態を一括して設定します。シーンに合わせて生活モードを切り替えてください。

親機

生活モード　↰戻る
おでかけ ： 詳細
おやすみ ： 詳細
在宅 ： 詳細
現在の設定「おでかけ」
留守：入　防犯：警戒

※現在の生活モード（出荷時設定：在宅）
現在の状態

WQH510Wの場合

※警戒セット・解除発信器を操作したり、ネットアダプタ(住まいるサポ用)接続時に携帯電話から住まいるサポを操作した場合などに、現在の生活モードと設定内容が一致しない状態になる場合があります。この場合、親機に「生活モードを再設定してください」が表示されますので、生活モードを選び直してください。

■設定される内容(出荷時設定)

生活モード	留守録画 (☞78ページ)	センサーカメラ検知 (☞74ページ)	防犯状態(☞45ページ) (WQH510Wの場合のみ)
おでかけ	入	入(報知あり)	警　戒
おやすみ	切	入(報知なし)	報　知
在　宅	切	入(報知あり)	非警戒

●この取扱説明書では、生活モードを出荷時設定のままで使用していることを前提に、各機能を説明しています。

●設定は変更することもできます。
☞WQH500W：34ページ、WQH510W：43ページ

生活モードの操作については

●WQH500W(親機)の場合☞31～35ページ
●WQH510W(親機)(ワイヤレス機器接続型)の場合
☞36～45ページ
をお読みください。

●おでかけモードに設定する WQH500W

〈留守：入/センサーカメラ検知：入(報知あり)〉

1

1 (ガイドボタン)を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 親機

2 副親機

2 生活モード をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●生活モード画面が表示されます。
●親機か副親機のどちらかで設定すれば設定されます。

3 親機

生活モード　↰戻る
おでかけ ： 詳細
おやすみ ： 詳細
在宅 ： 詳細
現在の設定「おでかけ」
留守：入

3 副親機

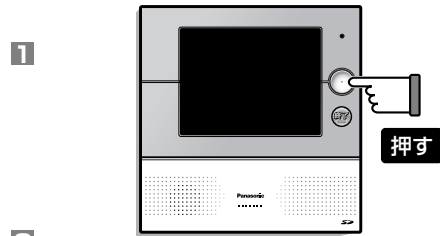
3 おでかけ をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●「セットしました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。

〈出荷時設定〉
おでかけモードに設定すると

●留守中の来客画像を録画・録音します。☞78ページ
●センサーカメラが接続されている場合、センサーカメラ動作を報知音で知らせ、映像を録画・録音します。☞74ページ

注 **おでかけモードに設定してから約5分間は動作しません。**

●おやすみモードに設定する WQH500W

〈留守：切/センサーカメラ検知：入(報知なし)〉

1

2 親機

2 副親機

3 親機

生活モード 戻る
おでかけ：詳細
おやすみ：詳細
在宅：詳細
現在の設定「おでかけ」
留守：入

3 副親機

1 (ガイドボタン)を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 生活モード をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●生活モード画面が表示されます。
●親機か副親機のどちらかで設定すれば設定されます。

3 おやすみ をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●「セットしました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。

〈出荷時設定〉
おやすみモードに設定すると

●センサーカメラが接続されている場合、センサーカメラ動作時の映像を録画・録音します。(報知音は鳴りません。) ☞74ページ

●在宅モードに設定する WQH500W

〈留守：切/センサーカメラ検知：入(報知あり)〉

1

2 親機

2 副親機

3 親機

3 副親機

1 (ガイドボタン)を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 生活モード をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●生活モード画面が表示されます。
●親機か副親機のどちらかで設定すれば設定されます。

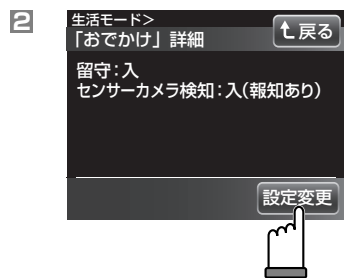
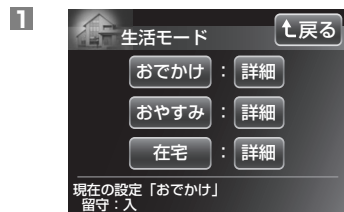
3 在宅 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●「セットしました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。

〈出荷時設定〉
在宅モードに設定すると

●センサーカメラが接続されている場合、センサーカメラ動作を報知音で知らせ、映像を録画・録音します。☞74ページ

●生活モードの設定内容を変更するには WQH500W

●おでかけ、おやすみ、在宅の各モードの設定は変更することもできます。

注 下記は、出荷時の設定内容で説明しています。

1
生活モード　戻る
おでかけ：詳細
おやすみ：詳細
在宅：詳細
現在の設定「おでかけ」
留守：入

1 生活モード画面で、変更したいモードの 詳細 をタッチする（親機）

●詳細画面が表示されます。

2
生活モード>
「おでかけ」詳細　戻る
留守：入
センサーカメラ検知：入（報知あり）
設定変更

2 現在の設定を確認して 設定変更 をタッチする

●設定画面が表示されます。
●センサーカメラを接続していない場合は、センサーカメラ検知表示がグレー表示になります。

3
生活モード>詳細>
「おでかけ」設定　戻る
留守　入　切
センサーカメラ検知
入 報知あり　入 報知なし　切
決定

3 各項目の設定を選んでタッチする

■留守（☞78ページ）

入 ：留守設定になります。
切 ：留守設定が解除されます。

■センサーカメラ検知
（☞74ページ）

入 報知あり（報知あり）：センサーカメラが動作すると親機で録画･録音し、報知音も鳴ります。

入 報知なし（報知なし）：センサーカメラが動作すると親機で録画・録音しますが、報知音は鳴りません。
（画面は表示されません。）

切 ：センサーカメラが動作しても親機では録画・録音せず、報知音も鳴りません。

4
4 決定 をタッチする

5 終わるとき 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。
●変更後、生活モードの変更を行ってください。☞31～33ページ

●おでかけモードに設定する WQH510W

〈留守：入/センサーカメラ検知：入（報知あり）/防犯状態：警戒〉

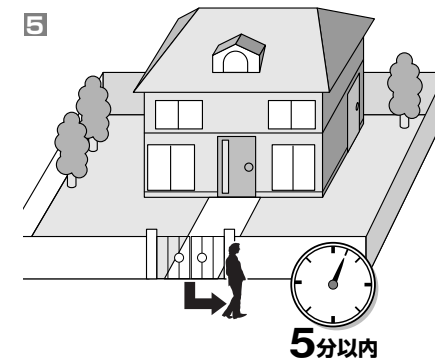
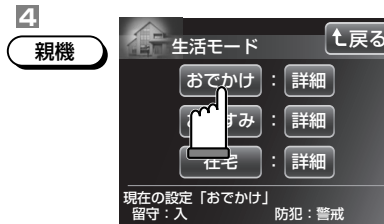
1 玄関・窓用の送信器をお使いの場合
玄関や窓を閉め、クレセント錠をロックする

●戸締り確認ランプが消灯していることを確認してください。
●戸締り確認ランプが赤色点灯している場合は、開いている玄関や窓があります。☞38ページ

2 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

3 生活モード をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●生活モード画面が表示されます。

4 おでかけ をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●「警戒を受付けました 5分後に警戒を開始します」が表示され、約30秒後にモニター画面が消えます。
●玄関と敷地が警戒開始遅延状態（☞180ページ）になり、窓1と窓2が警戒セットされます。
●玄関・敷地を登録していない場合は、即時警戒セットされます。
● 即警戒 をタッチするとすべてのエリアが即時警戒セットされます。
● 解除 をタッチすると警戒が解除されます。
●警戒セット・解除発信器を使えば即時警戒セットすることができます。☞162ページ

5 5分以内に敷地内から外出する

●5分経過すると、玄関と敷地が警戒セット状態になります。
●「警戒を開始しました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。
●警戒ランプが赤色点灯します。
●警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合は、警報ランプが点灯し、宅外でも警戒セット中をお知らせできます。（警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。）

〈出荷時設定〉
おでかけモードに設定すると

●警戒エリアで異常があると警報が鳴ります。
●留守中の来客画像を録画・録音します。☞78ページ
●センサーカメラが接続されている場合、センサーカメラ動作を報知音で知らせ、映像を録画・録音します。☞74ページ

注 おでかけモードに設定してから約5分間は動作しません。

おでかけモードに設定する WQH510W (つづき)

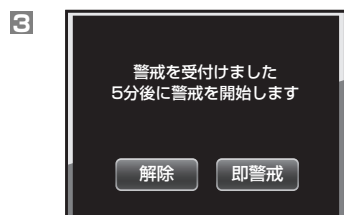
■戸締りができていない場合

● おでかけ をタッチしたとき、警戒するエリアで送信器を設置した窓が開いているなどの異常があった場合は、戸締りができていないエリアを表示します。
●勉強中の子供部屋など、特定の部屋の窓だけ開けたまま警戒セットしたい場合は ☞146ページ

1
1 確認 をタッチする

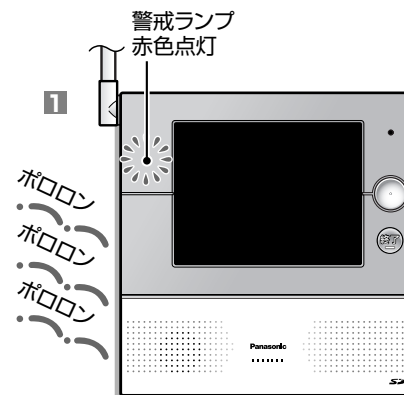
●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●戸締り確認画面が表示されます。

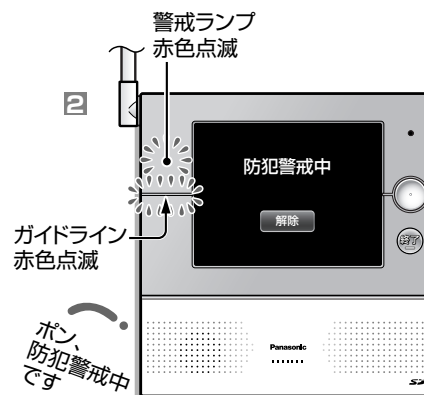
2
2 開いているエリアの 詳細 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●各窓や玄関の開閉状態を表示します。
●開いている窓や玄関を閉めてください。

3
3 戸締りが完了すると、警戒セットされる

☞37ページの手順 5

帰宅時にモードを変える(警戒解除) WQH510W

●警戒セット中(おでかけモード)は帰宅時に予備警報メッセージが鳴りますので、警戒セット状態を解除してから生活モードを変えてください。
(おでかけモード ➡ 在宅モードなど)

1
2
1 門扉用の送信器をお使いの場合 「おでかけモード」で帰宅して門を開けると

●増設スピーカーからも報知音が鳴ります。
●警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合は、警報ランプ付ブザー受信器でも敷地報知動作を行います。(警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。)
●警戒セット・解除発信器を使えば警戒セットを解除してから敷地の中に入ることができます。
☞162ページ

2 玄関用の送信器をお使いの場合 「おでかけモード」で帰宅して玄関を開けると

●予備警報メッセージ「ポン、防犯警戒中です」が鳴り、予備警報状態(1分間)となります。
●増設スピーカーからも予備警報メッセージが鳴ります。
●警戒セット・解除発信器を使えば警戒セットを解除してから家の中に入ることができます。☞162ページ

メモ

●予備警報の鳴動時間を「5分間」に変更できます。
☞169ページ

▼次ページにつづく

●帰宅時にモードを変える(警戒解除) WQH510W

3

防犯警戒中

解除

3 解除 **をタッチする**

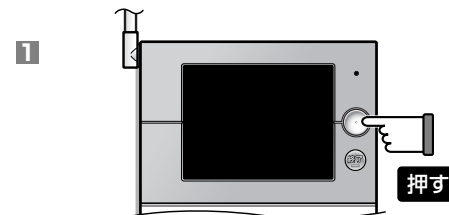
●副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。
●暗証番号入力画面が出た場合は、暗証番号が設定されています。153ページを参照して暗証番号を入力してください。
●予備警報メッセージが止まって非警戒状態になります。

注 **解除操作は玄関を開けてから1分以内に行ってください。1分を過ぎると防犯警報します。ただし、予備警報時間は「5分」に変更できます。**
☞169ページ

4 生活モードを切り替える

●在宅モードへ ☞42ページ
●おやすみモードへ ☞41ページ

●おやすみモードに設定する WQH510W

〈留守：切/センサーカメラ検知：入(報知なし)/防犯状態：報知〉

1

1 (ガイドボタン)を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 親機

2 副親機

生活モード カメラモニター 室内呼 戸締り確認 エコ 照明 機能設定 戻る 決定

選んで 押す

2 生活モード **をタッチする**

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●生活モード画面が表示されます。

3 親機

生活モード ↰戻る
おでかけ：詳細
おやすみ：詳細
在宅：詳細
現在の設定「おでかけ」
留守：入 防犯：警戒

3 副親機

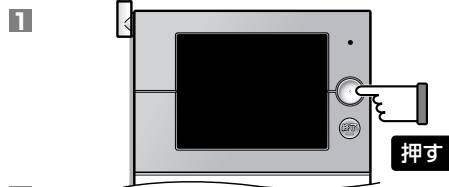
3 おやすみ **をタッチする**

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●報知ランプが緑色点灯します。
●「報知を開始しました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。

〈出荷時設定〉
おやすみモードに設定すると

●窓を開けたときに戸締りランプが赤色点灯し、報知音「ポロロン」が3回鳴ります。
●センサーカメラが接続されている場合、センサーカメラ動作時の映像を録画・録音します。(報知音は鳴りません。) ☞74ページ

●在宅モードに設定する WQH510W

〈留守：切/センサーカメラ検知：入(報知あり)/防犯状態：非警戒〉

1 (ガイドボタン)を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●生活モード画面が表示されます。

3 在宅 をタッチする

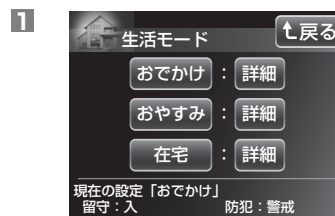
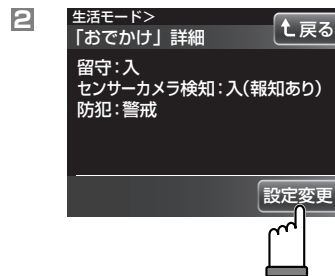
●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●防犯状態が「警戒(または報知)」に設定されていた場合は、「警戒(または報知)を解除しました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。
●防犯状態が「非警戒」に設定されていた場合は、「セットしました」が表示され、5秒後にモニター画面が消えます。

〈出荷時設定〉
在宅モードに設定すると

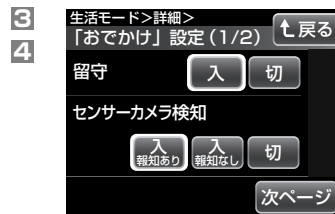
●防犯状態の警戒・報知セット状態が解除されます。
●センサーカメラが接続されている場合、センサーカメラ動作を報知音で知らせ、映像を録画・録音します。
☞74ページ

●生活モードの設定内容を変更するには WQH510W

●おでかけ、おやすみ、在宅の各モードの設定は変更することもできます。

注 下記は、出荷時の設定内容で説明しています。

1 生活モード画面で、変更したいモードの 詳細 をタッチする(親機)

●詳細画面が表示されます。

2 現在の設定を確認して 設定変更 をタッチする

●設定画面が表示されます。
●センサーカメラを接続していない場合は、センサーカメラ検知表示がグレー表示になります。

3 各項目の設定を選んでタッチする

■留守 (☞78ページ)
- 入 ：留守設定になります。
- 切 ：留守設定が解除されます。

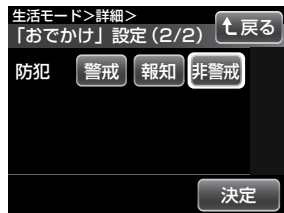
■センサーカメラ検知(☞74ページ)
- 入 (報知あり)：センサーカメラが動作すると親機で録画・録音し、報知音も鳴ります。
- 入 (報知なし)：センサーカメラが動作すると親機で録画・録音しますが、報知音は鳴りません。(画面は表示されません。)
- 切 ：センサーカメラが動作しても親機では録画・録音せず、報知音も鳴りません。

4 次ページ をタッチする

▼次ページにつづく

●生活モードの設定内容を変更するには WQH510W （つづき）

5
6

生活モード＞詳細＞
「おでかけ」設定（2/2） 戻る
防犯 警戒 報知 非警戒
決定

5 防犯状態を選んでタッチする（警戒／報知／非警戒）

●各防犯状態については、右記を参照してください。

6 決定 をタッチする

7 終わるとき 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。
●変更後、生活モードの変更を行ってください。☞36～37ページ、41～42ページ

■各防犯状態について

警戒

「警戒」に設定した生活モードに切り替えると、ワイヤレスセンサーが警戒セットされ、玄関や窓が開くと警報メッセージが鳴ります。
警報メッセージは警報解除操作を行わない限り、約5分間鳴り続けます。

●警戒セットされてから外出するまで5分間は、玄関や門扉（敷地）を通っても警戒セット状態になりません。（警戒開始遅延時間）
●帰宅時に玄関を通ってもすぐに警報メッセージが鳴らないよう、1分間は「予備警報時間」になります。この間に警戒解除操作（☞39ページ）を行うと警報に移行しません。
●敷地で検知すると、報知音が鳴ります。

報知

「報知」に設定した生活モードに切り替えると、ワイヤレスセンサーが報知セットされ、玄関や窓が開く、または敷地で検知すると、報知音が鳴ります。

ピーピーピー（3回）
ポロロン×3回

非警戒

「非警戒」に設定した生活モードに切り替えると、ワイヤレスセンサーが非警戒にセットされ、玄関や窓が開いても警報メッセージや報知音が鳴りません。

＜参考：場所（エリア）ごとの防犯状態移行時間＞

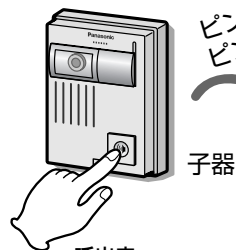
場 所	警 戒		報 知	非警戒
	警戒開始遅延時間	予備警報時間		
玄 関	5分	1分 ※	即時報知	──
窓1・窓2	0分	0分	即時報知	──
敷 地	5分	0分	即時報知	──

※予備警報時間を5分にすることもできます。☞169ページ

●玄関先と通話するには 〔子器との通話〕

親機・副親機で応答する

お客様が来られたら

呼出音

子器1	ピンポン・ピンポン
子器2	ピンポーン
子器3	ピンポン・ピンポン・ピンポーン

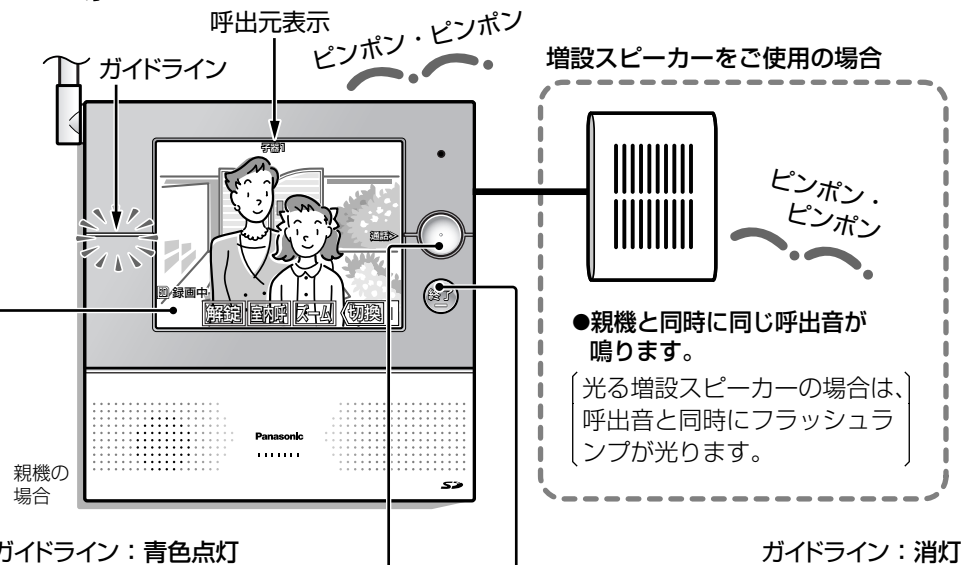
ガイドライン：青色点滅

1 お客様が映る（映像が出る）

- ●このとき自動的にお客様を録画します。（約30秒）（親機）
  （録画・録音中は、「**録画中**」が表示されます。）
- ●呼出音が鳴り始めてから応答せずに約30秒経過すると、呼出を終了します。
- ●夜間など周囲が暗くなっても、子器内蔵の赤外線照明により子器から50cm以内の来客などを撮像できます。（周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。）

注 副親機の場合は、「録画中」や 録画 は表示されません。

- ●親機と同時に同じ呼出音が鳴ります。
  （光る増設スピーカーの場合は、呼出音と同時にフラッシュランプが光ります。）

ガイドライン：青色点灯

2 （ガイドボタン）を押す（応答する）

- ●「ピッ」音確認後、通話してください。
- ●通常は約1分間で通話は自動的に終了します。通話開始から約50秒後、画面右側に「通話延長>」と表示されます。そのときガイドボタンを押すと通話時間を延長することができます。（通話開始から約2分まで）
- ●「録画中」が消えて 録画 が表示されます。（録画・録音は中断されます。）
  録画 をタッチして、通話中の映像を録画・録音することもできます。
  ☞ 76ページ

ガイドライン：消灯

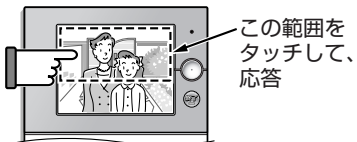
3 終了 を押す（終了する）

- ●「ピッ」音が鳴り、終了します。

注 **ガイドラインが点灯している間は、子器に室内からの音が漏れますので、必ずガイドラインが消灯したことを確認してください。**

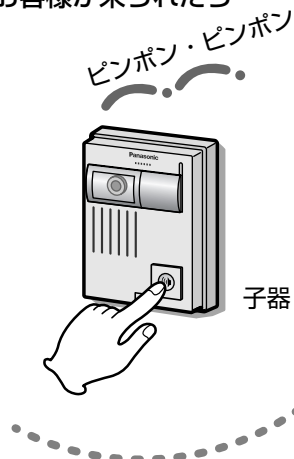
メモ

- ●親機、副親機から50cm以内の距離で通話してください。離れすぎると音声が聞き取りにくくなることがあります。
- ●親機、副親機と子器のまわりの音が大きく騒がしいとき（赤ちゃんの泣き声、犬の鳴き声、ステレオの音響など）は、音声がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。
- ●親機、副親機と子器で通話するときは相手の話が終わらないうちに話すと、声がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。話がいったん終わったところで話すとスムーズな会話ができます。
- ●携帯電話やPHS電話を使用中に親機、副親機、子器に近づけると、映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- ●呼出音が鳴り終わってから録画・録音を開始します。
- ●子器から呼出があっても、ガイドボタンを押さなければ通話はできません。
- ●警報発生中は子器からの呼出ができません。また通話中に警報が発生すると、通話は終了します。
- ●通話終了時、終了ボタンを押し忘れても、通話開始から約1分後、自動的に終了します。
- ●呼出音量は変更できます。☞120ページ
- ●ガイドボタンではなく、画面の上部（右図参照）をタッチして応答することもできます。

この範囲をタッチして、応答

- ●子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は ☞ 50ページ
- ●お客様の顔がモニター画面で確認しにくい場合は ☞ 50・54ページ
- ●ご家族の方に来客の場合は、室内呼 を選んで内線通話で連絡してください。
  （室内呼 を選ぶと、子器との通話は切れます。）☞ 72ページ

通話副親機で応答する

お客様が来られたら

呼出音

子器1	ピンポン・ピンポン
子器2	ピンポーン
子器3	ピンポン・ピンポン・ピンポーン

通話中ランプ

子器1	赤色点滅（速）
子器2	黄色点滅
子器3	赤色点滅（遅）

1 呼出音が鳴る

●呼出音が鳴り始めてから応答せずに約30秒経過すると、呼出を終了します。

ピンポン・ピンポン

通話中ランプ

通話中ランプ

子器1	赤色点灯
子器2	黄色点灯
子器3	赤色点灯

2 **を押す（応答する）**

●「ピッ」音確認後、通話してください。

●約1分間通話できます。

通話中ランプ：消灯

3 を押す（終了する）

●「ピッ」音が鳴り、終了します。

注 1秒以上押すと、通話状態を継続し、通話を終了できません。
通話中ランプが点灯している間は、子器に室内からの音が漏れますので、必ず通話中ランプが消灯したことを確認してください。

●子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は☞50ページ

●ご家族の方に来客の場合は、室内呼Aまたは室内呼Bボタンを押して内線通話で連絡してください。
（室内呼Aまたは室内呼Bボタンを押すと、子器との通話は切れます。）
☞72ページ

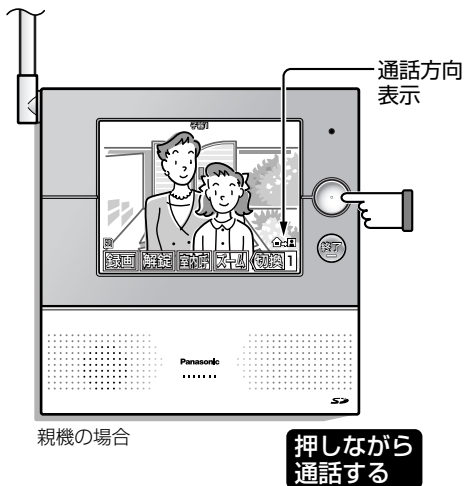
メモ

●通話に関するご注意は、親機、副親機の場合と同じです。
☞46ページ メモ

●通話開始から約1分間が経過し、会話の途中で通話が切れた場合は、10秒以内に通話ボタンを押せば、同じ子器と通話できます。

●呼出音量は変更できます。☞21ページ

通話

子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は…

親機の場合

押しながら通話する

1 (ガイドボタン)（親機・副親機）、あるいは通話ボタン（通話副親機）を押しながら通話する

- 室内の声が強制的に子器側に伝わり、子器側からの音声や騒音は室内機側には聞こえなくなります。
- 通話方向表示 が表示されます。

2 通話後、手をはなす

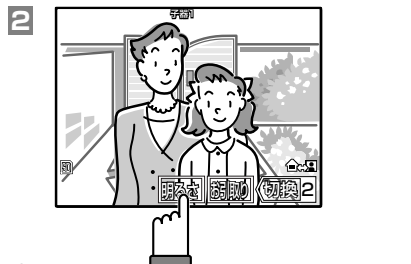
- 約5秒間は強制的に子器側の音声が聞こえ、親機・副親機の通話方向表示が になります。通話副親機の場合は通話中ランプが点滅します。
- その後、室内機、子器とも相互に通話できます。
- 相互に通話できるときは、通話方向表示が になります。

画面の明るさを調整したいとき

1

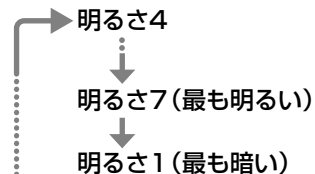
親機の場合

タッチする

2

注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

1 映像を表示しているときに 切換 1 をタッチする

2 明るさ をタッチする

- 押すごとに明るさが変化します。（出荷時：明るさ4）

- 切換 2 を1回または2回タッチすると手順 1 の画面に戻ります。

通話を中断して、会話を終わらせたい場合は「お引き取り機能」で

- しつこい勧誘などの際、「プルプル」音を鳴らして、会話を終わるキッカケを作ります。（親機・副親機）

注 鳴動中は室内からの音声は子器側に伝わりますが、子器からの音声は聞こえません。

1

録画 解錠 室内呼 ズーム 切換 1

親機の場合

タッチする

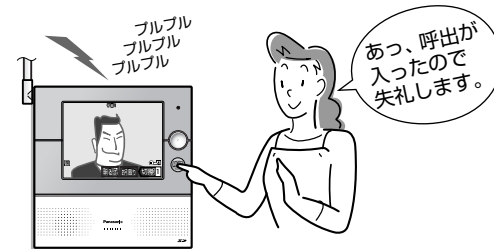
2

明るさ お引取り 切換 2

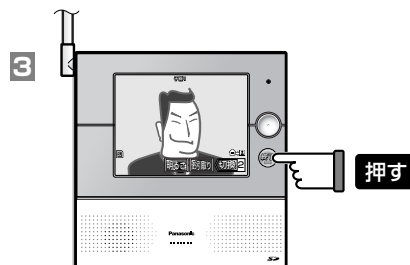
タッチする

3

押す

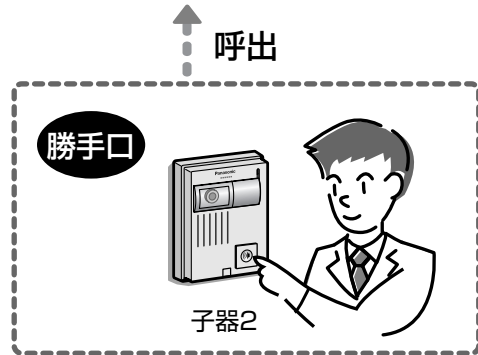
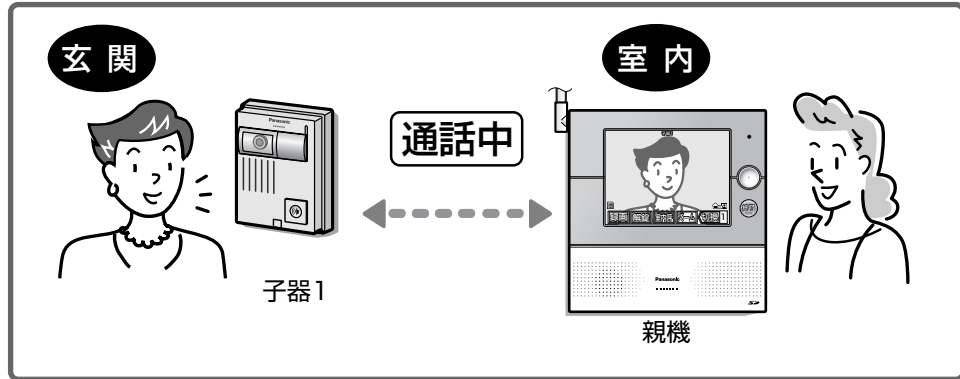
注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

1 通話中に 切換 1 をタッチする

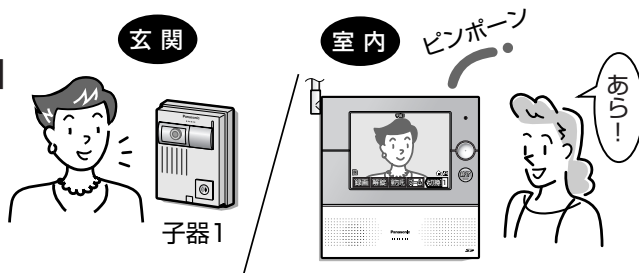
2 お引取り をタッチする

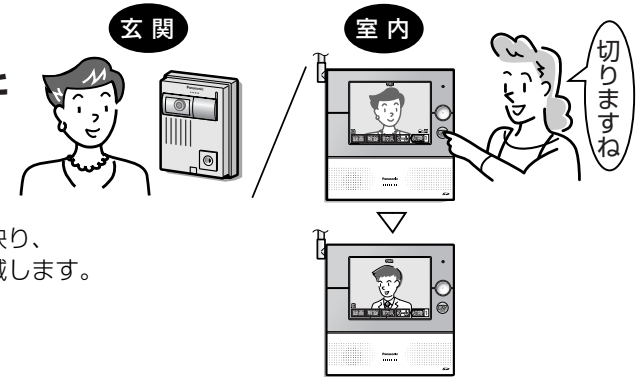
- 1回押すと「プルプル」音が3回鳴ります。押している間は「プルプル」音が鳴り続けます。
- 子器側にも「プルプル」音が聞こえます。
- 切換 2 を1回または2回タッチすると手順 1 の画面に戻ります。

3 「プルプル」音をキッカケにして

 を押す（終了する）

子器と通話中にほかの子器から呼び出されたら…

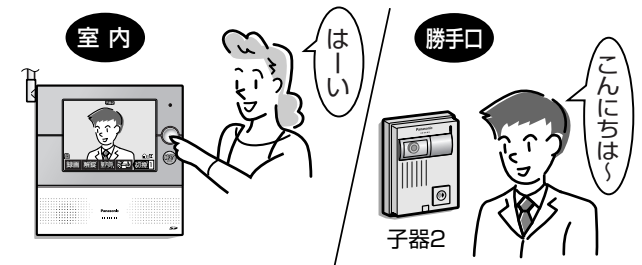
例「玄関」と通話中に「勝手口」から呼び出された場合

1 **勝手口の子器の呼出音「ピンポーン」が鳴る**

呼出音

子器1	ピンポン・ピンポン
子器2	ピンポーン
子器3	ピンポン・ピンポン・ピンポーン

2 **玄関の相手に通話を終了することを伝えてから を押す**

●勝手口の子器の映像が映り、ガイドラインが青色点滅します。

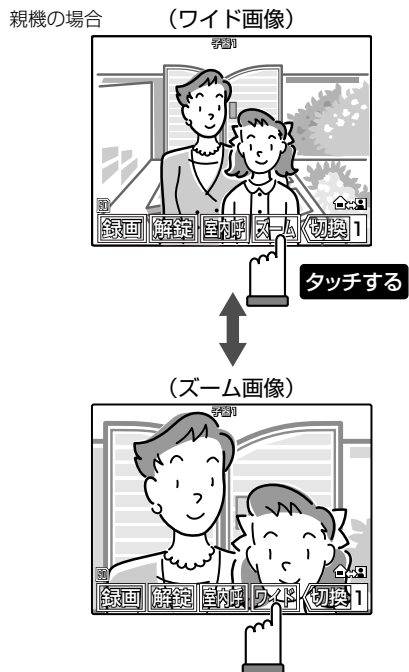
3 **（ガイドボタン）を押し勝手口のお客様と通話する**

●ガイドラインが青色点灯します。

メモ

●手順 **2** でカメラなしドアホン子器（WQD500A）から呼び出された場合は、黒画面が表示されます。
●通話中に後から呼び出した子器の画像は自動録画されません。

通話

●子器の映像をズーム画像に切り替えたい場合

親機の場合　（ワイド画像）

（ズーム画像）

1 映像を表示しているときに ズーム をタッチする

●映像を映し出したときは、ワイド画像で表示されます。（初期状態）

●押すごとにズーム画像（デジタル2倍ズーム）とワイド画像を切り替えます。

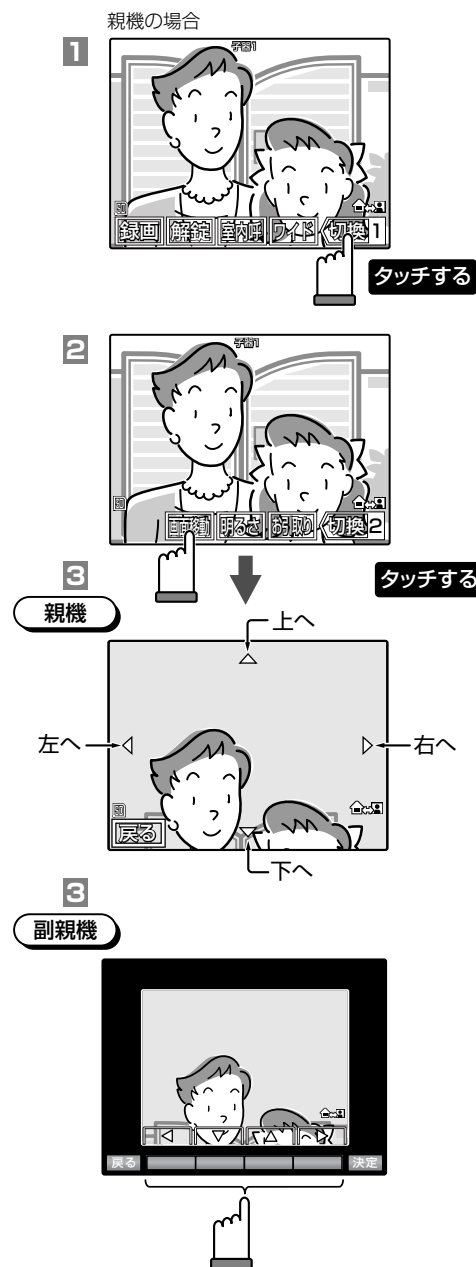
●ズーム画像になると ズーム が ワイド に変わります。

注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

メモ

●人物が画面の中心に映らないときなどに、ズーム画像を映し出した際の表示位置を変更することができます。☞右ページ
●親機で操作すると、副親機の画面も切り替わります。
同様に副親機で操作したときは親機の画面も切り替わります。
●親機の操作中は、副親機では操作できません。
同様に副親機の操作中は、親機では操作できません。
●ズーム画像を録画した場合は、ズームされた画面が録画されます。
●右ページにしたがってズーム画像の位置を変更しても、変更した位置は記憶されません。
●最初に映し出すズーム画像の表示位置を設定することができます。
☞129ページ

ズーム画像を上下左右に移動したいとき

親機の場合

●ズーム画像のまま、映し出す位置を移動することができます。

1 ズーム画像を表示しているときに 切換1 をタッチする

2 画面移動 をタッチする

●移動操作画面に変わります。

親機

3 ▽・△・◁・▷ をタッチして画面を移動させる

●移動させたい方向を選んでください。
● 戻る をタッチすると手順 2 の画面に戻ります。

副親機

3 ▽ △ （上下移動画面） ◁ ▷ （左右移動画面） で画面を移動させる

● 戻る を押すと手順 2 の画面に戻ります。

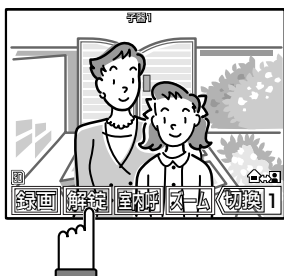
●電気錠を施錠･解錠するには

通話中やモニター中に電気錠を施錠･解錠するには

電気錠操作器が接続されている場合のみ（施工設定が必要）

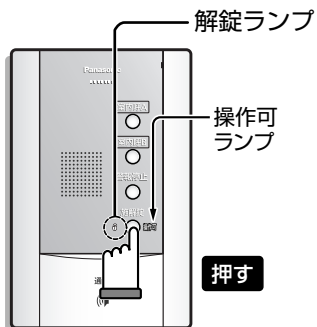
注 ●接続する電気錠システムによって動作が異なる場合がありますので、接続する電気錠メーカーの仕様を確認してください。
（電気錠メーカーにお問い合わせください。）
●通話副親機は通話中のみ施錠・解錠できます。
●操作できる電気錠が1台でも解錠されると解錠ランプは赤色点灯し、操作できる電気錠がすべて施錠されると消灯します。

親機･副親機

親機の場合

注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

1 **解錠 をタッチする**

●電気錠が解錠され、解錠 が 施錠 に変わります。施錠 をタッチすると電気錠が施錠されます。
●タッチするごとに解錠･施錠をくり返します。
●解錠すると、解錠ランプ（🔓）が赤色点灯します。施錠すると、解錠ランプは消灯します。

通話副親機（WQH571Wの場合）

1 施解錠
◯ を押す

●操作可ランプが緑色点灯時に施錠・解錠できます。
●押すごとに施錠・解錠をくり返します。
●解錠すると、解錠ランプ（🔓）が赤色点灯します。施錠すると、解錠ランプは消灯します。

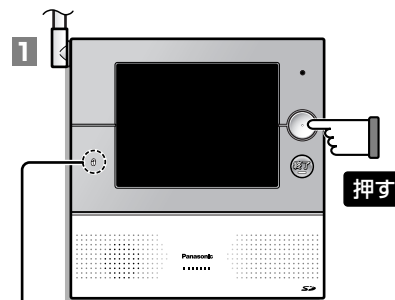
画面が消えているときに電気錠を施錠･解錠するには

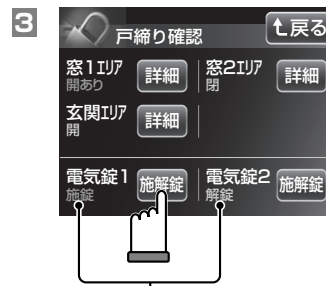
電気錠操作器が接続されている場合のみ（施工設定が必要）

親機

1 **◯（ガイドボタン）を押す**

●メニュー画面が表示されます。

2 戸締り確認 **をタッチする**

●戸締り確認画面が表示されます。

電気錠が2台接続されている場合

現在の状態を表示

注 WQH500Wの場合は窓エリア・玄関エリアの部分は表示されません。

3 **操作したい電気錠の 施解錠 をタッチするごとに、施錠 ➔ 解錠 ➔ 施錠…をくり返す**

●解錠ランプ

全電気錠施錠時	消　灯
操作できる電気錠が1台でも解錠されたとき	赤色点灯

4 **終わるとき 終了 を押す**

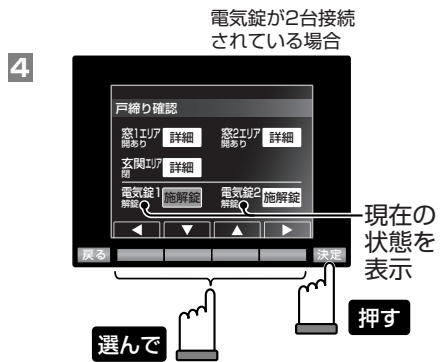
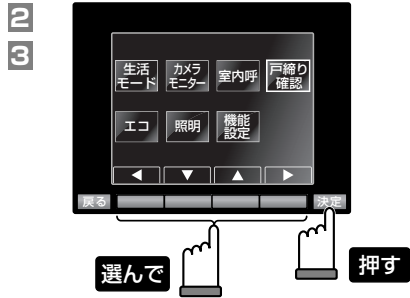
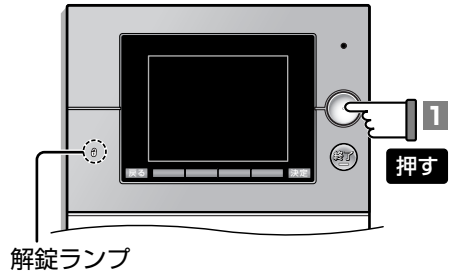
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

通話

●電気錠を施錠・解錠するには（つづき）

画面が消えているときに電気錠を施錠・解錠するには（つづき）

電気錠操作器が接続されている場合のみ（施工設定が必要）

副親機

1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 画面下ボタンで 戸締り確認 を選ぶ

3 決定 を押す

●戸締り確認画面が表示されます。

4 画面下ボタンで操作したい電気錠の 施解錠 を選び 決定 を押すごとに、施錠 → 解錠 → 施錠…をくり返す

●解錠ランプ

全電気錠施錠時	消　灯
操作できる電気錠が1台でも解錠されたとき	赤色点灯

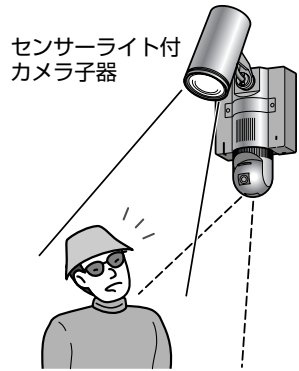
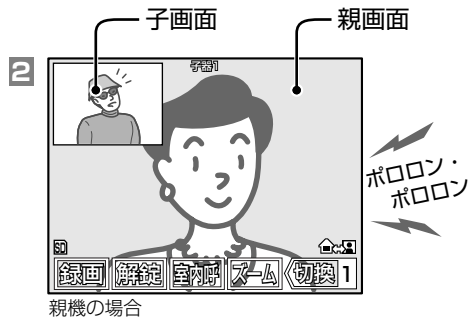
5 終わるとき （終了）を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

注 親機にWQH500Wを使用している場合は、窓エリア・玄関エリア部分は表示されません。

MEMO

●応対中にセンサーカメラが動作すると 〔ピクチャー イン ピクチャー〕

●センサーカメラを設置している場合、来客通話応対時や子器からの呼出時にセンサーカメラ検知があると、親機、副親機では親画面と子画面でモニターできます。
(ピクチャーインピクチャー)

1 **呼出中や通話中に センサーカメラが侵入者を 検知すると**

親機の場合

2 **センサーカメラの 映像が子画面表示される (親機・副親機)**

●親画面の映像が消えると、子画面も消えます。

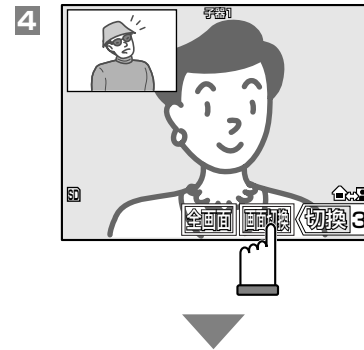
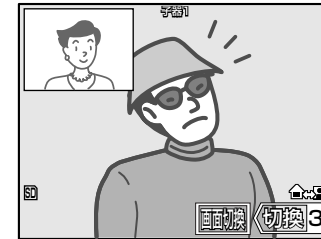
注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

センサーカメラ映像を親画面に表示するには (親子画面入れ替え)

3 **手順 2 の画面で 切換1 を 2回タッチする**

● 切換1 が 切換3 に変わり、画面のボタン表示も変わります。

4

全画面 画面切換 切換3

(センサーカメラ映像メイン表示)

注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

4 **画面切換 をタッチする**

●親画面と子画面の表示が入れ替わります。

子画面を消すには

● 全画面 をタッチする。(全画面で表示されます。)
●全画面表示で 2画面 をタッチすると、再度、親画面と子画面が表示されます。

親子画面を元に戻すには

●センサーカメラ映像メイン表示画面で 画面切換 をタッチする。

画面上のボタンを手順 2 に戻すには

● 切換3 をタッチする。

映像を録画するには

● 切換3 をタッチしてから 録画 をタッチする。

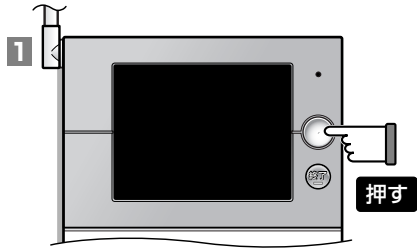
画面の明るさを調整するには

● 切換3 を2回タッチしてから、表示される 明るさ をタッチする。☞50ページ

メモ

●子器に連動するセンサーカメラを設定しておけば、その子器からの呼出時に常に子画面にセンサーカメラ映像を表示することができます。
(付属の設定マニュアルの「子器設定」を参照するか、施工店にお問い合わせください。)
●子画面の表示位置を変更することができます。☞129ページ
●親子画面を入れ替えてもカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器との通話状態は継続します。
(センサーカメラ映像を親画面に表示しても、センサーカメラとは通話できません。)
●カメラ付ドアホン子器の映像を子画面にしているときは子画面を消すことはできません。(全画面 は表示されません。)
●子画面の明るさは調整できません。
●センサーカメラの映像を映し出しているときに他のセンサーカメラの検知があると、そちらの映像に切り替わります。
●親画面と子画面を表示しているときは、表示されている状態がそのまま録画されます。
●センサーカメラ検知後、約3秒間は子器からの呼び出しはできません。
●子器呼出中および通話中は、連動設定しているセンサーカメラからの検知は無視されます。
●子器通話終了後、約10秒間は連動設定しているセンサーカメラからの検知は無視されます。

●玄関まわりや センサーカメラの映像を見る 〔モニター〕

●子器やセンサーカメラが設置されている場所の様子を映像と音で確認できます。

1

（ガイドボタン）を押す（親機・副親機）

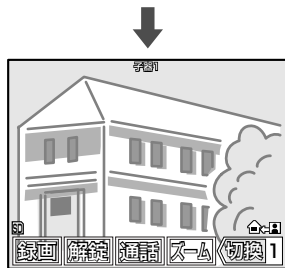
●メニュー画面が表示されます。

2

をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●カメラモニター画面が表示されます。

3 映像を見たい子器あるいはセンサーカメラを選んでタッチする

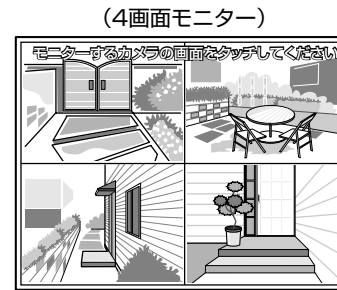
●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●選んだ子器の映像が表示されます。（約30秒）
●画面の明るさを調整するには ☞50ページ
●センサーカメラを選んだ場合 ➜手順 4 へ

注: カメラなしドアホン子器（WQD500A）の場合、音のみで確認できます。

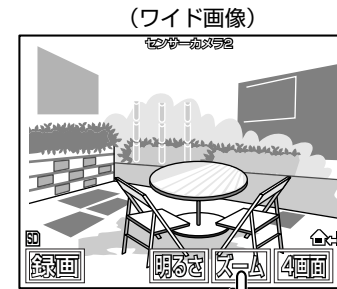
●モニター中の子器との通話

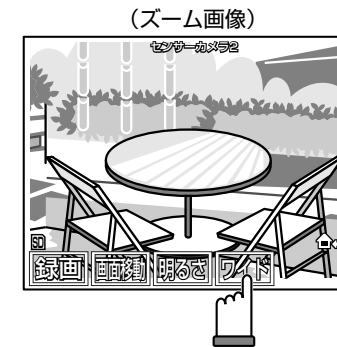
通話 をタッチすると、モニター中の子器と通話することができます。（ガイドライン青色点灯）

（4画面モニター）

（ワイド画像）

（ズーム画像）

4 センサーカメラの場合確認したい映像を選んでタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●選んだセンサーカメラの映像が全画面表示されます。
●全画面表示で 4画面 を押すと4画面モニターに戻ります。

●ズーム機能

● ズーム をタッチすると、画面中央部が2倍ズーム表示されます。
● 画面移動 をタッチすると、ズーム位置を上下左右に移動することができます。☞55ページ

●センサーカメラへの呼びかけ

●センサーカメラ映像表示中にガイドボタンを押しながら話すと、室内の声が強制的にセンサーカメラ側に伝わり、呼びかけることができます。
（4画面モニター中は呼びかけできません。）

5 **を押す**

●画面が消えます。

通話

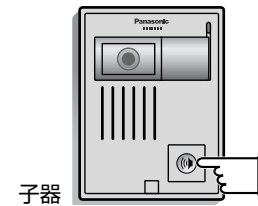
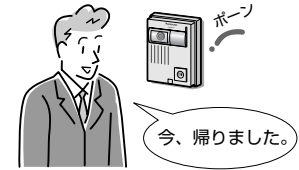
玄関まわりや センサーカメラの映像を見る 〔モニター〕（つづき）

メモ

- 設置されている子器の数や種類によって、モニター選択画面の構成は異なります。
- モニター中に子器からの呼出やセンサーカメラ検知があると、モニター状態は解除され、子器の呼出画面に切り替わります。ただし、センサーカメラのモニター中に同じセンサーカメラで検知があった場合は、モニター状態が継続します。
- 室内の音は子器には聞こえません。（ガイドラインは消灯しています。）
- 映像がはっきりと映し出されるまで約2秒ほどかかります。
- 夜間など周囲が暗くなっても、カメラ付ドアホン子器内蔵の赤外線照明によりカメラ付ドアホン子器から50cm以内の様子を撮像できます。
  （周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。）
  センサーライト付カメラ子器の場合は、周囲の明るさに応じて照明器具を点灯させることができます。
- センサーカメラが1台しか接続されていない場合は4画面モニターは表示されません。
- センサーカメラを2台または3台しか接続していない場合でも4画面モニターになり、接続されていないセンサーカメラの映像は黒画面表示になります。
  （2画面、または3画面モニターにはなりません。）
- 4画面モニター中はセンサーカメラ側の音は聞こえません。
- ズーム中に録画すると、ズームされた画面が録画されます。

ご家族が帰宅されたとき 〔帰宅通知〕

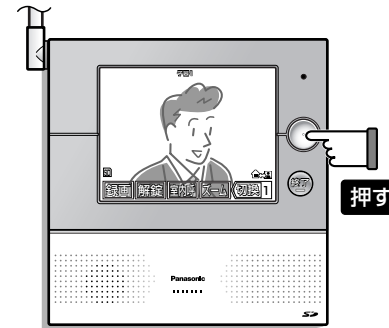
- 帰宅時に、呼出音の後に「ポーン」音を鳴らして、ご家族の帰宅などを知らせることができます。（来客の呼出と区別できます。）

子器

呼出音が鳴り終わるまで押し続ける

1 呼出音が鳴り終わるまで（呼出ボタン）を押す

2 鳴り終わってから約2秒後に（呼出ボタン）をはなす

- 帰宅通知を知らせる「ポーン」音が鳴ります。
- 「ポーン」音が鳴り終わってから呼出状態が終了するまでは、子器からのみ通話できます。

帰宅通知の呼びかけに応答する場合は…

親機の場合

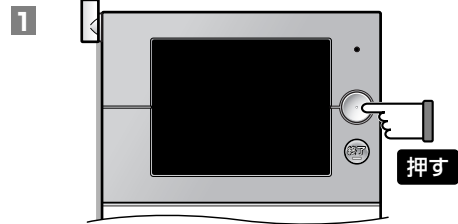
1 （ガイドボタン）を押す

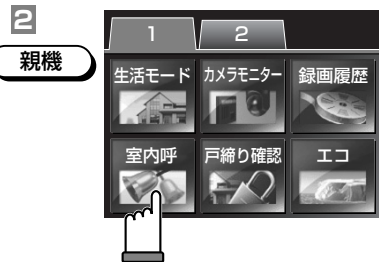
- 子器と通話できます。
  （ガイドライン青色点灯）
- 通話を終了する場合は、終了ボタンを押してください。

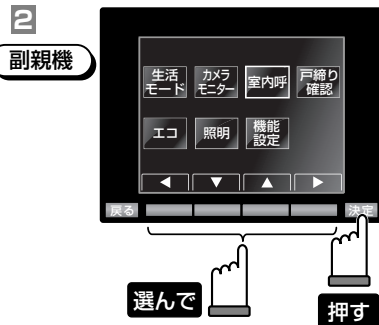
メモ

- 子器から「ポーン」音が鳴らない場合は通常の呼出状態となり帰宅通知はできません。
  帰宅通知機能は初回操作時のみ有効ですので、一度呼出状態になると呼出状態が終了するまで帰宅通知はできません。
- 親機や副親機などで応答しない場合、子器の呼出ボタンを押してから約30秒経過すると、呼出状態を終了します。

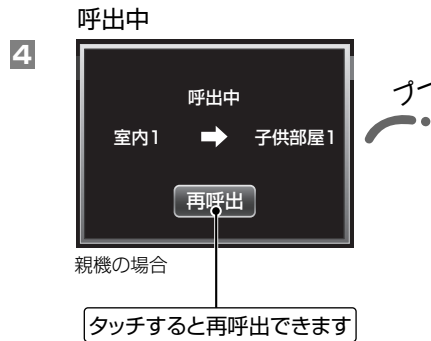
●室内間で通話するには 〔内線通話〕

●親機、副親機からは一斉呼出、個別呼出、およびグループ呼出ができます。

1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●室内呼選択画面が表示されます。

3 通話したい部屋を選んでタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。

注 部屋の名称は設定することができます。☞126ページ

注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

4 呼びかける

●増設スピーカーが接続されていれば、呼出音が鳴ります。ただし副親機同士の通話では増設スピーカーは鳴りません。
●相手がガイドボタンや通話ボタンを押して応答しなくても、約30秒間は通話ができます。

（内線通話中の機器はガイドライン青色点滅（親機・副親機）あるいは通話中ランプ緑色点滅（通話副親機））

●約30秒経過すると、内線通話を終了します。

5 呼びかけられた側で （ガイドボタン）あるいは通話ボタンを押す

●約1分間通話できます。

（内線通話中の機器はガイドライン青色点灯（親機・副親機）あるいは通話中ランプ緑色点灯（通話副親機））

6 通話が終われば 終了 あるいは通話ボタンを押す（終了する）

●内線通話中の機器のいずれか一方の終了ボタンまたは通話ボタンを押します。
（ガイドライン・通話中ランプ消灯）

通話

すべての部屋あるいはグループを呼び出すには…

●66ページの手順3で
一斉 を選ぶと、すべての部屋の呼出、
グループA グループB を選ぶと設定された各グループの呼出になります。
(グループはあらかじめ設定されています。「室内呼設定」(☞123ページ)を参照するか、施工店にお問い合わせください。)

●内線通話では映像は映し出されません。
●増設スピーカーは親機と同時に同じ呼出音が鳴ります。
(光る増設スピーカーの場合は、呼出音と同時にフラッシュランプが光ります。)
●67ページの手順4で呼びかけられたときにガイドボタンや通話ボタンを押さずに応答できるのは、応答する室内機のトークバック設定が「入」設定の場合です。☞124ページ
●相手が応答しない場合は終了ボタンや通話ボタンを押す、または呼び出してから約30秒経過すると、呼出状態を終了します。

画面に「使用中」が表示されたり、🔇が点灯している場合は…

親機の場合

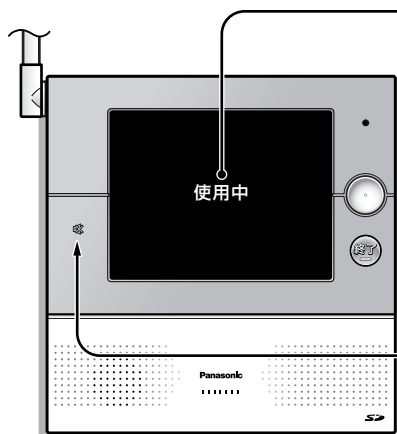
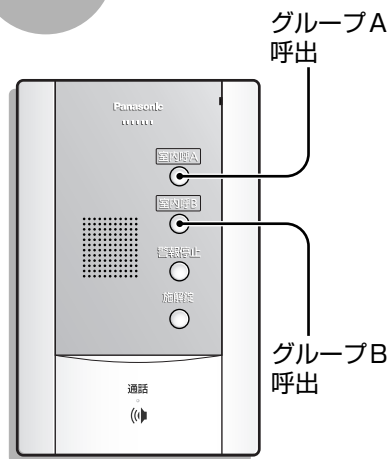
「使用中」表示

●ほかの部屋で通話している間は、親機、副親機のいずれかのボタンを押したときに、画面に「使用中」を表示させて操作できないことをお知らせします。

注 ●**通話副親機の場合は、「使用中ランプ」が点灯します。☞20ページ**
●**親機、副親機、通話副親機とも操作したときに「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。**

呼出音停止ランプ

●呼出音量を「切」に設定していると、呼出音停止ランプが赤色点灯し、呼出音は鳴りません。
(呼び出されると、画面表示は出ます。)
☞120ページ

注 **通話副親機の場合は、「呼出音量切替ボタン」を「切」に設定すると、点灯します。☞21ページ**

通話副親機からの呼出

一斉呼出：室内呼A と 室内呼B を2つ同時に押す

●通話副親機からは一斉呼出とグループ呼出ができます。

1 グループA呼出：室内呼A **を押す**
グループB呼出：室内呼B **を押す**
一　斉　呼　出：**上記2つを同時に押す**

2 呼びかける
●相手がガイドボタンを押して応答しなくても、約30秒間は通話ができます。
(内線通話中の機器はガイドライン青色点灯(親機・副親機)あるいは通話中ランプ緑色点灯(通話副親機))
●約30秒経過すると、内線通話を終了します。

さらに会話を続けたい場合…

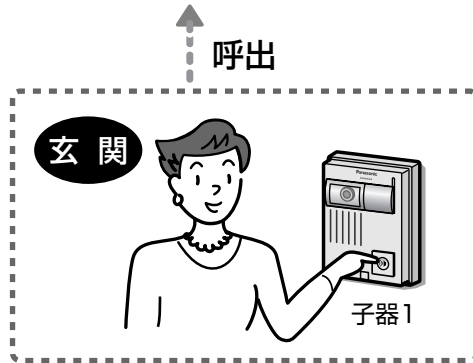
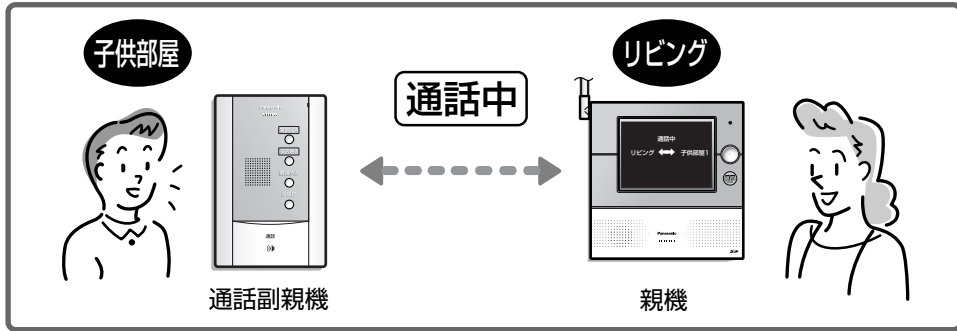
3 呼びかけられた側で (ガイドボタン)あるいは通話ボタンを押す
●約1分間通話できます。
(内線通話中の機器はガイドライン青色点灯(親機・副親機)あるいは通話中ランプ緑色点灯(通話副親機))

4 通話が終われば
終了 あるいは通話ボタンを押す(終了する)
●内線通話中の機器のいずれか一方の終了ボタンまたは通話ボタンを押します。(ガイドライン・通話中ランプ消灯)

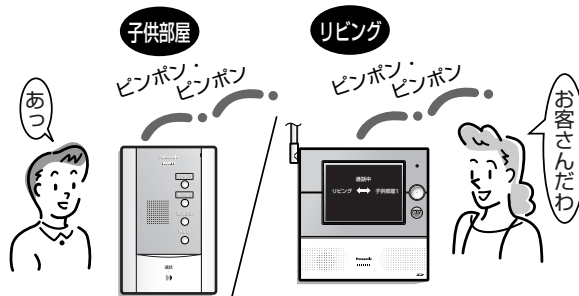
●室内間で通話するには 〔内線通話〕（つづき）

内線通話中に子器から呼び出されたら…

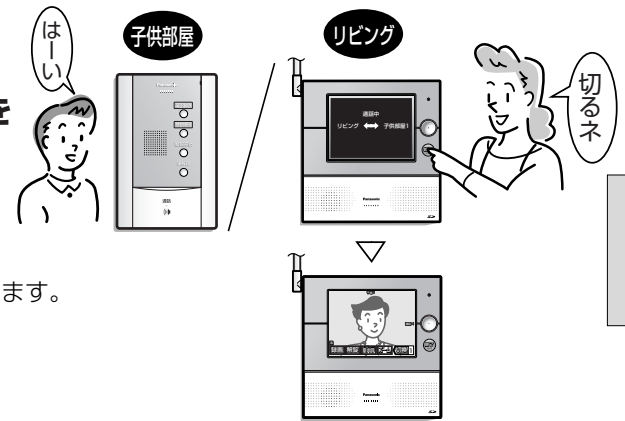
例「リビング」と「子供部屋」で内線通話中に「玄関」から呼び出されて、「リビング」で応答する場合

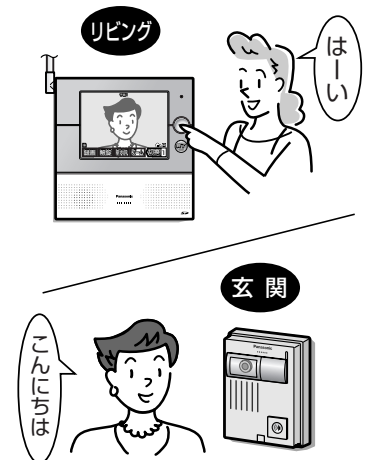
呼出

1 玄関の呼出音が鳴る

●通話中の親機と通話副親機から呼出音が鳴ります。

呼出音

子器1	ピンポン・ピンポン
子器2	ピンポーン
子器3	ピンポン・ピンポン・ピンポーン

2 内線通話中の相手（例：子供部屋）へ通話を終了することを伝えてから 終了 を押す

●玄関（子器）の映像が映り、ガイドラインが青色点滅します。

3 （ガイドボタン）を押し玄関のお客様と通話する

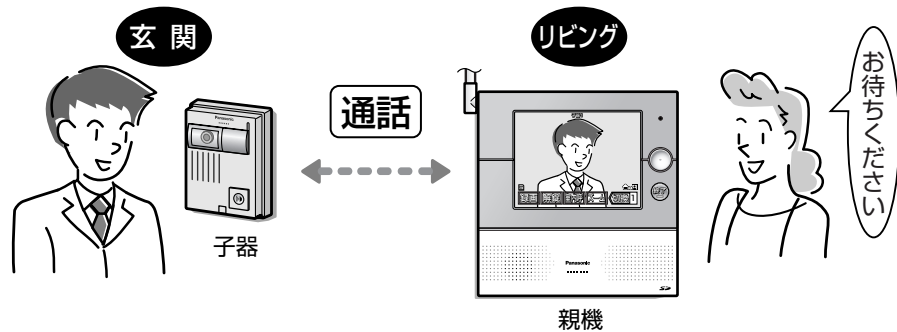
●ガイドラインが青色点灯します。

●子器からの呼出を ほかの部屋に連絡するには

例 「リビング（親機）」で応答した「玄関」との通話を「書斎（通話副親機）」に連絡する場合

注 親機、副親機、通話副親機とも子器からの呼出を連絡、および応答することができます。

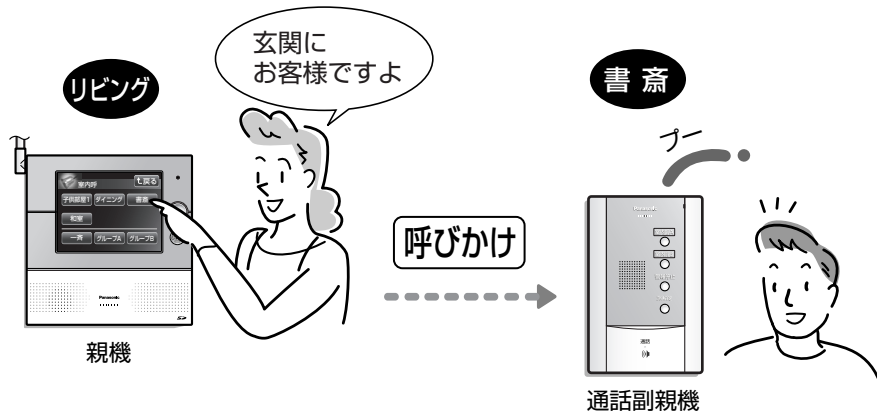
1

❶ （ガイドボタン）を押してお客様に応答する

❷ 室内呼 をタッチする

2

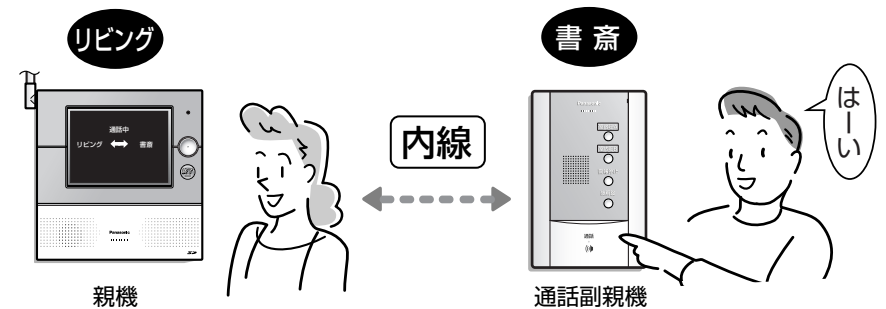
連絡したい部屋を選んで呼びかける

☞66ページ

3

書斎（通話副親機）で

❶ を押して家族（親機）に応答し、

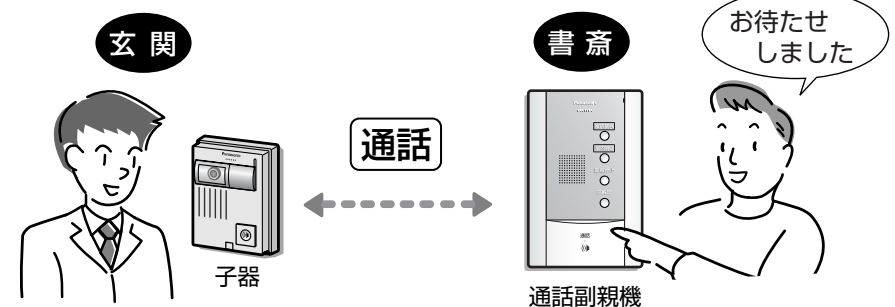
❷もう一度、

を押す（リビング（親機）との通話を終了）

4

を押して

玄関のお客様と通話する

●子器2、3を選ぶ場合は通話ボタンを必要な回数押してください。押すごとに通話先が切り替わります。

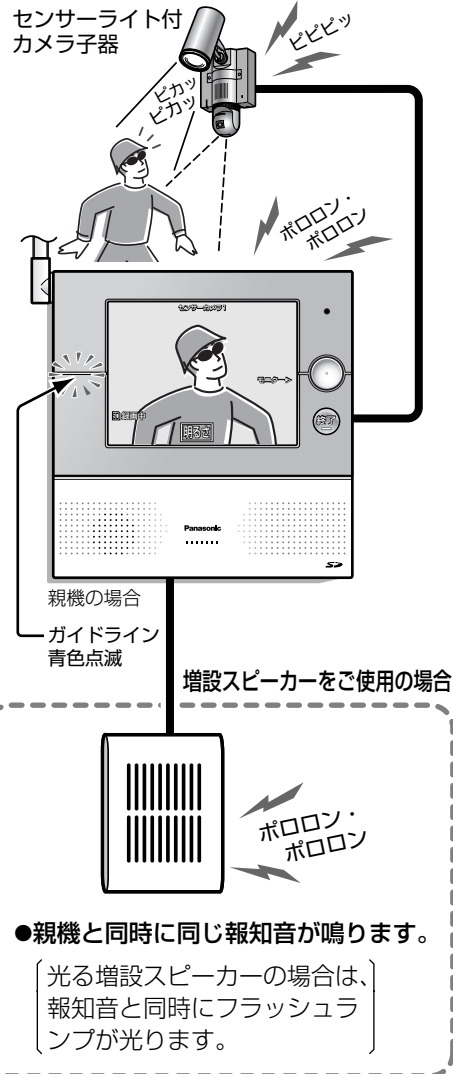
●親機・副親機で操作する場合は、メニュー画面の「カメラモニター」を選んでモニター中の子器との通話操作を行ってください。☞62ページ

●センサーカメラが動作すると

センサーカメラが接続されている場合のみ

●センサーカメラが侵入者(※)を検知した場合、アラームで侵入者に警告するとともに住まいるサポに報知し、映像を自動録画・録音します。

注
●センサーカメラ検知エリアについて ☞ 131～133ページ
●※：侵入者を区別して検知するものではありません。設置環境によって人の往来などの定常的に動くものや風で揺れる木や葉なども検知することがあります。

●親機と同時に同じ報知音が鳴ります。

（光る増設スピーカーの場合は、報知音と同時にフラッシュランプが光ります。）

1 センサーカメラが動作すると

●約10秒間、センサーカメラで警告します。☞ センサーカメラの説明書

2 親機、副親機、通話副親機などでセンサーカメラ動作をお知らせ

●報知音「ポロロン・ポロロン」が鳴り、ガイドライン(親機・副親機)が青色点滅、および通話中ランプ(通話副親機)が黄色点滅します。

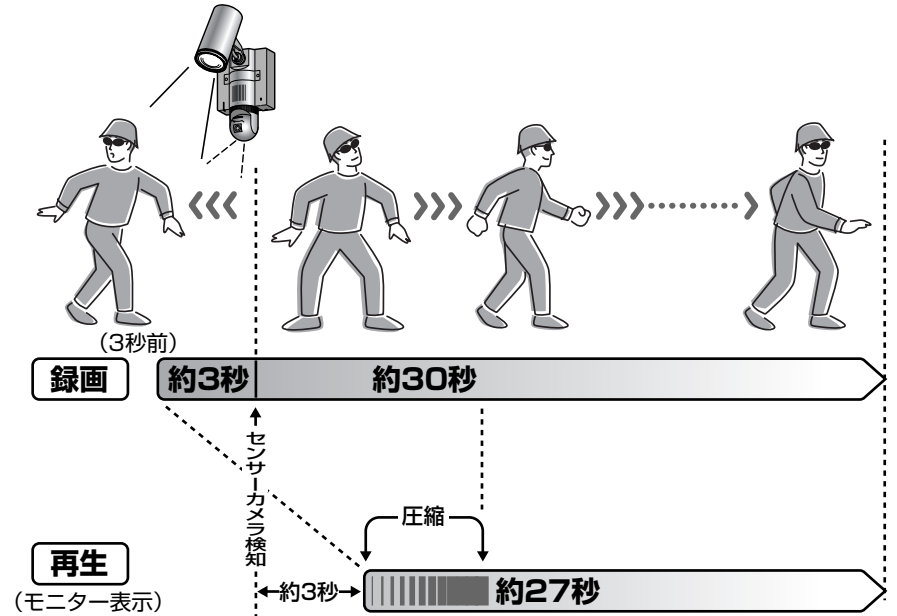
（センサーカメラ検知設定が「入(報知あり)」の生活モードの場合 ☞ 30ページ）

3 親機、副親機でセンサーカメラ映像がモニター表示され、親機で自動録画・録音される(センサーカメラ検知から約30秒間)

注
●ガイドボタンを押すと、センサーカメラのモニター状態になり、画像をズームしたり、センサーカメラへ呼びかけることができます。☞ 62ページ
●生活モードを「おやすみ」に設定している場合は、センサーカメラ検知が「入(報知なし)」となり(生活モードが出荷時設定の場合)、センサーカメラが検知しても住まいるサポの画面は表示されず報知音も鳴りませんが、ガイドラインは青色点滅し、録画・録音します。

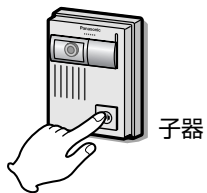
●センサーカメラ録画のしくみ

●確実に侵入者を録画するため、センサーカメラが検知・反応した約3秒前から録画しています。

メモ

●センサーカメラの動作は設定により変更できます。
センサーカメラの説明書を参照してください。
●センサーカメラ動作中にカメラ付ドアホン子器やドアホン子器から呼出があると、子器呼出状態に切り替わります。
●モニター画面に映像が表示されるまでセンサーカメラ検知から約3秒かかります。
●センサーカメラ検知の前後は圧縮録画となります。
●センサーカメラ録画では、現在の映像と録画映像の時間を合わせるため、再生画像の最初の約8秒間は追いかけ再生となり、早送りになります。
(早送り部分は音声が流れません。)
●録画中に新たなセンサーカメラ検知があると、後から検知したセンサーカメラ画像の録画に切り替わります。
●生活モードを「おでかけ」に設定すると「センサーカメラ検知：入(報知あり)」設定となりますが(生活モードが出荷時設定の場合)、モードを切り替えてから約5分間はセンサーカメラが動作しません。
●住まいるサポで警報音鳴動中は、センサーカメラが検知しても録画・録音はできません。

●在宅モード・おやすみモード時の録画について

●生活モードを「在宅」あるいは「おやすみ」に設定している場合は、留守設定は「切」となりますが（生活モードが出荷時設定の場合）、子器から呼び出されると、自動的に録画・録音が行われます。
●在宅モード設定 ☞33・42ページ、おやすみモード設定 ☞32・41ページ

注 **「在宅」および「おやすみ」モード（留守「切」：生活モードが出荷時設定の場合）の録画・録音は録画可能件数を超えると上書きされます。☞84ページ**
保護が必要な画像は保護操作をしてください。

1 お客様が来られたら

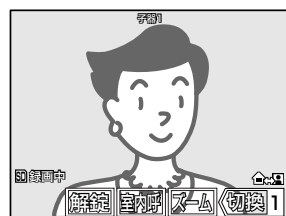
2 自動的にお客様を約30秒間録画・録音する（親機）

●「録画中」が表示されます。
●センサーカメラ動作の場合も同じです。☞74ページ

通話中やモニター中に手動で録画するには

●子器との応対中や映像モニター中に残したい映像を手動で録画・録音することもできます。

1 通話中や映像モニター中に 録画 をタッチする（親機）

●録画・録音が始まると、「録画中」が表示されます。

2 約30秒間録画・録音を行う

●約30秒経過すると、「録画中」は消えます。

メモ

●「在宅」および「おやすみ」モード（留守「切」：生活モードが出荷時設定の場合）は録画可能件数を超えると、一番古い画像を自動消去し、新しい画像が録画されます。（上書き）

●消したくない画像は1件単位で保護できます。☞84ページ
●録画画像は、通常の子器呼び出し時などの画像より画質は悪くなりますが、故障ではありません。

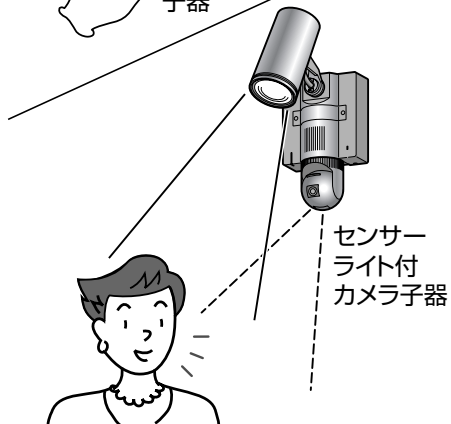
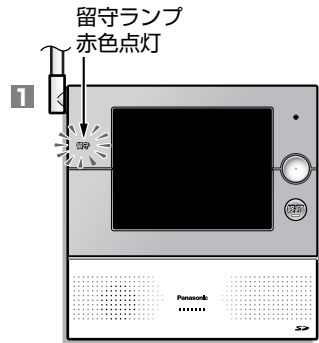
■SDメモリーカードに録画・録音、および保存できる件数

カード容量	件　数
32MB	約16件
64MB	約32件
128MB	約64件
256MB	約128件
512MB	約256件
1GB	約256件
2GB	約256件

●付属のSDメモリーカードは128MBです。

●おでかけモード時の録画について

●生活モードを「おでかけ」に設定すると、留守設定が「入」となり（生活モードが出荷時設定の場合）、留守中の来客やセンサーカメラ検知時の映像を録画・録音できます。
●おでかけモード設定 ☞31・36ページ

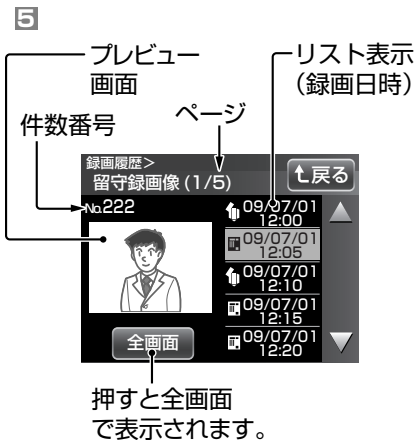
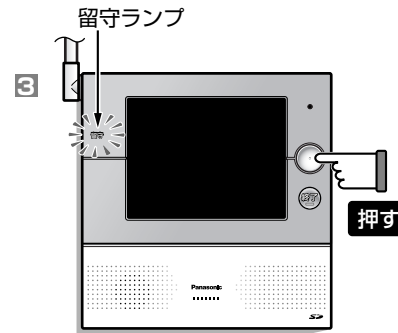
注 ●おでかけモードは「留守：入」、「センサーカメラ検知：入（報知あり/なし）」に設定することをおすすめします。出荷時設定は「留守：入/センサーカメラ検知：入（報知あり）」です。「センサーカメラ検知：切」ではセンサーカメラが検知しても録画・録音しません。☞34・43ページ
●おでかけモードに設定してから約5分間は動作しません。

1 おでかけモード設定中に

注 留守ランプが赤色点灯していないときは「留守設定：切」状態です。おでかけモードの留守設定を「入」に変更してください。
☞34・43ページ

2 お客様が来られたら

●自動的に録画・録音されます。（約30秒）
●増設スピーカーからも呼出音が鳴ります。

2 センサーカメラが検知すると

●検知したセンサーカメラの映像が自動的に録画・録音されます。（約30秒）
●増設スピーカーからも呼出音が鳴ります。

3 帰宅したら（ガイドボタン）を押す（親機）

〈留守ランプ赤色点滅：録画ありのとき〉
手順 4 5 の操作を行ってください。

注 留守ランプが赤色点滅している間はSDメモリーカードの出し入れはしないでください。

〈留守ランプ赤色点灯：録画なしのとき〉
生活モードを変更してください。
☞30ページ

4 録画履歴 をタッチする

●未再生の録画·録音内容がある場合、ボタンに!が表示されています。
●留守中に録画された画像がリスト表示されます。

5 留守録画像を確認する

●お客様が来られた順（古い順）に録画・録音内容がプレビュー画面に自動で再生します。
●すべての再生が終わると、メニュー画面に戻ります。（留守ランプが点灯します。）
●リスト表示から再生したい留守録画像を選んだり、全画面で再生することもできます。

▼次ページにつづく

●おでかけモード時の録画について（つづき）

6 **再生が終われば 終了 を押す**

●再生を途中で終了したい場合も
終了ボタンを押してください。

7 **生活モードを変更する**

☞ 30ページ

メモ

●おでかけモード（留守「入」：生活モードが出荷時設定の場合）は、録画可能件数を超えると、「録画できません 留守設定を解除してください」と表示されます。
それ以降の録画・録音はできません。

●録画可能件数について ☞ 77ページ

●不要なデータの消去について ☞84ページ

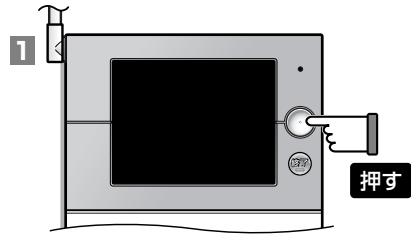
●留守ランプは、おでかけモード以外の生活モードに切り替えるまで赤色点灯し続けます。（生活モードが出荷時設定の場合）

●録画・録音中に住まいるサポを操作すると、録画・録音は中止されます。
（中止されるまでの録画・録音データは記録されます。）

MEMO

●録画・録音内容を再生するには

●録画·録音内容を再生する操作です。

録画機器表示
［ 玄関子器：「来客画像」をタッチした場合
センサーカメラ：「センサーカメラ画像」をタッチした場合 ］

1 （ガイドボタン）を押す（親機）

●メニュー画面が表示されます。

2 録画履歴 をタッチする

●録画履歴画面が表示されます。
●ボタンに!が表示されている場合 ☞79ページ

3 再生する画像の種類を選んでタッチする

来客画像　子器からの呼出時の録画・録音画像

センサーカメラ画像　センサーカメラ動作時の録画・録音画像

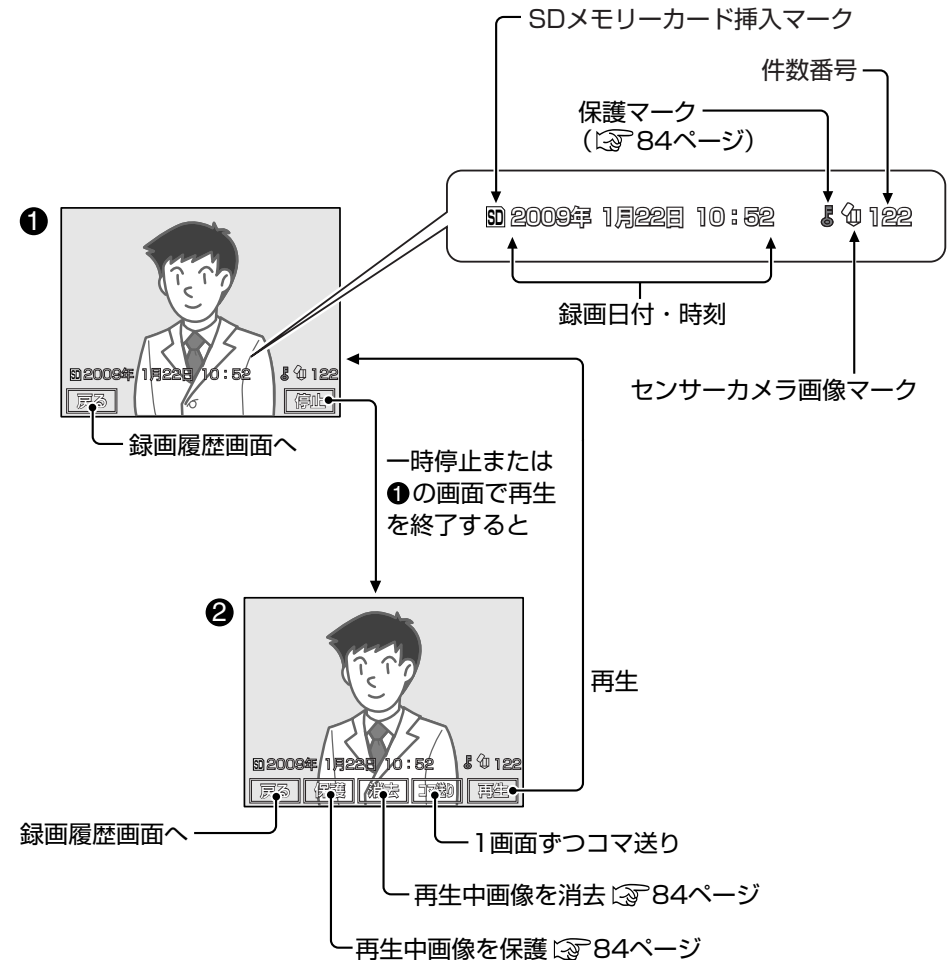
保護画像　保護した画像 ☞84ページ

注 再生データのないボタンは表示されません。

4 再生したいリスト表示を選んでタッチする

●選んだ日時の画像がプレビュー画面に再生されます。
●全画面をタッチすると全画面再生になります。
●手順3で保護画像をタッチした場合は、保護マークが表示されます。

●全画面再生中の画面について（親機）

注 副親機では録画・録音画像を再生できません。

注 センサーカメラ画像は最初の約8秒が早送り（音声なし）再生となります。

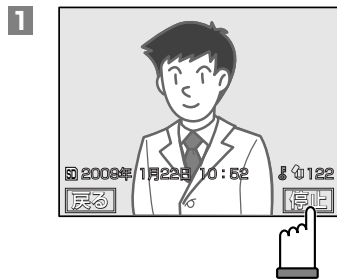
録画・録音

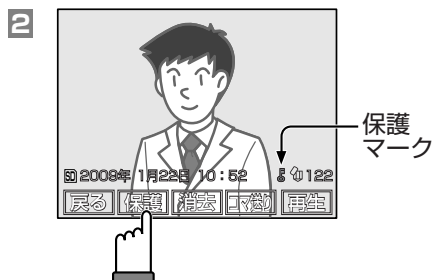
●録画・録音内容を保護・消去するには

●録画できる件数がいっぱいになると、在宅モードやおやすみモード設定時は留守設定が「切」のため上書きされたり、おでかけモード設定時には留守設定が「入」のため留守録画ができなくなります。（出荷時設定）
必要なデータは保護し、不要なデータを消去しておきましょう。

注 「保護」とは録画・録音したデータを消去しないように保護することです。

●SDメモリーカードを初期化して全画像を一度に消去することもできます。
初期化すると保護されているデータも消去されます。☞122ページ

1

1 保護または消去したい画像の全画面再生操作を行い（☞82・83ページ）再生中に 停止 をタッチする（親機）

2

2 保護するとき 保護 をタッチする

●保護されると保護マークが表示されます。
●もう一度押すと保護が解除されます。

2 消去するとき 消去 をタッチする

●「この録画画像（1件）を消去しますか？」が表示され、「はい」を押すと消去されます。
●保護されているデータは消去できません。（消去 は表示されません。）保護 をタッチして保護を解除してから消去してください。

録画・録音

●SDメモリーカードを お使いになる場合のご注意

●SDメモリカードは、32MB～2GBまで使用できます。Panasonic製をおすすめします。SDメモリーカードのメーカーや種類によっては、録画・録音処理時間が長くなる場合があります。すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

●SDメモリーカードは精密機器です。落としたり、無理な力や衝撃を与えないでください。また高温になる場所や直射日光の当たる場所には長時間置かないでください。

●SDメモリーカードを取り出した際のカード自体や、住まいるサポ親機本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。

●電気ノイズや静電気、住まいるサポ親機やSDメモリーカードの故障などにより、録画・録音データが破損または消失することがありますので、大切な録画・録音データはパソコンなどにも保存しておくことをおすすめします。破損または消失したデータの損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●住まいるサポ親機以外で録画した画像は再生できない場合があります。

●SDメモリーカード裏面の端子部には触れないでください。

●画像・音声などの記録およびその利用に際しましては、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮し、ご利用されるお客様の責任で、記録データの管理および取り扱いを行ってください。

●SDメモリーカードには書き込み禁止機能が付いています。機能させておくと、SDメモリーカードへの書き込みやデータの消去および、SDメモリーカードの初期化ができなくなります。

●SDメモリーカードを誤った向きに挿入すると、住まいるサポ親機だけでなく、SDメモリーカードも壊れる場合があります。必ずラベル面を正面にして、正しい向きに挿入してください。

●SDメモリーカード用カバーが完全に閉じない場合は、一度SDメモリーカードを取り出して向きを確認して挿入し直してください。

●SDメモリーカードを挿入した際には、SDメモリーカードの記録データのフォルダ構成などを確認するため、「SDカードを確認中 しばらくお待ちください」とメッセージが表示されます。メッセージ表示中は操作できません。

●SDメモリーカードを取り出すときは、121ページにしたがって取り出し操作をしてください。データ書き込み中などに取り出したり電源スイッチを切ったりすると、記録されたデータが破壊される場合があります。

●ご使用の環境によっては、SDメモリーカードに録画・録音できる件数や録画時間が異なりますので注意してください。SDメモリーカードに表示されているメモリー容量より使用可能メモリー容量は少なくなります。

●保存件数が多い場合や、住まいるサポ親機以外のデータがSDメモリーカードにある場合、SDメモリーカードのメモリー容量が足らなくなり、録画・録音できなくなることがあります。保護設定を解除したり住まいるサポ親機以外のデータを消去し、空き容量を確保してください。

●SDメモリーカードの初期化は122ページにしたがって初期化してください。パソコンなどの他の機器にて初期化した場合、録画・録音件数が減ったり、正常に動作しないことがあります。

●SDメモリーカードを初期化すると、記録されているデータはすべて消去されます。必要なデータはお使いのパソコンなど、別の機器に保存してください。

●記録した録画・録音内容をパソコンで再生することをご希望の方には Windows Media®Player での再生方法をご紹介させていただきます。
（※1）ただし、Windows Media®Player で再生するにはパソコンに G.726 Audio Codec をインストールする必要があります。
G.726 Audio Codecについては下記のURLをご参照ください。

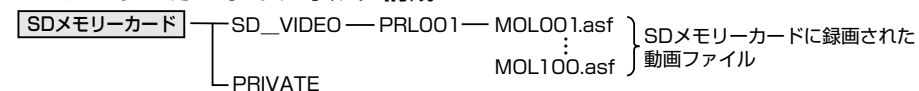
http://www.wmplugins.com

ただし、パソコンのOSがWindows Vista®の場合は、動画ファイルの拡張子の変更が必要です。お使いのパソコンに動画ファイルをコピーし、コピーした動画ファイルの拡張子を「.asf」から「.asx」に変更してください。
（例：MoL001.asf→MoL001.asx）

●※1：パソコンおよびOSなどの環境によっては、動作しない場合があります。
●本情報は2012年1月時点のものであり、今後変更されることがあります。
●Windows Media®、Windows Vista®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
●パソコンなどでSDメモリーカード内の画像データやフォルダなどを編集したりデータの名称を変更した場合、住まいるサポ親機で正常に再生できなくなります。

SDメモリーカードのフォルダ構成

```
SDメモリーカード ─┬─ SD_VIDEO ── PRL001 ── MOL001.asf  ┐ SDメモリーカードに録画された
                  │                          ⋮           │ 動画ファイル
                  │                         MOL100.asf  ┘
                  └─ PRIVATE
```

録画・録音

●住宅用火災警報器(連動型)が動作すると

●住宅用火災警報器が動作した場合に、住まいるサポからも警報をお知らせすることができます。

注 ワイヤレス連動型の住宅用火災警報器をご使用の場合も下記と同様に動作します。

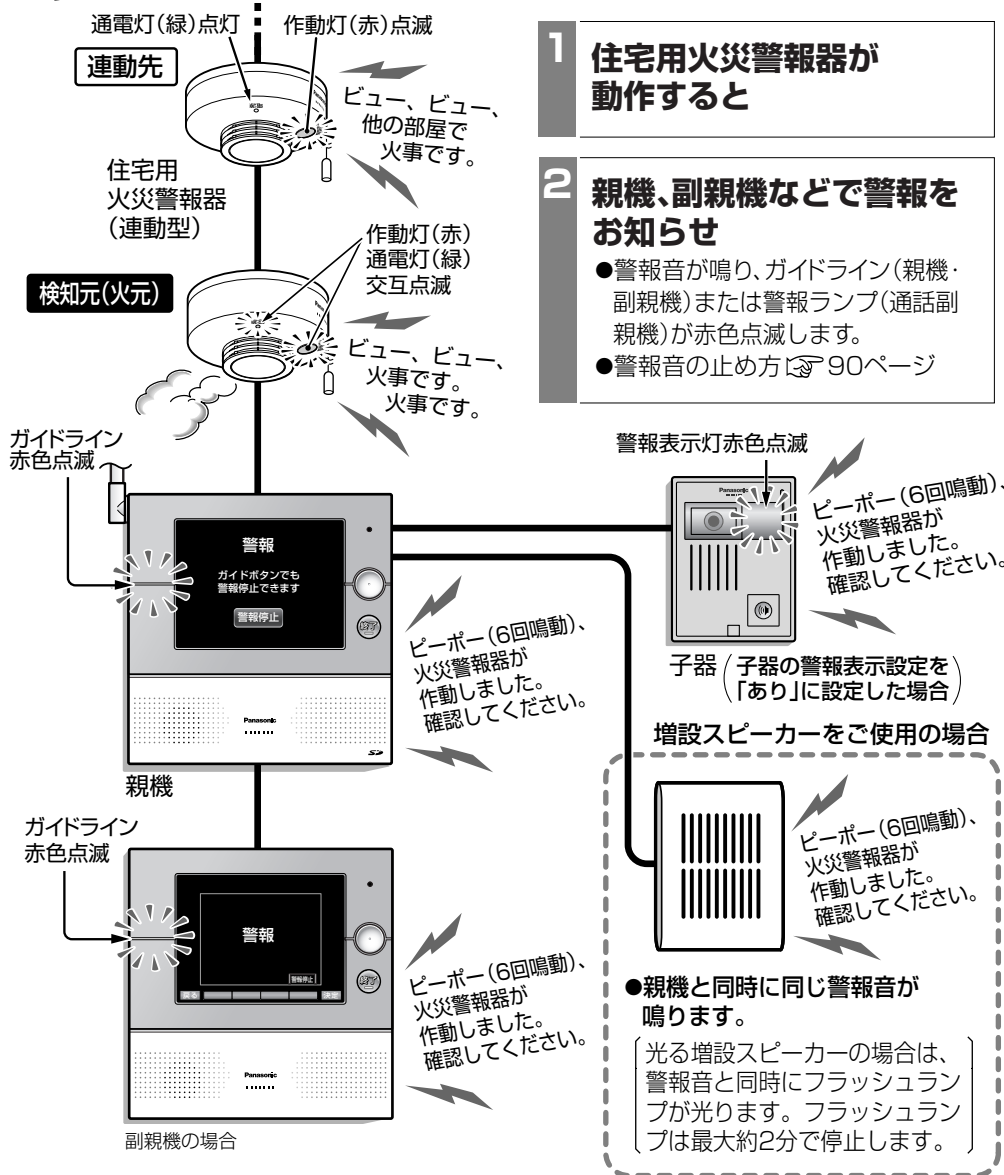
1 住宅用火災警報器が動作すると

2 親機、副親機などで警報をお知らせ

●警報音が鳴り、ガイドライン(親機・副親機)または警報ランプ(通話副親機)が赤色点滅します。

●警報音の止め方 ☞90ページ

●親機と同時に同じ警報音が鳴ります。

(光る増設スピーカーの場合は、警報音と同時にフラッシュランプが光ります。フラッシュランプは最大約2分で停止します。)

注 ●異常が復旧するまで警報音は鳴り続け、ガイドライン(親機・副親機)または警報ランプ(通話副親機)も点滅し続けますが、画面の「警報」表示は最大約5分で消えます。画面表示が消えた後に住まいるサポを操作すると、再度、画面に「警報」が表示されます。また、子器の警報表示灯は異常が復旧するまで点滅し続けますが、子器の警報音は最大約2分で停止します。

(ただし、通話副親機の警報停止ボタンを押すと、親機、副親機に「火元の警報停止」画面が表示され、メッセージが流れます。☞90ページ)

●警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合、警報ランプ付ブザー受信器の「音時間・光時間」設定にしたがって動作します。ただし、「連続」に設定すると、最大約5分でブザー音と警報ランプの点滅は停止します。

メモ

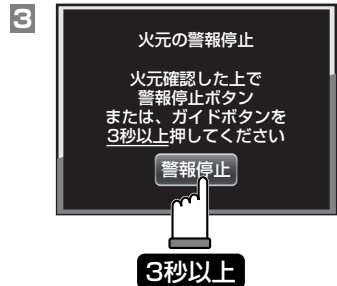
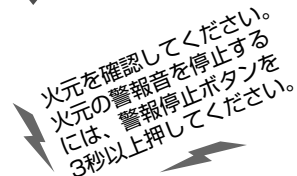
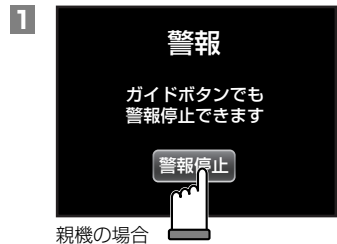
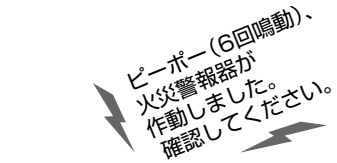
●住宅用火災警報器の警報が復旧すると、親機、副親機、通話副親機、子器の警報音とガイドライン、警報ランプ、および警報表示灯の点滅は止まります。
●警報音鳴動中は呼出および通話はできません。
●子器から警報表示させるには、親機で設定が必要です。出荷時の設定条件では、住宅用火災警報器が動作しても子器は警報表示しません。表示させるには設定マニュアルを参照するか、施工店に連絡してください。
●移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合は警報音が異なります。また、住まいるサポから住宅用火災警報器の警報音を止めることはできません。☞92ページ

●住宅用火災警報器(連動型)の警報音を住まいるサポで止めるには

●住宅用火災警報器(連動型)を使用している場合、住まいるサポから警報音を止めることができます。

1

親機の場合

3

注 副親機の場合は画面下の対応するボタンを押してください。

1 警報音鳴動中に 警報停止 をタッチ(親機)、または押す(副親機)

●検知元(火元)以外の警報器の警報音が止まります。
●親機、副親機、通話副親機、子器(警報表示：あり設定時)、増設スピーカー、および警報ランプ付ブザー受信器の警報音も止まります。
●親機のガイドボタン、または通話副親機の警報停止ボタンを押しても止まります。

2 火元を確認して適切な処置を行う

3 検知元(火元)の警報器の警報音を止めるには 警報停止 を3秒以上タッチ(親機)、または押す(副親機)

●ガイドライン(親機･副親機)または警報ランプ(通話副親機)は消灯し画面も消えます。
●子器(警報表示：あり設定時)の警報表示灯も消灯します。
●親機のガイドボタン、または通話副親機の警報停止ボタンを3秒以上長押ししても止まります。

注 手順3で 警報停止 を選ばなかった場合は、約20秒後に画面は消えますが、ガイドライン(親機・副親機)または警報ランプ(通話副親機)は点滅し続けます。ただし、画面が消えた後にガイドボタンを押すと、再度、「火元の警報停止」画面が表示され、メッセージが流れます。

メモ

●移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合は、住まいるサポから住宅用火災警報器の警報音を止めることはできません。
●警報器側で警報音を停止させる操作を行った場合、親機、副親機、通話副親機、子器、増設スピーカー、および警報ランプ付ブザー受信器の警報音も止まります。
●住宅用火災警報器(連動型)を使用している場合は、毎年3月1日と9月1日に住まいるサポ側で警報器の故障や警報器の点検時期をお知らせします。(移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合はお知らせできません。) 親機のガイドライン赤色点滅時にガイドボタンを押すと、下記のような画面を表示します。

故障
故障が発生しました
確認してください
火災警報器
確認

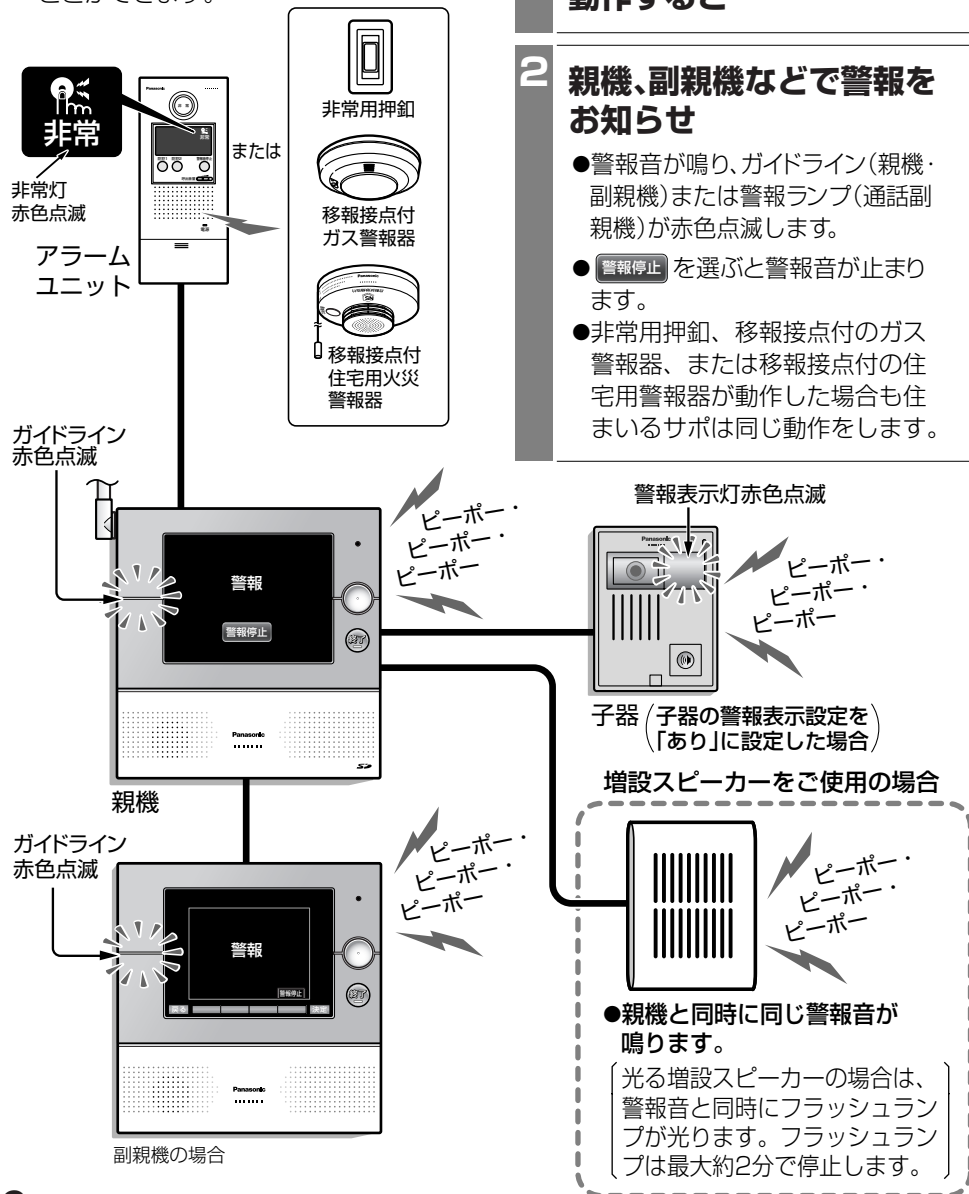
●操作方法について
☞98ページ

●操作方法について
☞100ページ

警報

●アラームユニットなどが動作すると

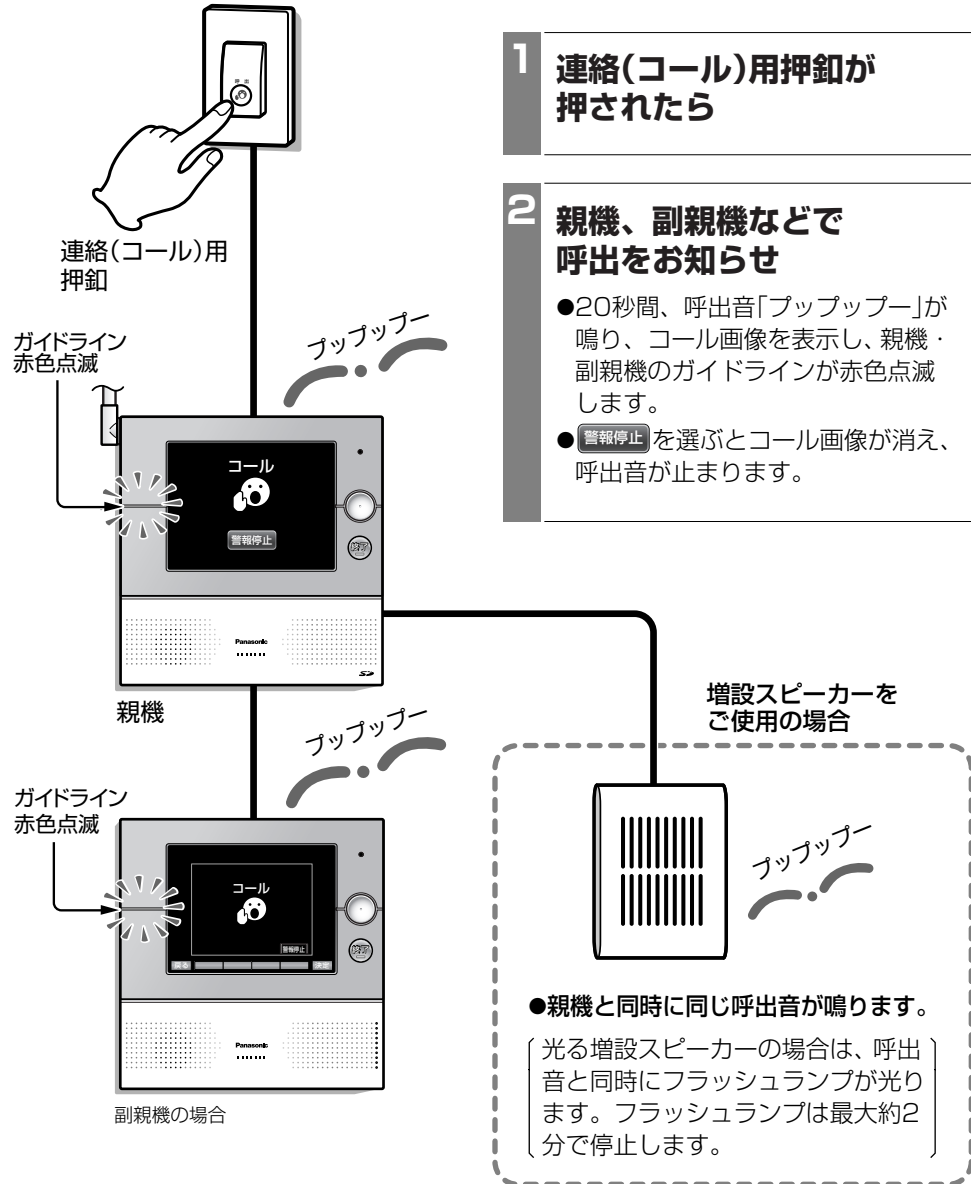
アラームユニットなどが接続されている場合のみ（施工設定が必要）

●アラームユニットなどが動作した場合に、住まいるサポからも警報をお知らせすることができます。

注
●親機と副親機の表示は「警報」のみです。発生した警報を区別することはできません。
●異常が復旧するまでガイドライン（親機・副親機）、警報ランプ（通話副親機）は点滅しますが、警報音と画面の「警報」表示は最大約5分で止まります。また、子器の警報表示灯は異常が復旧するまで点滅し続けますが、子器の警報音は最大約2分で停止します。
●警報停止ボタンを選んでもアラームユニットまたは移報接点付の住宅用火災警報器、移報接点付のガス警報器の警報音は止まりません。
●警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合、警報ランプ付ブザー受信器の「音時間・光時間」設定にしたがって動作します。ただし、「連続」に設定すると、最大約5分でブザー音と警報ランプの点滅は停止します。

メモ
●アラームユニットなどの警報が復旧すると、親機、副親機、通話副親機、子器の警報音とガイドライン、警報ランプ、および警報表示灯の点滅は止まります。
●警報音鳴動中は呼出および通話はできません。
●子器から警報表示させるには、親機で設定が必要です。出荷時の設定条件では、アラームユニットなどが動作しても子器は警報動作しません。表示させるには設定マニュアルを参照するか、施工店に連絡してください。

●連絡(コール)用押釦が押されると

連絡(コール)用押釦が接続されている場合のみ

●連絡(コール)用押釦が押されて呼出があることを住まいるサポでお知らせします。

1 連絡(コール)用押釦が押されたら

2 親機、副親機などで呼出をお知らせ

●20秒間、呼出音「プップップー」が鳴り、コール画像を表示し、親機・副親機のガイドラインが赤色点滅します。

●[警報停止]を選ぶとコール画像が消え、呼出音が止まります。

●親機と同時に同じ呼出音が鳴ります。

光る増設スピーカーの場合は、呼出音と同時にフラッシュランプが光ります。フラッシュランプは最大約2分で停止します。

注 ●押釦を押してから約20秒間を超えて押釦を押し続けている間は、呼出音が鳴り、コール画像を表示します。ただし、最大約5分で呼出音、コール画像とも止まります。

●親機、副親機のガイドラインは押釦が復旧するまで点滅します。

メモ

●子器からの呼出中または通話中でも連絡(コール)用押釦が押されると、呼出音「プップップー」が鳴り、コール画像に切り替わります。

●各警報の優先順位

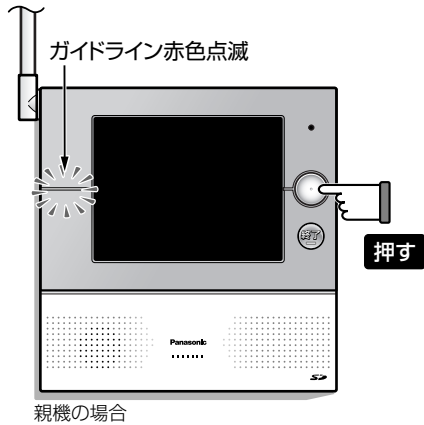
●各警報が同時に発生した場合、下記のような優先順位で動作します。
例えば、火災警報と防犯警報が同時に発生すると、火災警報のみ鳴動します。
ただし状態表示灯はすべて点灯または点滅します。

■各警報・報知の鳴動内容一覧

優先順位	警報・報知内容	警報メッセージ・報知音・報知メッセージ
①	火災警報	「ピーポーピーポーピーポー(2回)、火災警報器が作動しました確認してください」
②	防犯警報	「ヒュンヒュンヒュン(3回)、防犯異常発生」
③	非常警報	「ピーポーピーポーピーポー、非常発生」
④	警報(接点入力)	「ピーポーピーポーピーポー」
⑤	予備警報	「ポン、防犯警戒中です」
⑥	コール(接点入力)	「プップップー」
⑦	警戒中の敷地報知	「ポロロン」(3回)
	報知	

●ガイドラインが点滅しているときは

●親機、副親機のガイドラインが点滅しているときにガイドボタンを押すと、警報が発生していることや住宅用火災警報器(連動型)の異常を確認できます。

親機の場合

1 ガイドラインが赤色点滅しているときに(親機・副親機)

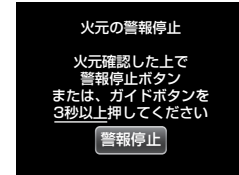
2 (ガイドボタン)を押す(親機・副親機)

●発生していた警報や住宅用火災警報器(連動型)の点検時期などを画面でお知らせします。☞右ページ
●画面は約30秒後に消えます。

手順 2 で 情報 ボタンのあるメニュー画面が表示された場合は(親機)
☞98ページ

メモ

●必ず親機で時刻設定をしてください。☞28ページ
時刻を設定していないと、火災警報器の点検時期をお知らせ(毎年3月1日と9月1日)できません。
●移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合、「故障」や「点検」画面は表示できません。
●「警報」や「コール」を表示しても、警報音や呼出音は鳴りません。
●お知らせ画面が複数ある場合は、下記の優先順位に基づいて表示され、すべてのお知らせ画面を表示した後、メニュー画面を表示します。
優先順位：①連動火災警報確認画面　②防犯警報確認画面　③非常警報確認画面
④警報確認画面　⑤防犯予備警報確認画面　⑥コール確認画面
⑦電気錠設定エラー確認画面　⑧センサー動作確認画面
⑨点検確認画面

連動火災警報が発生した場合

●火元を確認して、適切な処置をしてください。
● 警報停止 を3秒以上タッチ(親機)または押す(副親機)と、火元の警報器の警報音が止まります。
●親機のガイドボタンを3秒以上押しても止まります。

ワイヤレス送信器などで異常が発生していた場合

※親機がWQH510Wの場合

● 確認 を選ぶとメニュー画面が表示されます。
● 解除 を選ぶと警戒状態が解除されます。
(暗証番号入力画面が表示される場合があります。☞153ページ)
●窓などの状態を確認して、適切な処置をしてください。
●警戒状態を解除すると、ガイドラインは消灯します。

非常警報が発生していた場合

● 確認 を選ぶとメニュー画面が表示され、ガイドラインは消灯します。
●警報内容を確認して、適切な処置をしてください。

警報が発生していた場合

警報

確認

● 確認 を選ぶとメニュー画面が表示されます。
●警報内容を確認して、適切な処置をしてください。
●アラームユニットなどの警報が復旧すると、ガイドラインは消灯します。

予備警報状態の場合

※親機がWQH510Wの場合

● 確認 を選ぶとメニュー画面が表示されます。
● 解除 を選ぶと警戒状態が解除されます。
(暗証番号入力画面が表示される場合があります。☞153ページ)
●玄関の状態を確認して、適切な処置をしてください。
●警戒状態を解除すると、ガイドラインは消灯します。

▼次ページにつづく

●ガイドラインが点滅しているときは（つづき）

コール（連絡）が発生していた場合

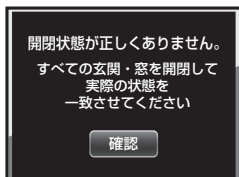
●確認を選ぶとメニュー画面が表示されます。
●呼出内容を確認して、適切な処置をしてください。
●押釦が復旧すると、ガイドラインは消灯します。

電気錠に設定エラーがあった場合

親機のみ

設定エラー
電気錠操作器の設定を
確認してください
電気錠1
確認

●確認を選ぶとメニュー画面が表示されます。
●電気錠操作器側の設定が間違っています。施工店に連絡してください。
●電気錠操作器を正しく設定すると、ガイドラインは消灯します。

ワイヤレス機能に異常があった場合

※親機がWQH510Wの場合

●確認を選ぶとメニュー画面が表示されます。
ワイヤレス機能に異常が発生し、親機の表示と実際の玄関・窓の開閉状態にズレが発生している可能性があります。生活モードを「在宅」（非警戒状態）に設定し、玄関や窓の開閉などで発信器・送信器を動作させて、親機と実際の玄関・窓の状態を一致させてください。

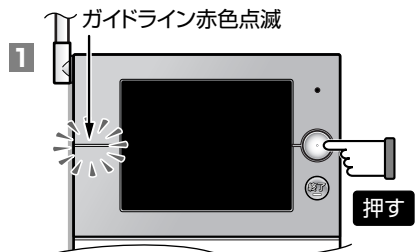
住宅用火災警報器（連動型）（警報音・音声警報機能付）の点検時

親機のみ

●確認をタッチすると、メニュー画面になります。100ページにしたがって、点検を行ってください。
●確認をタッチすると、ガイドラインは消灯します。

警報確認時に情報ボタン（メニュー画面）が出た場合（親機）

●接続機器の故障や電池切れをお知らせします。

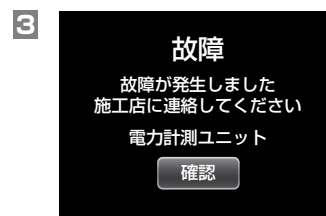
1

1 ガイドラインが赤色点滅しているときに（ガイドボタン）を押してメニュー画面が表示されると

2

2 情報をタッチする

●故障や電池切れを画面でお知らせします。

3

故障
故障が発生しました
施工店に連絡してください
電力計測ユニット
確認

3 内容を確認して 確認 をタッチする

●メニュー画面に戻ります。
●お知らせ画面が複数ある場合は、下記の番号の優先順位に基づいて表示され、すべてのお知らせ画面を表示した後、メニュー画面を表示します。

お知らせ画面

●画面に表示されている機器の説明書にしたがって処置をするか、親機に付属の設定マニュアル「故障かな？と思ったら」にしたがって処置してください。それでも表示される場合は、施工店へ連絡してください。
●処置した後、ワイヤレス機器を動作させると、住まいるサポのガイドラインは消灯します。

①電力計測ユニット故障

故障
故障が発生しました
施工店に連絡してください
電力計測ユニット
確認

②ワイヤレス送信器・火災警報器（ワイヤレス連動親機）通信エラー※

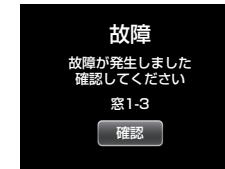
通信エラー
通信できません
確認してください
窓1-3
確認

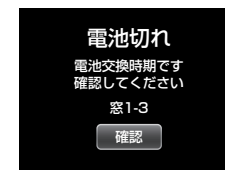
③火災警報器故障

④ワイヤレス送信器故障※

故障
故障が発生しました
確認してください
窓1-3
確認

⑤ワイヤレス機能故障※

故障
故障が発生しました
施工店に連絡してください
ワイヤレス機能
確認

⑥火災警報器電池切れ※

⑦ワイヤレス送信器電池切れ※

※親機がWQH510Wの場合
☞137ページ以降

警報

●ガイドラインが点滅しているときは（つづき）

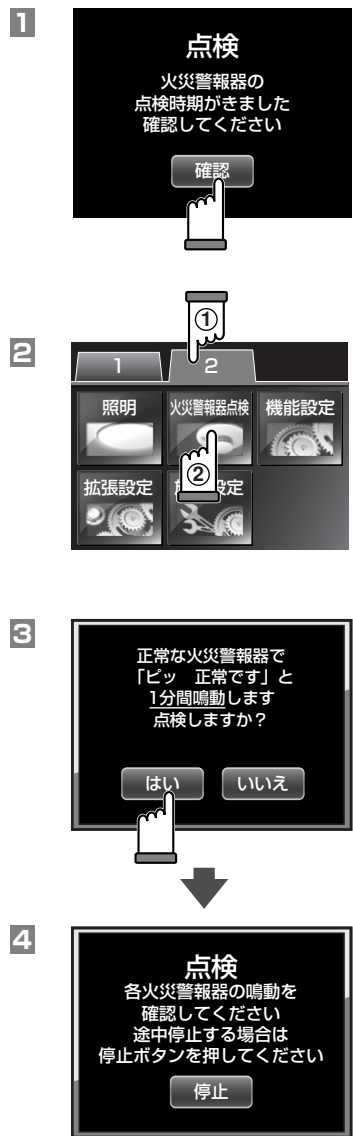
火災警報器の点検のしかた（親機）

1

2

3

4

点検
各火災警報器の鳴動を
確認してください
途中停止する場合は
停止ボタンを押してください
停止

1 点検画面で［確認］をタッチする

●メニュー画面が表示されます。

2 ［2］をタッチして、

をタッチする

●点検画面が表示されます。

注 **点検画面が表示されず、メッセージが出た場合(WQH510Wのみ)** ☞ 右ページ

3 ［はい］をタッチする

●点検中画面に変わります。
●各火災警報器が「ピッ、正常です。」と鳴動するのを確認してください。
●「ピッピッピッ、故障です。」が鳴る、または音が鳴動しない場合は、施工店に連絡してください。

4 1分間鳴動すると…

●メニュー画面に変わります。
●途中で確認を終了するには［停止］をタッチしてください。

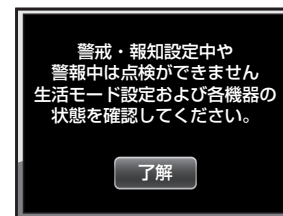
5 点検が終われば（終了）を押す

●モニター画面が消えます。(待機状態)
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

注 **点検終了後、約15秒間は再度、点検操作はできません。**

WQH510Wのみ

火災警報器点検画面に入ろうとして下の画面が出た場合は…

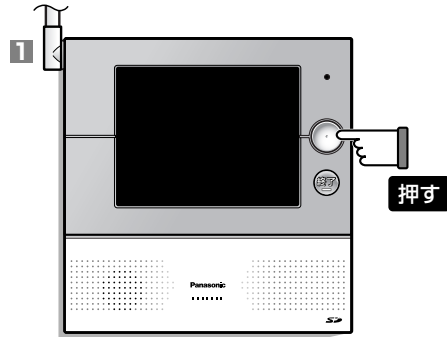
［了解］をタッチして、生活モードを「在宅」に設定してください。
☞42ページ

注
●生活モードの詳細設定で在宅モードの防犯状態を変更した場合は、防犯状態を「非警戒」に設定したモードを選んでください。
●警戒や報知設定中、および警報中やコール連絡中は、火災警報器点検は行えません。各機器の状態を確認してください。

警報

●省エネモニターを見る

住まいるサポ専用計測ボックスが接続されている場合のみ

親　機　●家庭内の電気の使用状況、省エネの達成状況をペンギンのイラストで確認できます。

1
1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2
2 をタッチする

●省エネモニター画面が表示されます。

3
3 省エネ状況を確認する

●104ページ以降を参照してください。
●太陽光発電システム対応住宅分電盤を接続している場合
☞114・115ページ

4 終われば（終了）を押す

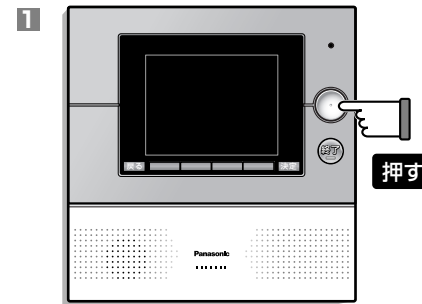
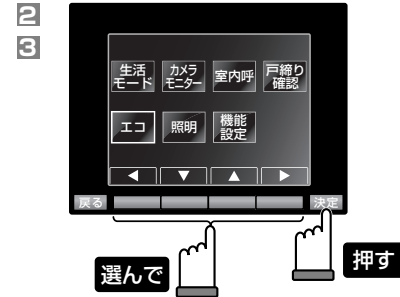
●モニターボタンが消えます。(待機状態)
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

副親機　●現在の消費電力を確認できます。

1
1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 画面下ボタンで

 を選ぶ

2 3
3 を押す

●省エネモニター画面が表示されます。

4
4 現在の消費電力を確認する

●電気チェック設定（☞112ページ）より使いすぎの場合は背景が黄色になります。お出かけ前に電気製品の切り忘れがないかチェックできます。

5 終われば（終了）を押す

●モニターボタンが消えます。(待機状態)
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

注 副親機で確認できるのは現在の消費電力のみです。

省エネモニターを確認する（親機）

一番左のペンギンが昨日の省エネ目標*達成結果をお知らせします。

現在の消費電力を表示します。

●電気チェック設定（☞112ページ）より使いすぎの場合は、背景が黄色になります。お出かけ前に電気製品の切り忘れがないかチェックできます。

メニュー画面に戻ります。

今日と昨日、および過去の電気使用量、電気料金、CO_2排出量をそれぞれ比較します。☞107ページ

今日の電気使用量を詳しく表示します。☞106ページ

省エネモニターの基準となるさまざまな設定をします。☞108ページ

省エネ目標値*に対する今日の電気使用量をメーターで示します。

●電気を使用するにつれて針が右に振れ、メーターの色が目標値の80%を超えると黄色に、目標値を超えると赤色に変わります。

氷の上に乗っているペンギンの数で今月の省エネ目標＊達成状況を示します。

●達成率に応じて氷の上にいるペンギンの数が増減します。5匹のペンギンが氷の上にいるように省エネを行いましょう。

がんばろう！
（15%以上オーバー）

もう少しがんばろう！
（約10%オーバー）

この調子！
（±5%程度）

グッド！
（約10%マイナス）

とってもグッド！
（15%以上マイナス）

＊省エネ目標値は月単位で設定します。「昨日の」あるいは「今日の」達成結果は、月単位で設定した目標値を日割り計算して判定します。☞113ページ

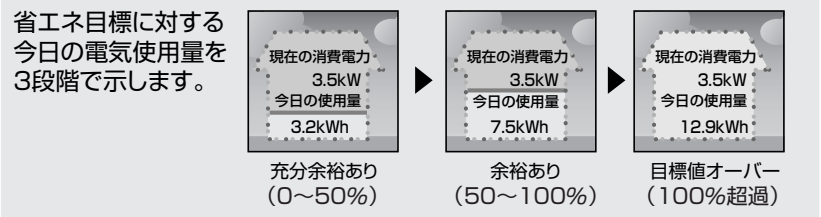
エコ

今日の電気使用量詳細を確認する（親機）

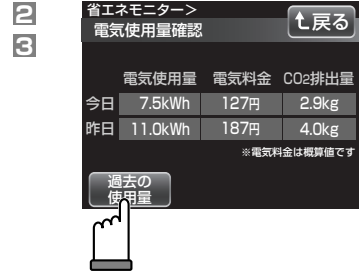
1 省エネモニター画面で 今日の使用量詳細 をタッチする

☞104ページ

●今日の使用量詳細画面が表示されます。

2 今日の電気使用量詳細を確認する

昨日や過去の電気使用量と比較する（親機）

1 省エネモニター画面で 電気使用量確認 をタッチする

☞104ページ

2 今日と昨日の電気使用量を比較する

注 ●電気料金が「－－円」と表示される場合は、電気料金の単価が設定されていません。単価を設定してください。☞109ページ

●太陽光発電システム対応住宅分電盤を接続している場合、電力会社から電気を購入しているより供給している方が多いと、電気料金表示は「－0円」となります。

●表示される電気料金は概算であり、実際の電気料金とは異なります。また、表示には基本料金は含まれません。

3 過去の使用量と比較する場合 過去の使用量 をタッチする

●過去の使用量画面が表示されます。

4 過去の使用量と比較する

●日別は今日と過去1ヵ月（30日）分を表示します。

●月別は今月と過去3年分を表示します。

エコ

●エコ設定について

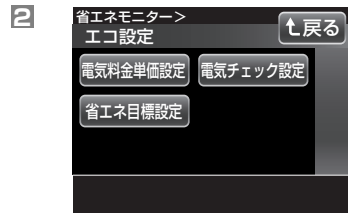
住まいるサポ専用計測ボックスが接続されている場合のみ

●省エネモニター画面に表示される基準となる項目を設定します。

設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
電気料金単価設定	電気使用量確認画面(☞107ページ)に表示される電気料金を計算する単価を設定します。	一律単価 単価：0円	➡109ページ
電気チェック設定	電気チェックの判定基準となる消費電力値を設定します。	100W	➡112ページ
省エネ目標設定	省エネモニター画面での判断基準となる省エネ目標値を設定します。	省エネ目標値設定 電力設定：100W	➡113ページ

設定項目の選びかた

1

2

1 省エネモニター画面で エコ設定 をタッチする(親機)

☞104ページ

2 設定項目を選んでタッチする

●選んだ項目の設定画面になります。
●各画面で 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■電気料金単価設定

●電気使用量確認画面(☞107ページ)に表示される電気料金を計算する単価を設定します。

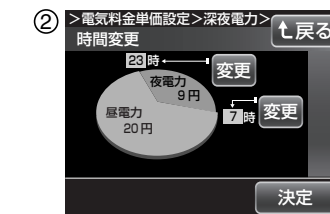
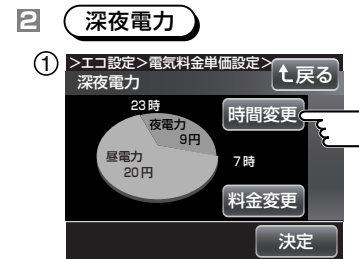
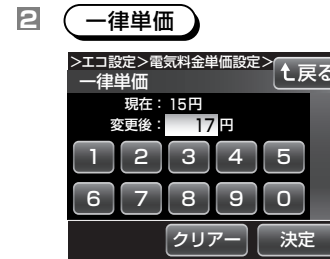
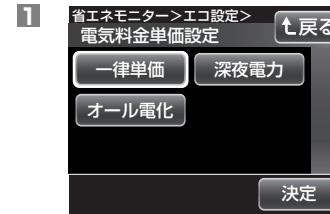
注 季節によって電気料金単価が変化する場合があります。ご契約の電力会社にお問い合わせください。

1

2 一律単価

2 深夜電力

①

②

1 単価設定方法を選択し、決定 をタッチする

一律単価 時間帯に関係なく一律の単価設定

深夜電力 昼と夜の単価を別に設定

オール電化 オール電化の場合、時間帯ごとに設定 ☞111ページ

2 それぞれを設定する

一律単価の場合

①電気料金の単価(1kWhの値段)を入力する
　●クリアー をタッチすると、入力した数値が消去されます。
②決定 をタッチする
　●手順 1 の画面に戻ります。

深夜電力の場合

①時間変更 をタッチする
　●時間変更画面が表示されます。
②設定する時間帯の 変更 をタッチする
　●時入力画面が表示されます。

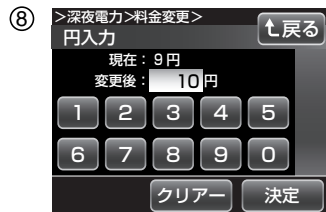
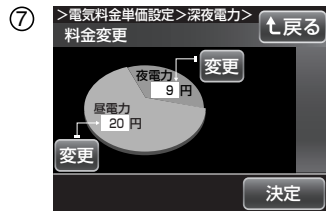
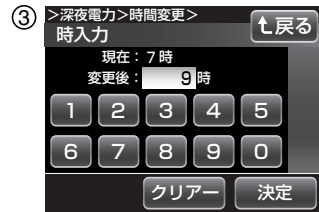
▼次ページにつづく

■電気料金単価設定（つづき）

③

⑥

⑦

⑧

2 深夜電力の場合（つづき）

③時を入力して 決定 をタッチする
- ● クリアー をタッチすると、入力した数値が消去されます。

④手順②③をくり返してそれぞれの時間帯を設定する

⑤手順②の画面で 決定 をタッチする

⑥ 料金変更 をタッチする
- ●料金変更画面が表示されます。

⑦設定する時間帯の 変更 をタッチする
- ●円入力画面が表示されます。

⑧単価を入力して 決定 をタッチする

⑨手順⑦⑧をくり返して時間帯ごとの単価を設定する

⑩手順⑦の画面で 決定 をタッチする

⑪手順⑥の画面で 決定 をタッチする

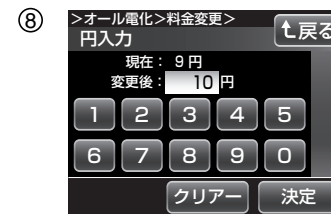
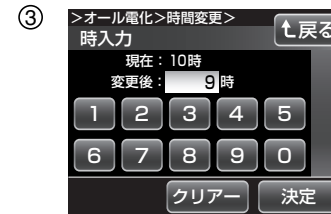
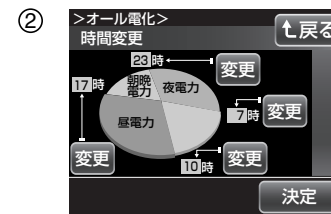
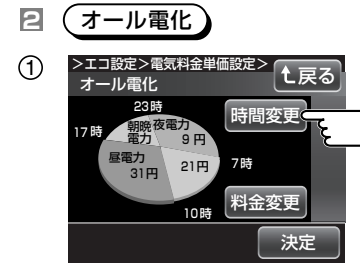
2 オール電化

①

②

③

⑦

⑧

2 オール電化の場合

① 時間変更 をタッチする
- ●時間変更画面が表示されます。

②設定する時間帯の 変更 をタッチする
- ●時入力画面が表示されます。

③時を入力して 決定 をタッチする
- ● クリアー をタッチすると、入力した数値が消去されます。

④手順②③をくり返してそれぞれの時間帯を設定する

⑤手順②の画面で 決定 をタッチする

⑥ 料金変更 をタッチする
- ●料金変更画面が表示されます。

⑦設定する時間帯の 変更 をタッチする
- ●円入力画面が表示されます。

⑧単価を入力して 決定 をタッチする

⑨手順⑦⑧をくり返して時間帯ごとの単価を設定する

⑩手順⑦の画面で 決定 をタッチする

⑪手順①の画面で 決定 をタッチする

●エコ設定について（つづき）

■電気チェック設定

●電気チェックの判定基準となる消費電力値を設定します。判定基準は外出時に電源をOFFにする機器の電源を切ったときの消費電力値を入力してください。

1

1 設定方法を選択してタッチする

手動 手動で電気チェック時に使いすぎと判定する値（W）を設定

現在値 現在の消費電力値を判定値に設定

2

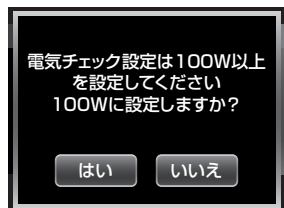
2 判定値を設定する

手動の場合

①電力値（W）を入力する
●クリアー をタッチすると、入力した数値が消去されます。

②決定 をタッチする
●手順 1 の画面に戻ります。

現在値の場合

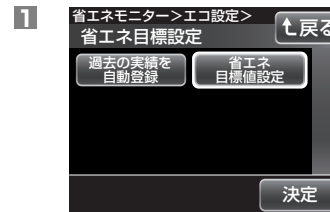
手順 1 で 現在値 を選んだ時点で設定されます。

注 100W未満は設定できません。
設定しようとすると左の画面が表示されます。

はい 100Wに設定

いいえ 設定を中止

■省エネ目標設定

●省エネモニター画面での判断基準となる省エネ目標値を設定します。

1

1 設定方法を選択し、決定 をタッチする

過去の実績を自動登録 先月あるいは前年同月の実績を設定

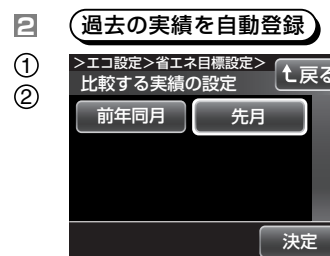
省エネ目標値設定 目標値を手動で設定

2 過去の実績を自動登録

①
②

③
④

>省エネ目標設定>比較実績設定> 前年同月 戻る
前年同月からの省エネ目標
0% -1% -3% -6% -10% -15%
決定

「前年同月」をタッチした場合

2 省エネ目標値設定

2 省エネ目標値を設定する

過去の実績を自動登録の場合

①比較する実績対象を選んでタッチする

②決定 をタッチする

③削減目標を選んでタッチする

④決定 をタッチする

省エネ目標値設定の場合

①電力消費量（kWh）を入力する
●クリアー をタッチすると、入力した数値が消去されます。

②決定 をタッチする

注 100kWh未満は設定できません。
設定しようとすると左の画面が表示されます。

はい 100kWhに設定

いいえ 設定を中止

●太陽光発電システムの発電状況を見る

太陽光発電システム対応住宅分電盤を接続している場合（親機）

●機能・拡張設定について

● 使用状況に応じてより快適にお使いいただくための設定項目です。状況に応じて設定してください。
● 親機は機能設定、拡張設定に分かれています。

注 下記にない項目は168ページを参照してください。（親機がWQH510Wの場合）

〔親機〕

	設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
機能設定	呼出音量設定	呼出音(子器呼出·室内呼出·コール呼出)および報知音(センサーカメラ検知)の音量を変更します。	大	➡120ページ
	SD取り出し※	SDメモリーカードを取り出すときに操作します。	——	➡121ページ
	SD初期化※	SDメモリーカードを初期化するときに操作します。 注 初期化すると、SDメモリーカードに記録されているデータ(保護画像も含む)はすべて消去されます。	——	➡122ページ
拡張設定	室内呼設定	グループ呼出時のグループと室内間通話時のトークバックの入/切を設定します。	グループA トークバック:入	➡123ページ
	名称設定	室内間通話時に選択する各室内機の名称を設定します。	室内機1(親機) :室内1 室内機2(副親機·通話副親機):室内2 室内機3(副親機·通話副親機):室内3 室内機4(副親機·通話副親機):室内4 室内機5(副親機·通話副親機):室内5	➡126ページ
	子器呼出設定	接続された各子器ごとに呼出のあり/なしを設定します。	あり	➡127ページ
	画面表示設定	ズーム画像を映し出した際の表示位置、親画面と子画面表示中(ピクチャーインピクチャー)の子画面の位置を変更できます。☞54·60ページ	ズーム位置:中央最上段 子画面位置:左上	➡129ページ
	時刻設定	日付時刻を設定することができます。	2009年1月1日 0時00分	➡28ページ
	センサーカメラ検知エリア設定	センサーカメラ検知させる必要のないエリアをマスキング設定します。	——	➡131ページ
	電気錠操作設定	電気錠を操作するかしないかを設定します。	あり	➡134ページ

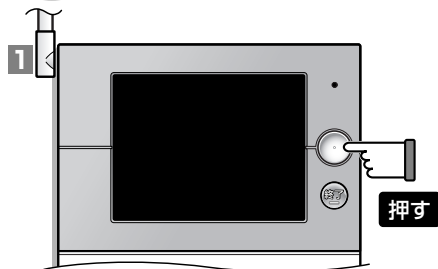
※：SDメモリーカード挿入時のみ設定できます。

〔副親機〕

	設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
機能設定	呼出音量設定	呼出音(子器呼出·室内呼出·コール呼出)および報知音(センサーカメラ検知)の音量を変更します。	大	➡120ページ
	室内呼設定	グループ呼出時のグループと室内間通話時のトークバックの入/切を設定します。	グループA トークバック:入	➡123ページ
	子器呼出設定	接続された各子器ごとに呼出のあり/なしを設定します。	あり	➡127ページ
	子画面表示位置設定	親画面と子画面表示中(ピクチャーインピクチャー)の子画面の位置を変更できます。☞60ページ	左上	➡129ページ
	電気錠操作設定	電気錠を操作するかしないかを設定します。	あり	➡134ページ

設定項目の選びかた

親機

図例：「呼出音量設定」を選ぶ場合

1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 2 をタッチする

3 機能設定 あるいは 拡張設定 をタッチする

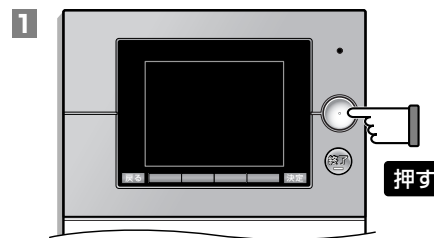
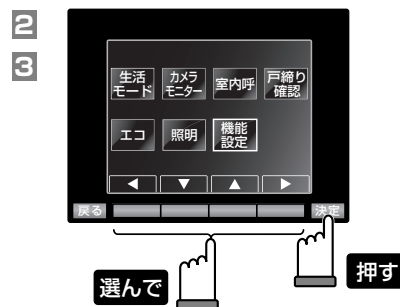
●それぞれの画面が表示されます。
●機能設定 ☞120～122ページ
●拡張設定 ☞123～135ページ

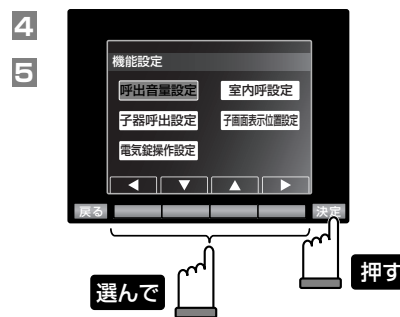
WQH510Wの場合/機能設定

4 設定項目を選んでタッチする

●選んだ項目の設定画面になります。
●各画面で 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
●拡張設定画面は2ページ構成です。ページは△、▽で切り換えてください。
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

副親機

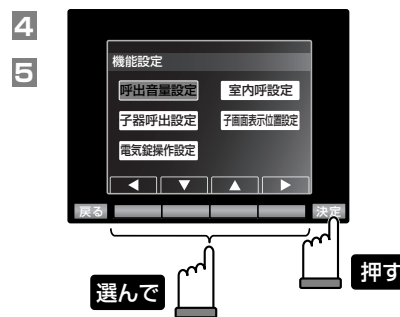
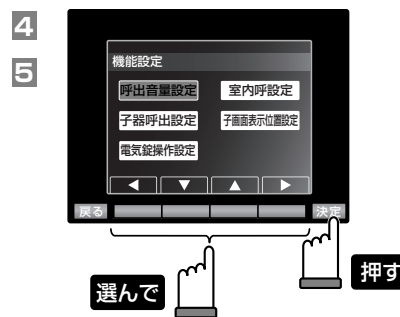
図例：「呼出音量設定」を選ぶ場合

1 （ガイドボタン）を押す

●メニュー画面が表示されます。

2 画面下ボタンで 機能設定 を選ぶ

3 決定 を押す

●機能設定画面が表示されます。

4 画面下ボタンを使って設定項目を選ぶ

4
5

機能設定
呼出音量設定 室内呼設定
子器呼出設定 子画面表示位置設定
電気錠操作設定
戻る 決定
選んで 押す

5 決定 を押す

●選んだ項目の設定画面になります。
●各画面で 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

注：親機（タッチパネル）と異なり、画面上で選択操作をする場合は、画面下ボタンを使って項目を選んで 決定 を押してください。

■呼出音量設定

通話副親機の呼出音量の変更方法 ☞21ページ

●呼出音量を設定します。

1

親機

WQH510Wの場合

副親機

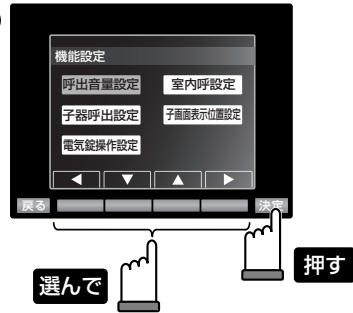
2

親機

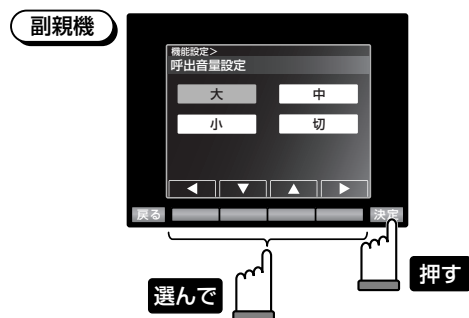
2

副親機

1 機能設定画面で 呼出音量設定 を選択する

☞118ページ（親機）
☞119ページ（副親機）

2 音量「大/中/小/切」を選択し、決定 を選ぶ

●「切」にすると、子器からの呼出音が鳴りません。呼出音停止ランプが点灯します。☞68ページ
●音量ボタンを選択すると、選択した音量で「ピンポン」と鳴りますので参考にしてください。
●機能設定画面に戻ります。

注
- **警報音量と通話音量の切替、および増設スピーカーの音量調節はできません。**
- **連絡（コール）用押釦が押されたときの呼出音「プップップー」音量も同時に切り替わります。**

3 設定が終われば （終了） を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■SD取り出し

●SDメモリーカードを取り出すときに操作します。

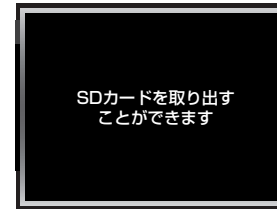
1

WQH510Wの場合

SDカードを取り出すことができます

1 機能設定画面で SD取り出し を選択する（親機）

☞118ページ

●「SDカードを取り出すことができます」が表示されます。

2 約5秒後、機能設定画面に戻る

3 （終了） を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

4 SDメモリーカードを取り出す

注 **メニュー画面でSDメモリーカードの取り出し操作を行った場合は、一度SDメモリーカードを抜いてから再度挿入しないと、SDメモリーカードには記録できません。**
（モニター画面が消えている状態で挿入してください。）

設定 機能・拡張

■SD初期化

●SDメモリーカードを初期化するときに操作します。

1

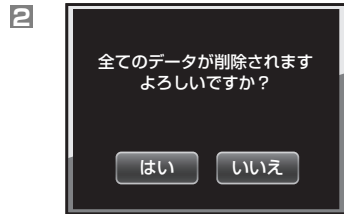
WQH510Wの場合

2

全てのデータが削除されます
よろしいですか？
はい　いいえ

注 保護している画像もすべて消去されます。

1 機能設定画面で SD初期化 を選択する（親機）

☞118ページ

2 はい を選択する

● はい を選択すると、「SDカードを初期化しています」および「SDカードを初期化しました」が表示されます。

注 SDメモリーカードを初期化できなかった場合には、メッセージが表示されますので、メッセージ内容にしたがって処置してください。

3 約5秒後、機能設定画面に戻る

4 終了 を押す

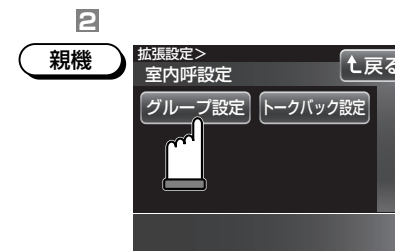
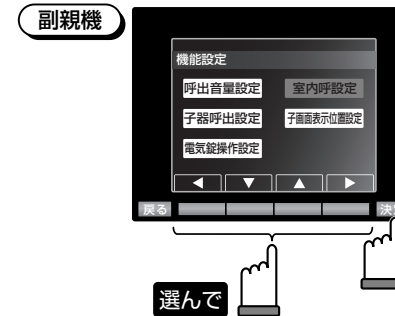
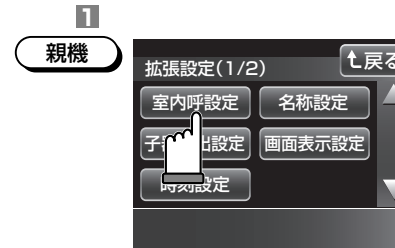
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■室内呼設定

●グループ呼出時のグループ（A·B）、トークバック機能の入/切を設定します。（室内間通話時）

1

親機

副親機

1 親機

拡張設定（1/2）画面で 室内呼設定 を選択する

☞118ページ

副親機

機能設定画面で 室内呼設定 を選択する

☞119ページ

2

親機

2

副親機

2 グループ設定 を選択する

▼次ページにつづく

●機能・拡張設定について（つづき）

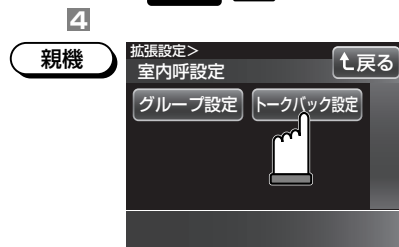
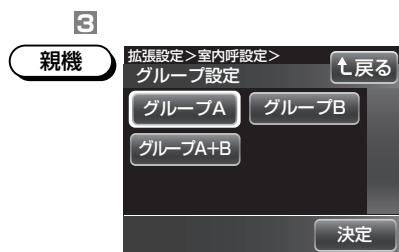
■室内呼設定（つづき）

3 親機

拡張設定>室内呼設定>
グループ設定
戻る
グループA グループB
グループA+B
決定

3 副親機

4 親機

4 副親機

3 グループを選択し、決定を選ぶ

●「グループA＋B」を選択すると、どちらのグループで呼び出されても呼出音が鳴ります。

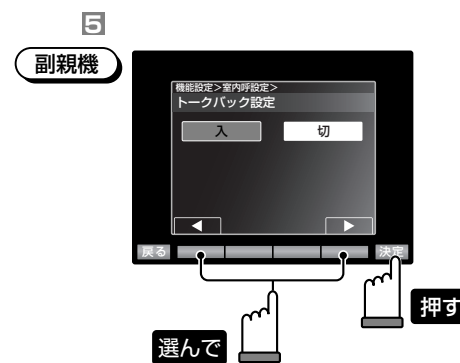
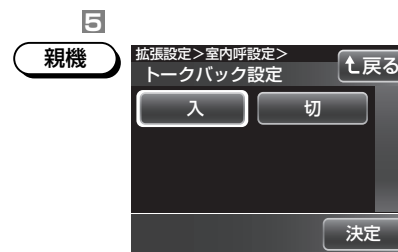
注 **この設定は応答する側の設定です。**
（たとえば、グループAに設定している親機でもグループBの副親機を呼び出すことは可能です。）

●手順 2 の画面に戻ります。

4 トークバック設定 を選択する

5 親機

拡張設定>室内呼設定>
トークバック設定
戻る
入 切
決定

5 副親機

5 トークバックの入/切を選択し、決定を選ぶ

●手順 4 の画面に戻ります。

6 設定が終われば を押す

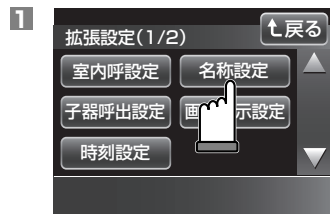
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

トークバック機能とは…

室内呼操作をしてから約30秒間は、呼び出した側と呼び出された側の双方の音が自動的に聞こえます。常に大きな音のする部屋で使用する場合やプライバシーを保護するためには、トークバック機能を「切」に設定して、呼び出された側の室内の音を聞こえなくすることができます。
（ガイドボタンや通話ボタンを押すと通話できます。）

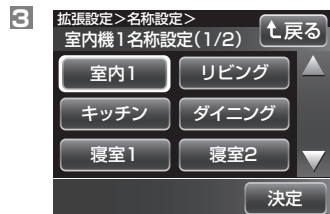
注 **●トークバック設定は、設定した側が呼び出されたときのみ有効です。**
●通話副親機の設定については、本体裏面のトークバック設定スイッチ（スイッチ6）で設定してください。☞通話副親機の施工説明書

■名称設定

●室内間通話時に選択する各室内機の名称を設定します。

1 拡張設定（1/2）画面で 名称設定 を選択する（親機）

☞118ページ

2 設定する室内機を選択する

●接続されていない室内機はグレー表示となり、選べません。
（選ぶと「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。）

3 名称を選択し、決定 を選ぶ

●室内1～5、リビング、キッチン、ダイニング、寝室1·2、子供部屋1·2、書斎、居間、和室から選んでください。
●△、▽をタッチすると画面がスクロールします。
●決定 をタッチすると、手順 2 の画面に戻ります。
（他の室内機についても設定する場合、同じ操作をくり返してください。）

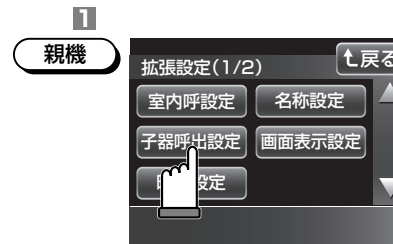
4 設定が終われば 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■子器呼出設定

●接続された各子器ごとに呼出のあり/なしを設定します。

1 親機

1 副親機

1

親機

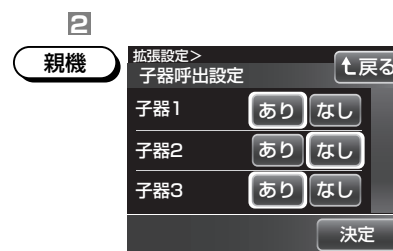
拡張設定（1/2）画面で 子器呼出設定 を選択する

☞118ページ

副親機

機能設定画面で 子器呼出設定 を選択する

☞119ページ

2 親機

2

親機

子器ごとにあり/なしを選択し、決定 を選ぶ

●接続されていない子器は選べません。

▼次ページにつづく

■子器呼出設定(つづき)

2

副親機

①

機能設定＞
子器呼出設定
子器1　子器2
子器3
戻る　決定
選んで　押す

②

2 副親機

① 設定する子器を選択・決定する

●接続されていない子器は選べません。

② あり/なしを選択・決定する

●子器が複数ある場合は、手順①②をくり返してください。
●手順①画面に戻ります。

3

設定が終われば を押す

●モニター画面が消えます。(待機状態)
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

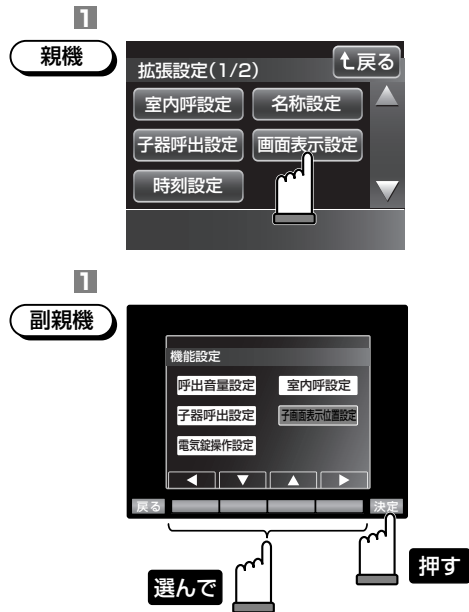
■画面表示設定(親機)/■子画面表示位置設定(親機・副親機)

●ズーム画像を映し出した際の表示位置(親機のみ)、ピクチャーインピクチャーの子画面の位置を設定します。

1

親機

1

副親機

1 親機

拡張設定(1/2)画面で 画面表示設定 を選択する

☞118ページ

副親機

機能設定画面で 子画面表示位置設定 を選択する

☞119ページ

●副親機の場合、手順 7 に移ってください。

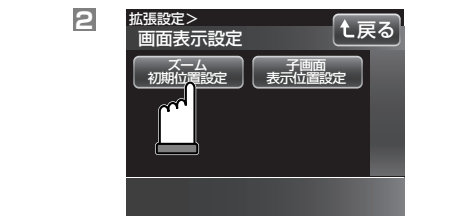
2

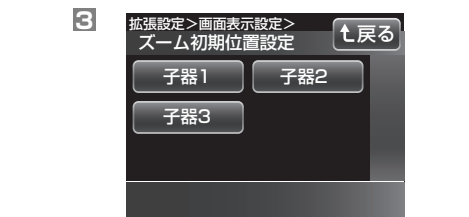
2

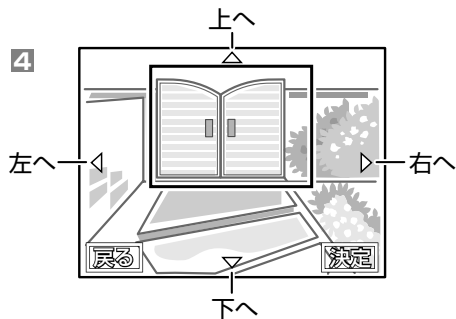
ズーム初期位置設定 を選択する

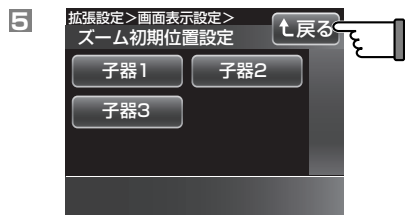
●「子画面表示位置設定」を行う場合は、手順 6 に移ってください。

3

拡張設定＞画面表示設定＞
ズーム初期位置設定
戻る
子器1　子器2
子器3

3

設定する子器を選択する

▼次ページにつづく

機能・拡張設定

4 ▽・△・◁・▷でズーム位置（枠内）を選択し、決定を選ぶ

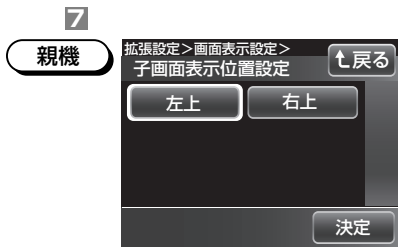
●手順3の画面に戻ります。
●他の子器についても設定する場合は、手順3～4をくり返してください。

5 手順3の画面で戻るを選ぶ

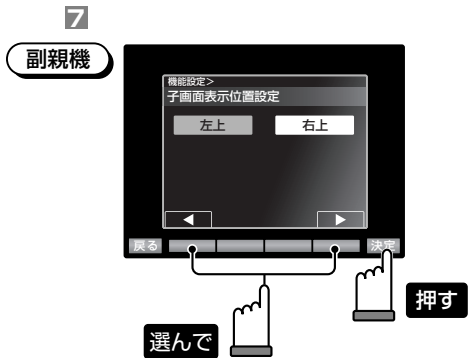
●手順2の画面に戻ります。

6 **を選択する**

7 親機

拡張設定＞画面表示設定＞
子画面表示位置設定
戻る
左上　右上
決定

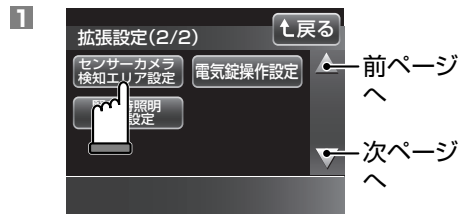
7 副親機

7 左上/右上を選択し、決定を選ぶ

●手順2の画面に戻ります。

8 設定が終われば（終了）を押す

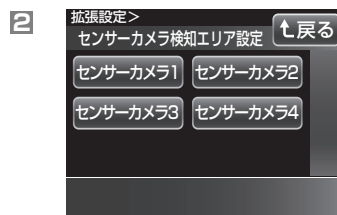
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■センサーカメラ検知エリア設定

●センサーカメラ検知させる必要のないエリアを検知エリアから除外して、不要な検知を防ぐ設定です。（マスキング機能 ☞133ページ）

1

1 拡張設定（2/2）画面でセンサーカメラ検知エリア設定を選択する（親機）

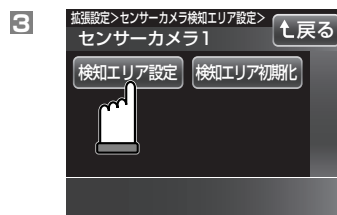
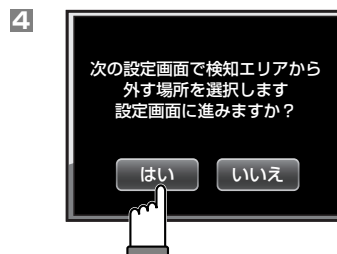
☞118ページ

2

2 設定するセンサーカメラを選択する

●接続されていないセンサーカメラはグレー表示となり、選べません。（選ぶと「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。）

3

3 検知エリア設定を選択する

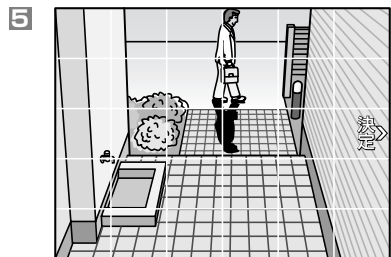
4

4 はいを選択する

●いいえを選択すると、手順3の画面に戻ります。

▼次ページにつづく

設定・機能拡張

■センサーカメラ検知エリア設定（つづき）

5

5 検知エリアから除外する個所をタッチする

●除外したエリアを画面で確認してください。選択すると▭が表示されます。

注 **誤動作の原因となるエリアを多めに選択してください。**

●除外したエリアを再度検知させたい場合は、検知させたい▭個所で再度タッチしてください。

●検知エリアを初期化するには
☞右ページ

6 ◯（ガイドボタン）を押す

●設定が始まり「設定中」が表示されます。終わると「センサーカメラ検知エリアの設定が完了しました」が表示され、約5秒後に手順 2 の画面に戻ります。

注 **設定に失敗すると、「センサーカメラ検知エリア設定に失敗しました 再度実施してください」メッセージ表示後に手順 3 に戻ります。**
もう一度設定してください。

●他のセンサーカメラについても設定する場合は、手順 2 ～ 6 をくり返してください。

7 設定が終われば（終了）を押す

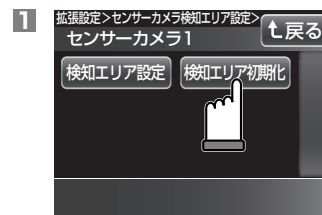
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■検知エリアを初期化するには

●初期化すると、センサーカメラ検知エリア設定（☞131・132ページ）で除外したエリアを一括で検知させることができます。（すべての検知エリアで検知します。）

1

1 131ページの手順 3 で 検知エリア初期化 を選択する

2

2 はい を選択する

●初期化が始まり、「初期化中」が表示されます。終わると「完了しました」が表示され、約5秒後に131ページの手順 2 の画面に戻ります。

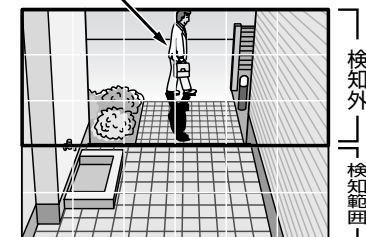
● いいえ を選択すると、手順 1 の画面に戻ります。

マスキング機能とは…

センサーカメラ検知させる必要のないエリアを検知エリアから除外して、不要なセンサーカメラ検知を防ぐ設定です。

検知エリアの一部に、木や人の往来などの定常的に動くものがあり、誤検知が起きやすい場所にセンサーカメラを設置する場合に、設定することをおすすめします。

●人物や植木などの影でも検知する場合があります。影の部分も検知エリアから除外することをおすすめします。
●設定後は、必ず親機の画面でセンサーカメラの映像を確認してください。

人などが通る部分を非検知エリアとすることができます。

機能・拡張設定

●機能・拡張設定について（つづき）

■電気錠操作設定

●接続された電気錠ごとに親機/副親機それぞれの機器での操作のあり/なしを設定します。

注 電気錠操作器が接続されている場合のみ必要な設定です。（施工設定が必要）

1

親機

1

副親機

2

親機

拡張設定>
電気錠操作設定　戻る
電気錠1　あり　なし
電気錠2　あり　なし
決定

1 親機

拡張設定(2/2)画面で 電気錠操作設定 を選択する

☞118ページ

副親機

機能設定画面で 電気錠操作設定 を選択する

☞119ページ

2 親機

電気錠ごとにあり/なしを選択し、決定 を選ぶ

●接続されていない電気錠はグレー表示となり、選べません。
（選ぶと「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。）
●拡張設定(2/2)画面に戻ります。

2

副親機

①

②

2 副親機

① 設定する電気錠を選択・決定する

●接続されていない電気錠はグレー表示となり、選べません。
（選ぶと「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。）

② あり/なしを選択・決定する

●電気錠が複数ある場合は、手順①②をくり返してください。
●手順①画面に戻ります。

3 **設定が終われば 終了 を押す**

●モニター画面が消えます。(待機状態)
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

ワイヤレス機器接続型について
（WQH510Wをお使いの場合のみ）

●この章は親機にWQH510W（ワイヤレス機器接続型）をお使いで、ご自宅のドアや窓などにワイヤレスセンサーを設置している場合の説明です。

●ご 注 意

ご使用前に

●この商品は、電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」および「特定小電力無線局の無線設備(テレコントロール用)」です。
●本システムは人命保持や盗難事故を完全に防ぐものではありません。あくまでも補助的なシステムです。万一、本システムの稼動中に人命·財産などに対して損害が生じても弊社は一切の責任は負い兼ねますのでご了承ください。

使用上のご注意

●故障、破損または動作しない原因となりますので、必ずお守りください。

- 2台以上の発信器·送信器などから同時に電波が送信されると、親機は動作しないことがありますが、故障ではありません。
- 親機と発信器·送信器、住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)、ワイヤレススイッチ、中継器は、50cm以上離して使用してください。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器·送信器などは医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

受信モニターの便利な使いかた

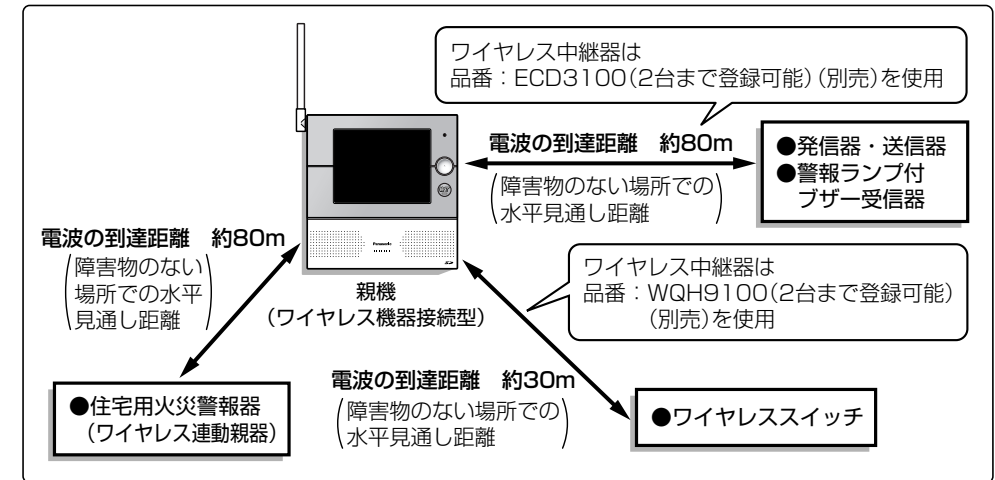
発信器·送信器などを操作していないのに、頻繁に親機の受信モニター(☞16ページ)が赤色点灯·点滅する場合は、近くにある家電商品やパソコンなどのOA機器からの電波(ノイズ)を受けているか、もしくはトランシーバーや当社および他社の無線商品など、特定小電力無線設備が使用されている可能性があります。
このような場合には使用場所を変更したり、周波数チャンネルを変更して受信モニターが点灯·点滅しないようにしてください。(親機の周波数チャンネルの変更方法については施工説明書、発信器·送信器などについてはそれぞれの商品に付属の説明書を参照してください。)

おことわり

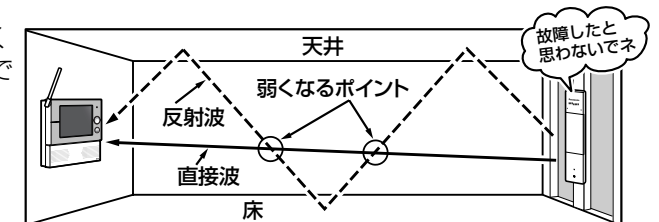
この商品は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示(〒マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。

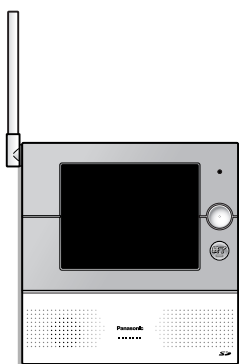
設置場所に関するご注意

●各機器間の電波の到達距離は下記のようになります。
電波が届きにくい場合はワイヤレス中継器をご使用になり、動作を確認してください。

●下記のような使用環境では、電波(ノイズ)を受けたり電波の到達距離が短くなります。
このような場合は、動作しないことがありますので注意してください。

- 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 機器の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- 金属物の壁面に機器を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- 機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

●到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。

●設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。
設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

●組み合わせ可能な発信器・送信器など

●発信器･送信器の登録台数は警戒セット･解除発信器を除き合計30台まで。
警戒セット･解除発信器は合計7台まで。

WQH510W
住まいるサポ[W型]3:5親機

警戒時に発信器・送信器からの電波を受信すると警報メッセージが鳴ります。また、玄関や窓、クレセント錠の開閉状態を確認できます。

玄関用

小電力型ワイヤレスドアセンサー送信器
(受信器連動警報機能付)

ドアの開閉を検知し、電波を送信します。

ECD3472A･H(防雨形)
ECD3472AP・HP(防雨形)

警報時などに屋外へのお知らせ用

小電力型ワイヤレス警報ランプ付ブザー受信器(屋側用)
(台数制限なし)

親機から送られる警報信号を光と音で表示します。

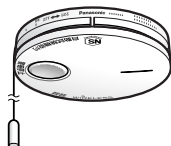
ECD6130K

火災時の警報用

住宅用火災警報器
(ワイヤレス連動型)

火災を検知すると電波を送信します。

連動親器(1台のみ)

SH32717・
SH22417・SH22717

連動子器

(例)SH32427(けむり用)
SH32127(ねつ用)

※セット品(SH6902P)もあります。
※住まいるサポと組み合わせる場合の台数

連動親器の品番	連動子器の台数
SH32717・SH22717の場合	13台まで
SH22417の場合	6台まで

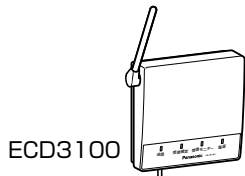
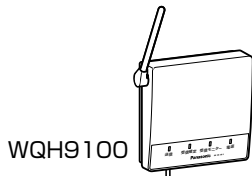
電波が届きにくい場合の電波中継用として

小電力型ワイヤレス中継器
(2台まで)

発信器・送信器、および警報ランプ付ブザー受信器～親機間の電波を中継し、電波の到達距離を伸ばします。

ECD3100

小電力型ワイヤレス中継器(ワイヤレススイッチ用)
(2台まで)

ワイヤレススイッチ～親機間の電波を中継し、電波の到達距離を伸ばします。

WQH9100

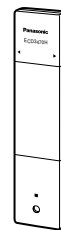
注: 中継器を使用した場合の電波到達距離については、中継器側の説明書を参照してください。

窓1・窓2用

小電力型ワイヤレス窓センサー送信器
(受信器連動警報機能付)

窓の開閉検知(クレセント錠検知)

窓、クレセント錠の開閉を検知し、電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。

ECD3470A・H(防沫形)
ECD3470AP・HP(防沫形)

小電力型ワイヤレス窓ガラス破壊センサー送信器

窓ガラスの破壊検知

窓ガラスが割れたことを検知し、電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。

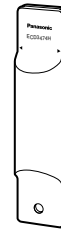
ECD2490A・H(防沫形)
ECD2490AP・HP(防沫形)

敷地(屋外警戒)用

小電力型ワイヤレス門扉センサー送信器
(受信器連動警報機能付)

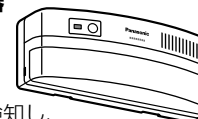
門扉用

門扉の開閉を検知し、電波を送信します。

ECD3474A・H(防雨形)
ECD3474AP・HP(防雨形)

小電力型ワイヤレス熱線センサー送信器
(屋側用)

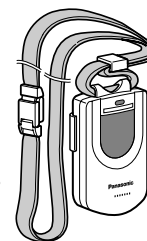
敷地用

建物付近の侵入者を検知し、電波を送信します。

ECD3420A・H
ECD3420AP・HP

非常時の連絡用

小電力型ワイヤレスペンダント発信器

ボタンが押されると、電波を送信します。
首にかけられるタイプです。

ECD2305

小電力型ワイヤレス壁掛発信器

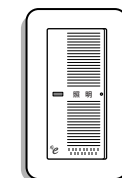
ボタンが押されると、電波を送信します。
壁に取り付けるタイプです。

ECD2308

照明のワイヤレスコントロール用

ワイヤレススイッチ
(台数制限なし)

遠隔操作で照明の入/切をしたり、いるふり照明を設定できます。

WTE5203W

警戒や報知のセット・解除用

小電力型ワイヤレス警戒セット・解除発信器
(アンサーバック付)

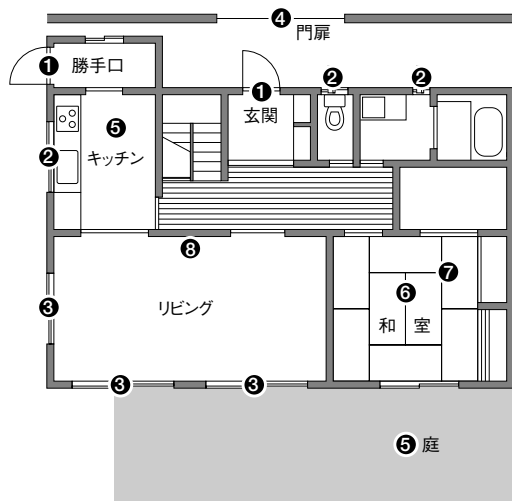
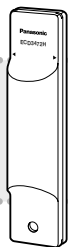
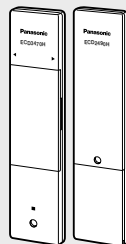
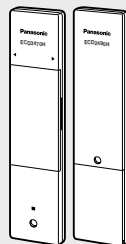
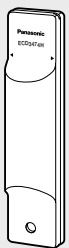
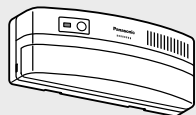
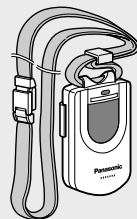
遠隔操作で警戒セットや解除ができます。

ECD3320
ECD3320P

ワイヤレス

●ワイヤレス接続システムについて

●発信器·送信器などを親機に登録することにより、「玄関·窓1·窓2·敷地」の防犯報知/防犯警戒を行い、侵入者が検知された場合は電波を送信し、親機から警報メッセージで異常をお知らせします。ほかにも非常や火災発生時に警報させることができます。

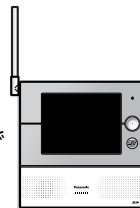
発信器・送信器の設置例

❶ **玄関・勝手口の警戒には…**
ECD3472A·H
ECD3472AP·HP
ドアセンサー送信器

❷ **窓の警戒には…**
ECD3470A·H
ECD3470AP·HP
窓センサー送信器

❸ **窓ガラスの破壊検知には…**
ECD2490A·H
ECD2490AP·HP
窓ガラス破壊センサー送信器

❹ **門扉の警戒には…**
ECD3474A·H
ECD3474AP·HP
門扉センサー送信器

❺ **お庭の警戒には…**
ECD3420A·H
ECD3420AP·HP
熱線センサー送信器

❻ **非常の連絡には…**
ECD2305
ペンダント発信器

❼ **火災の警戒には…**
SH32717·SH32427（例）
住宅用火災警報器

❽ **照明の遠隔操作には…**
WET5203W
ワイヤレススイッチ

注 各発信器・送信器は、あらかじめ登録する必要があります。
（設定マニュアル「ワイヤレスセンサー設定・登録」参照）

重　要

◇発信器・送信器の登録

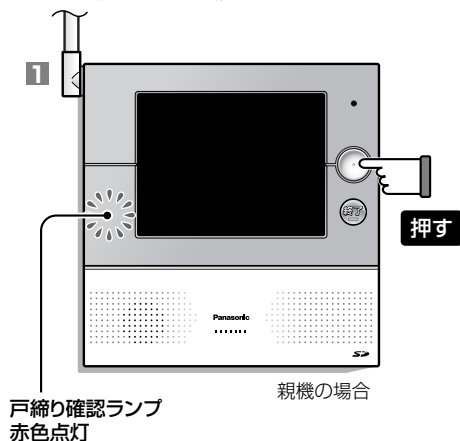
すべての発信器·送信器は、「**ID番号**」を持っています。これは、発信器·送信器の「**名前**」のような役割を果たします。
親機は、事前に知らされているID番号の発信器·送信器からの電波のみを受信することができます。
このため、ワイヤレスセンサーを使用する前に、発信器·送信器のID番号を親機に知らせておく作業が必要となります。
この作業が「**登録**」です。

◇周波数チャンネル

親機·発信器·送信器が使用する電波帯を「**周波数チャンネル**」と呼びます。
発信器·送信器が親機に正しく登録されていても、同じ周波数チャンネルを使用するように設定されていなければ、通信することはできません。**発信器·送信器と親機は、必ず同じ周波数チャンネルに設定してください。**
また、近い周波数の電波が周囲に多数ある場合、電波を正常に受信できないことがあります。
このような場合、周波数チャンネルを変更してください。
周囲に近い周波数の電波があるかどうかは、受信モニターの点灯·点滅状態で確認することができます。

戸締りを確認する

●開閉を検知する送信器が設置されたドアや窓の戸締りを確認できます。

1

親機の場合

戸締り確認ランプ
赤色点灯

1 （ガイドボタン）を押す（親機・副親機）

●開いている窓や玄関がある場合、戸締り確認ランプが赤色点灯します。

2

1 2
生活モード カメラモニター 録画履歴
室内呼 戸締り確認 エコ

2 戸締り確認 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●戸締り確認画面が表示されます。

3
4

3 各エリアの戸締り状態を確認する

開あり：エリア内に開いている窓や玄関があります。
閉　　：エリア内の窓や玄関は閉まっています。

●この画面で電気錠の施解錠操作も可能です。☞57ページ

4 詳しく確認したい場合はそのエリアの 詳細 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。

5

戸締り確認＞
窓1エリア　戻る
窓1-1 :開 / 窓1-2 :閉
窓1-3 :開 / 窓1-4 :閉
窓1-5 :開 / 窓1-6 :閉
窓1-7 :開 / 窓1-8 :閉
窓1-9 :開 / 窓1-10:閉

5 詳細を確認する

●エリア内の送信器ごとに開閉状態を確認できます。

注 **窓ガラス破壊センサー送信器は、常に「閉」の状態で表示されます。**

6 終わるとき 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

●窓を開けたまま、おでかけモードに設定するには

●生活モードを「おでかけ」に設定すると防犯状態が「警戒」にセットされますが（生活モードが出荷時設定の場合）、たとえば、勉強中の子供部屋は窓を開けておきたいなど、特定のエリアだけ警戒セット状態にならないようにすることができます。

1

1 一部の窓を戸締りしていない状態で、生活モード画面で おでかけ をタッチする

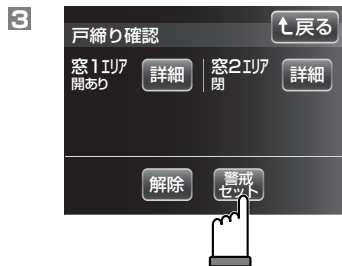
☞36ページ

●「戸締りを確認してください」が表示されます。

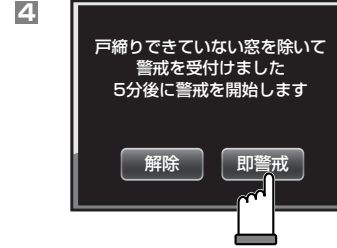
2

2 確認 をタッチする

●戸締り確認画面が表示されます。

3

3 警戒セット をタッチする

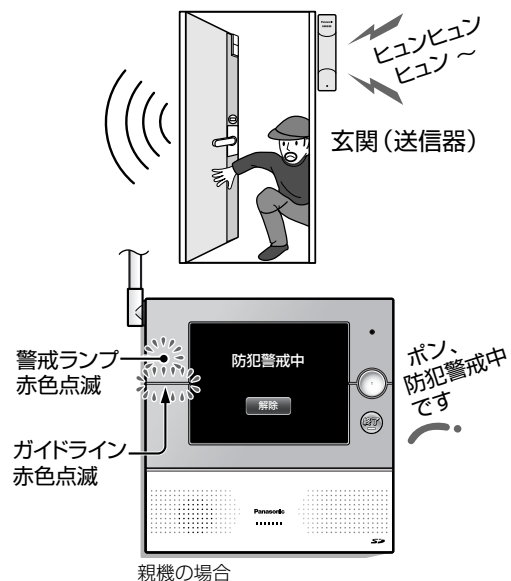
●「戸締りできていない窓を除いて、警戒を受け付けました 5分後に警戒を開始します」が表示され、戸締りされている窓が警戒セットされます。
●玄関と敷地は警戒開始遅延状態（☞180ページ）になります。
●玄関·敷地を登録していない場合は、即時警戒セットされます。

4

4 即警戒 をタッチする
〔あるいは手順 3 で 警戒セット をタッチしてから5分後…〕

●「戸締りできていない窓を除いて、警戒を開始しました」が表示され、玄関と敷地が警戒セットされます。
●その後、戸締りされていなかった窓も戸締りをした時点で警戒セットされます。（戸締り確認ランプ消灯）

ワイヤレス

●おでかけモード設定中に玄関が開くと

●生活モードを「おでかけ」に設定すると防犯状態が「警戒」にセットされ（生活モードが出荷時設定の場合）、玄関用の送信器が検知すると住まいるサポで警報します。
●おでかけモード設定 ➡ 36ページ

親機の場合

1 親機・副親機などで予備警報をお知らせ

●1分間の予備警報状態になり、予備警報メッセージが鳴ります。
●警戒ランプとガイドラインが赤色点滅し、「防犯警戒中」画面が表示されます。（親機・副親機）
●送信器から警報音「ヒュン ヒュン ヒュン」が約1分間鳴ります。

2 警報解除操作を行う

☞152ページ

●予備警報メッセージが鳴り始めてから、1分以内に解除を行ってください。解除を行うと、送信器の警報音は停止します。

3 解除操作を行わない場合は、1分後に警報メッセージ「ヒュンヒュンヒュン、防犯異常発生」が鳴る

●送信器の警報音が止まります。
●子器、増設スピーカー、および警報ランプ付ブザー受信器からも警報します。
●約5分間警報メッセージが鳴り続けた後、自動的に警報メッセージは止まります。

4 防犯警報状態を解除するには、解除操作を行う

☞152ページ

注
●自動的に警報メッセージが止まった後も、玄関・窓を開けると警報メッセージが5分間再度鳴ります。この場合、玄関でも予備警報状態にならずに、即時防犯警報状態になります。
●防犯警報の解除操作を行うと、警報メッセージおよび送信器の警報音は止まり、警報ランプ付ブザー受信器への出力も停止します。

メモ
●予備警報時間を「5分間」に変更できます。☞169ページ
●送信器からの警報音を報知音「ピーピーピー」に変更できます。報知音は約3秒間で停止します。（親機・副親機から報知音を止めることはできません。）
また、送信器から音を鳴らさないようにすることもできます。詳しくは送信器に付属の説明書を参照してください。

●おでかけモード設定中に窓が開くと

●生活モードを「おでかけ」に設定すると防犯状態が「警戒」にセットされ（生活モードが出荷時設定の場合）、窓用の送信器が検知すると住まいるサポで警報します。
●おでかけモード設定 ➡ 36ページ

窓（送信器）

親機の場合

1 親機・副親機などで警報をお知らせ

●警報メッセージが鳴ります。
●警戒ランプとガイドラインが赤色点滅し、「防犯警報」画面が表示されます。（親機・副親機）
●送信器から警報音「ヒュン ヒュン ヒュン」が約1分間鳴ります。
●子器、増設スピーカー、および警報ランプ付ブザー受信器からも警報します。

2 約5分間警報メッセージが鳴り続けた後、自動的に警報メッセージが止まる

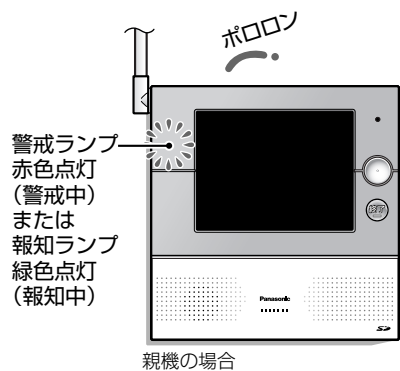
3 防犯警報状態を解除するには、解除操作を行う

☞152ページ

注
●自動的に警報メッセージが止まった後も、玄関・窓を開けると警報メッセージが5分間再度鳴ります。この場合、玄関でも予備警報状態にならずに、即時防犯警報状態になります。
●防犯警報の解除操作を行うと、警報メッセージおよび送信器の警報音は止まり、警報ランプ付ブザー受信器への出力も停止します。

おでかけモードやおやすみモード設定中に敷地用の送信器が検知すると

●生活モードを「おでかけ」あるいは「おやすみ」に設定すると防犯状態が「警戒」あるいは「報知」にセットされ（生活モードが出荷時設定の場合）、敷地用の送信器が検知すると住まいるサポでお知らせします。
●おでかけモード設定 ☞36ページ、おやすみモード設定 ☞41ページ

親機の場合

1 報知音「ポロロン」が3回鳴る

●送信器から警報音または報知音が鳴ります。

警戒中（おでかけモード）
警報音「ヒュンヒュンヒュン」が約10秒間鳴動する

報知中（おやすみモード）
報知音「ピーピーピー」が約3秒間鳴動する

●警報ランプ付ブザー受信器が敷地報知動作します。
●報知音は3回鳴ると停止します。

メモ

●警戒中の送信器からの警報音を報知音「ピーピーピー」に変更できます。
報知音は約3秒間で停止します。
また、送信器から音を鳴らさないようにすることもできます。
詳しくは送信器に付属の説明書を参照してください。

おやすみモードや在宅モード設定中に玄関や窓、門扉を開けると

●生活モードを「おやすみ」あるいは「在宅」に設定すると防犯状態が「報知」あるいは「非警戒」にセットされ（生活モードが出荷時設定の場合）、玄関・窓・門扉用の送信器が検知すると住まいるサポでお知らせします。
●おやすみモード設定 ☞41ページ、在宅モード設定 ☞42ページ

報知中（おやすみモード）

親機の場合

1 戸締り確認ランプが赤色点灯し、報知音「ポロロン」が3回鳴る

●送信器から報知音「ピーピーピー」が約3秒間鳴ります。
●報知音は3回鳴ると停止します。

2 戸締りが完了すると、戸締り確認ランプが消灯する（親機・副親機）

非警戒中（在宅モード）

親機の場合

1 戸締り確認ランプが赤色点灯する（親機・副親機）

●戸締り確認ランプの点灯/消灯で戸締り状態が一目でわかります。

2 戸締りが完了すると、戸締り確認ランプが消灯する（親機・副親機）

注 親機が非警戒中では送信器が検知しても音は鳴りません。

●予備警報、防犯警報の解除のしかた

●警報を解除する場合は、暗証番号を設定しているかどうかによって下記のように解除の操作が異なります。（暗証番号を設定している場合は、解除をタッチすると暗証番号入力画面を表示します。暗証番号の設定方法は、170ページを参照してください。）

暗証番号を設定していない場合

1 **解除 をタッチする**

●警報メッセージが止まり、「警戒を解除しました」が表示され、警戒が解除されます。
●副親機の場合は、対応する画面下ボタンを押してください。
●通話副親機の警報停止ボタンを押しても解除できます。

注 **警報を解除すると、警報ランプ付ブザー受信器への出力も停止します。**

暗証番号を設定している場合

注 **暗証番号を設定している場合は、通話副親機では解除できません。**

1

2
3
親機

2
3
副親機

1 **解除 をタッチする**

●副親機の場合は、対応する画面下ボタンを押してください。
●予備警報メッセージや防犯警報メッセージは鳴り続けます。
●暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4ケタの暗証番号を 1 2 をタッチして入力する**

●クリアー を選ぶと入力中の数字が消去されます。
●副親機の場合は、対応する画面下ボタンを押してください。

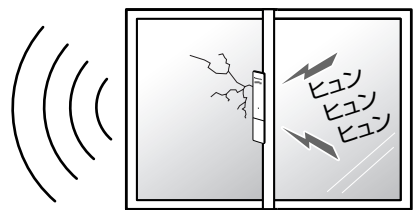
3 **決定 をタッチする（親機）/ 決定 を押す（副親機）**

●「警戒を解除しました」が表示され、警戒セットが解除されます。

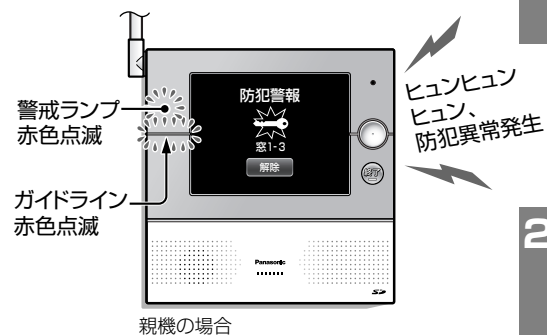
メモ

●予備警報中に暗証番号入力を3回間違えると、予備警報時間内であっても警報メッセージが鳴ります。
●暗証番号が間違っている場合は 決定 をタッチする（親機）/ 決定 を押す（副親機）と、手順 1 の画面に戻ります。

●窓ガラスが破壊されると

窓
（窓ガラス破壊センサー送信器）

親機の場合

1 親機、副親機などで警報をお知らせ

- ●警報メッセージが鳴ります。
- ●ガイドラインが赤色点滅し、「防犯警報」画面が表示されます。（親機・副親機）
- ●送信器から警報音「ヒュンヒュンヒュン」が約1分間鳴ります。
- ●子器、増設スピーカー、および警報ランプ付ブザー受信器からも警報します。

2 約5分間警報メッセージが鳴り続けた後､自動的に警報メッセージが止まる

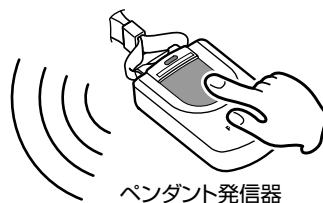
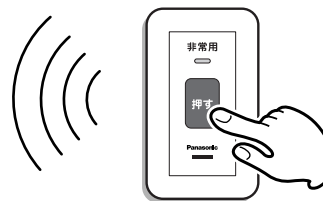
3 防犯警報状態を解除するには、解除操作を行う

☞152ページ

■警報時の処置

- ●警報内容を確認のうえ､適切な処置を行ってください。

注
- ●窓ガラス破壊センサー送信器が窓ガラスが破壊されたことを検知した場合は、親機が警戒／報知セット状態、および非警戒状態にかかわらず、防犯警報します。
- ●送信器の警報音は住まいるサポから停止することはできません。

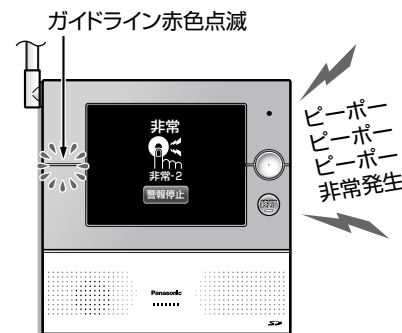
●非常警報用の発信器が操作されると

ペンダント発信器

壁掛発信器

親機の場合

1 親機、副親機などで警報をお知らせ

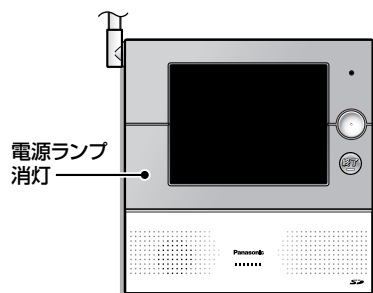
- ●警報メッセージが鳴ります。
- ●ガイドラインが赤色点滅し、「非常警報」画面が表示されます。（親機・副親機）
- ●子器、増設スピーカー、および警報ランプ付ブザー受信器からも警報します。

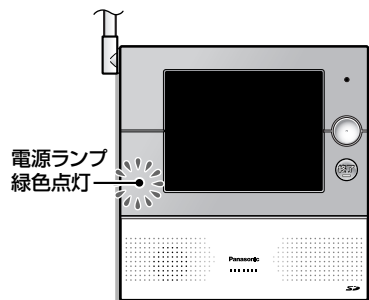
2 [警報停止]をタッチすると、警報メッセージが停止する

- ●副親機の場合は、対応する画面下ボタンを押してください。
- ●通話副親機の警報停止ボタンを押しても止まります。
- ●ガイドラインは赤色点滅し続けます。ガイドラインを消灯させるには、ガイドボタンを押して[確認]をタッチしてください。
☞96・97ページ

■警報時の処置

- ●警報内容を確認のうえ､隣近所へ連絡するなど適切な処置を行ってください。

●停電になったら

停電発生時

●発信器・送信器の信号を受信できません。
（異常が発生しても警報しません。）

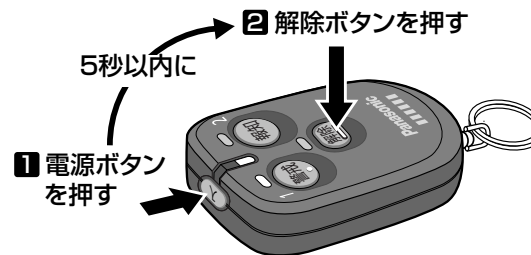
停電復旧時

●生活モードの設定状態、および警報表示状態は、停電する前の状態を保持しています。
●玄関・窓の開閉状態は、閉状態になります。

■親機と玄関・窓の開閉状態を一致させる

●停電中は電波を受信していません。停電中に窓を開けても親機側で信号を受信できず、親機の表示と実際の玄関・窓の開閉状態にズレが発生する場合がありますので、停電復旧後、生活モードを「在宅」(非警戒状態)に設定し、玄関や窓の開閉などで発信器・送信器を動作させ、親機と実際の窓の状態を一致させてください。
（送信器を動作させなくても状態表示灯と送信器の状態は8時間以内に自動的に一致します。）

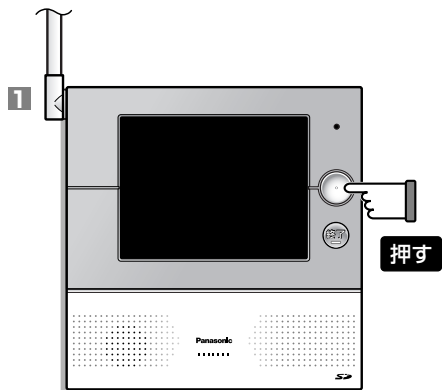
注 生活モードが「おでかけ」の状態では防犯状態が「警戒」となり、玄関や窓を開閉すると警報メッセージが鳴りますので、生活モード画面で 在宅 をタッチしてから動作させてください。（生活モードが出荷時設定の場合）
☞42ページ

または

警戒セット・解除発信器で非警戒状態にする 詳細は、☞166ページ

ワイヤレススイッチの動作について

●ワイヤレススイッチを設置・登録している場合、以下の動作が可能です。

住まいるサポで照明を一括「点灯」「消灯」させる

1

親機の場合

1 **（ガイドボタン）を押す（親機・副親機）**

2 親機

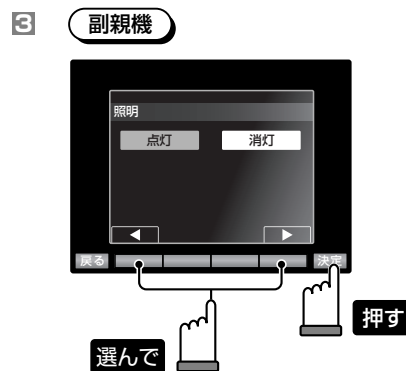
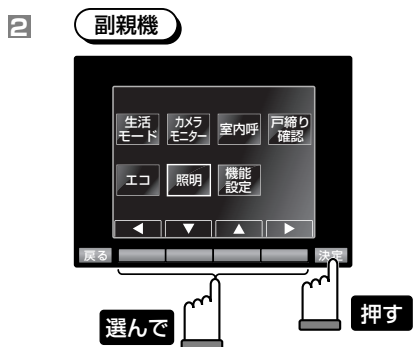
2 副親機

2

2 をタッチして、照明 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●照明画面が表示されます。

3 親機

3 副親機

3 点灯 あるいは 消灯 をタッチする

●副親機の場合は画面下ボタンで選んでから 決定 を押してください。
●設置・登録されているすべてのワイヤレススイッチに連動している照明が一括で点灯あるいは消灯します。

注
- **●画面は現在の照明の点灯/消灯状態の表示ではありません。**
- **●ワイヤレススイッチに連動している照明が複数ある場合、個別の点灯・消灯はできません。**
- **●ワイヤレススイッチが連続消灯状態になっていると、操作はできません。**

4 終わるとき 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●終了ボタンを押さなくても約30秒後に画面は消えます。

●ワイヤレススイッチの動作について（つづき）

いるふり照明を点灯させる

●毎日決まった時間帯（タイマー）、防犯警報時・報知時、センサーカメラ動作時に、ワイヤレススイッチに連動している照明を一定時間、自動点灯させることができます。

注 **あらかじめ、「いるふり設定」を「あり」に設定しておく必要があります。**
☞171ページ

■点灯条件と点灯時間

	条　件	点 灯 時 間
タイマー点灯	生活モードで「おでかけ」設定時に、「いるふりタイマー」設定時間になった場合（☞171ページ）	タイマーの設定にしたがう
防犯警報時・報知時点灯	生活モードで「おでかけ」設定※1時に、ドアや窓、および門扉が開いた場合、または敷地用送信器が検知した場合	5分
センサーカメラ動作時点灯	生活モードで「おでかけ」設定※2時に、センサーカメラが動作した場合	5分

※1：生活モードの防犯状態は、「警戒」または「報知」に設定してください。
※2：生活モードのセンサーカメラ検知は、「入（報知あり）」または「入（報知なし）」に設定してください。

緊急時に照明を点灯させる

●住宅用火災警報器（連動型）の警報時、ワイヤレス発信器による非常警報時、およびアラームユニット動作時に、ワイヤレススイッチに連動している照明を自動点灯させることができます。（自動消灯はしません。）

注 **あらかじめ、「緊急時照明連動設定」を「あり」に設定しておく必要があります。**
☞173ページ

⚠危険

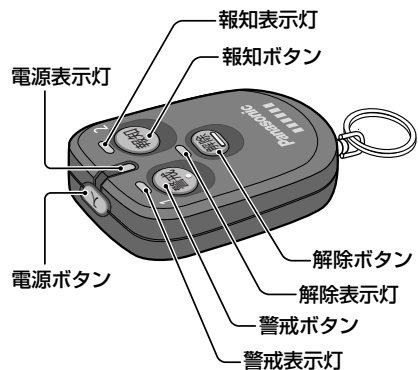
ガスもれ時に、いるふり照明や緊急時照明連動機能が働き照明が点灯すると、火花などによる爆発のおそれがあります。

いるふり照明設定や緊急時照明連動設定を「なし」に設定すると、照明が自動的に点灯することはありません。必要に応じてお使いください。☞171ページ・173ページ

MEMO

●警戒セット・解除発信器の使いかた

●警戒セット・解除発信器を使用すると、外出時に敷地を出てから即時警戒セットしたり、帰宅時に警戒を解除してから宅内に入ることができます。

警戒セット・解除発信器
（ECD3320・ECD3320P）

注 ●親機で警報発生しているときは、警戒セット・解除発信器による操作は行えません。
（電源ボタンを押したときに「ピーピーピー」音が鳴り、警戒表示灯と報知表示灯が点滅している場合は、操作できないことをお知らせします。）

●警戒セット・解除発信器から親機までの電波の到達距離は、障害物のない場合での水平見通し距離約80mです。あらかじめ電波到達距離を確認の上、使用してください。

表示灯の表示内容

■警戒／報知／解除ボタンを押したとき

「－」は消灯を意味します。

表示灯の状態				意　味
電源表示灯	警戒表示灯	報知表示灯	解除表示灯	
点滅	－	－	－	親機と通信中
点灯	点灯	－	－ ※	警戒セット成功
点灯	－	点灯	－	報知セット成功
点灯	－	－	点灯	警戒解除成功
点灯	点滅	点滅	－	警報発生中または警報履歴表示中
点灯	点灯	点灯	－	暗証番号入力待ち
点灯	点灯	点灯	点滅	暗証番号エラー

※:電源ボタンを押した際には、解除表示灯が点滅します。

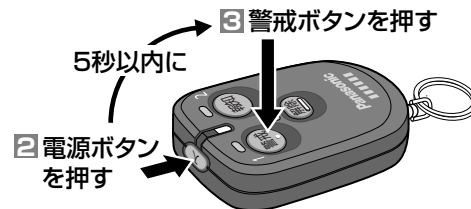
警戒セットする

■非警戒や報知状態から警戒セットする

■警戒開始遅延時間中に警戒セットする

●親機の生活モード設定が「在宅」あるいは「おやすみ」（防犯状態が「非警戒」あるいは「報知」）になっているときに、警戒セット・解除発信器で直接警戒セットすることができます。（生活モードが出荷時設定の場合）

注 ●戸締りができていない玄関や窓がある場合は警戒セットできません。戸締りをするか、親機で操作を行ってください。

●警戒セット・解除発信器の操作は、玄関または敷地を出てから行ってください。

注 ●警戒表示灯が点滅し、「ピピピ」音が鳴った場合は、戸締りができていないことを示します。

●玄関を閉めてすぐに警戒セット・解除発信器を操作すると、「ピピピ」音が鳴り、操作できない場合があります。この場合は、再度、警戒セット・解除発信器で操作し直してください。

1 非警戒や報知状態または玄関の警戒開始遅延状態で玄関または敷地から出る

2 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

●親機との通信中は電源表示灯が点滅します。（約2秒間）

●親機との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。（約5秒間）

3 警戒セット・解除発信器の警戒ボタンを押す

●親機との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、警戒表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

4 警戒セットされる

●親機・副親機の警戒ランプが赤色点灯します。

●警報ランプ付ブザー受信器の警報ランプが点灯し、宅外でも警戒セットを確認できます。（警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。）

●警戒セット・解除発信器の使いかた（つづき）

報知セットする

●親機が非警戒状態になっているときに、警戒セット・解除発信器で直接報知セットすることができます。

1 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

●親機との通信中は電源表示灯が点滅します。（約2秒間）
●親機との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。（約5秒間）

2 警戒セット・解除発信器の報知ボタンを押す

●親機との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、報知表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

3 報知セットされる

●親機・副親機の報知ランプが緑色点灯します。

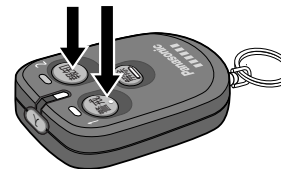
注 親機の生活モード設定が「おでかけ」のときは、警戒セット・解除発信器で報知セットすることはできません。生活モードを「在宅」などに変更してからセットし直してください。
（生活モードが出荷時設定の場合）
☞42ページ

警戒セット状態を解除する

●帰宅時などに、警戒セット・解除発信器で直接警戒セット状態を解除することができます。これにより、予備警報時間を気にすることなく、警戒セット状態を解除してから宅内に入ることができます。

1 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

●親機との通信中は電源表示灯が点滅します。（約2秒間）
●親機との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。（約5秒間）また、次に押すボタンのお知らせとして、解除表示灯が点滅します。

注 「ピーピーピー」音が鳴り、警戒表示灯と報知表示灯が点滅した場合は、親機で警報が発生しています。親機側で確認してください。
警戒セット・解除発信器では警報を解除できません。

2 警戒セット・解除発信器の解除ボタンを押す

●暗証番号が設定されていない場合は、手順 3 の操作は必要ありません。（親機との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、解除表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。）

●警戒表示灯と報知表示灯が点灯します。

警戒ボタン（1）と報知ボタン（2）を押す

例）暗証番号に「1・2・1・2」を設定している場合

（暗証番号を設定している場合のみ）

3 警戒ボタン(1)と報知ボタン(2)を組み合わせて暗証番号を押す

●暗証番号は「1」と「2」を組み合わせた4ケタの数字で設定されています。設定方法については、170ページを参照してください。
●親機との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、解除表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

●暗証番号が間違っていた場合は、解除表示灯が点滅して「ピピピ」音が鳴り、警戒表示灯と報知表示灯が点灯します。再度手順 3 から操作してください。
●暗証番号を3回間違えると、防犯警報が鳴ります。

4 非警戒状態になる

●警戒セット・解除発信器の使いかた（つづき）

報知セット状態を解除する

●親機が報知セット状態のときに、警戒セット・解除発信器で直接報知セット状態を解除することができます。

1 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

●親機との通信中は電源表示灯が点滅します。（約2秒間）
●親機との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。（約5秒間）

2 警戒セット・解除発信器の解除ボタンを押す

●親機との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、解除表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

3 非警戒状態になる

●警報ランプ付ブザー受信器の動作

●警報が発生した場合に、警報ランプ付ブザー受信器を動作させることができます。

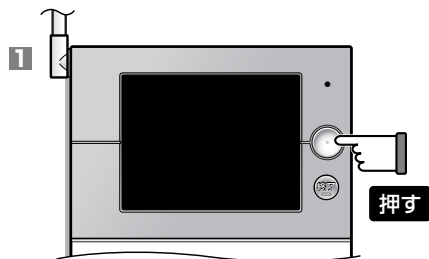
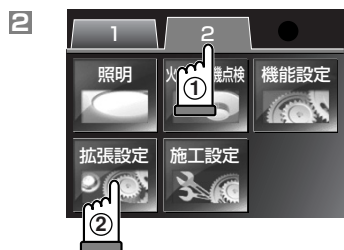
■警報ランプ付ブザー受信器の動作

接続機器 ／ 警報の種類	警報ランプ付ブザー受信器の動作	
	動作開始タイミング	動作停止タイミング
報　知	動作しません。	動作しません。
警戒中の敷地報知	親機の報知音と同時に動作します。	親機の報知音停止時に動作停止します。
予備警報	動作しません。	動作しません。
防犯警報	親機の警報メッセージと同時に動作します。	警戒解除時に動作停止します。
火災警報	親機の警報メッセージと同時に動作します。	警報復旧時に動作停止します。
非常警報	親機の警報メッセージと同時に動作します。	警報復旧時に動作停止します。
警　報（アラームユニット）	親機の警報音と同時に動作します。	警報復旧時に動作停止します。
コ ー ル	動作しません。	動作しません。

●機能・拡張設定について

●使用状況に応じてより快適にお使いいただくための設定項目です。
状況に応じて設定してください。

	設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
機能設定	予備警報鳴動時間	防犯警戒中に防犯異常信号を受信してから警報に移行するまでの時間を1分/5分から選びます。	1分	➡169ページ
	防犯暗証番号設定	防犯警報・予備警報を解除する場合の暗証番号を設定します。簡単に警報解除されないように暗証番号を設定してご使用になることをおすすめします。	―	➡170ページ
	いるふり照明設定	ワイヤレススイッチでのいるふり照明のあり/なし、タイマー点灯時間を設定します。	なし	➡171ページ
拡張設定	緊急時照明連動設定	住宅用火災警報器(連動型)の警報時、ワイヤレス発信器による非常警報時、およびアラームユニット動作時に、ワイヤレススイッチに連動している照明を点灯させるか点灯させないかを設定します。	なし	➡173ページ

設定項目の選びかた

1
1
(ガイドボタン)を押す(親機)
●メニュー画面が表示されます。

2
2
2 をタッチして、機能設定 あるいは 拡張設定 をタッチする
●それぞれの画面が表示されます。

3
機能設定の場合

3 設定項目を選んでタッチする
●選んだ項目の設定画面になります。
●各画面で 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
●拡張設定画面は2ページ構成です。ページは△、▽で切り替えてください。
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■予備警報鳴動時間設定

●防犯警戒中に防犯異常信号を受信してから警報に移行するまでの時間を1分/5分から選びます

注 玄関から親機まで1分以上かかる場合は5分に設定してください。

1
1 機能設定画面で 予備警報鳴動時間設定 を選択する
☞168ページ

2

2 1分/5分を選択し、決定 を選ぶ
●機能設定画面に戻ります。

3 設定が終われば 終了 を押す
●モニター画面が消えます。(待機状態)
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

ワイヤレス

■防犯暗証番号設定

●防犯警報・予備警報を解除する場合の暗証番号を設定します。簡単に警報解除されないように暗証番号を設定してご使用になることをおすすめします。

注 親機と警戒セット・解除発信器で入力する暗証番号は同じです。

1 機能設定画面で 防犯暗証番号設定 を選択する

168ページ

2 あり/なしを選択し 、決定 を選ぶ

● なし を選ぶと設定は終了です。
● あり を選ぶと暗証番号入力画面が表示されます。

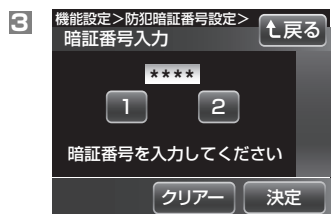
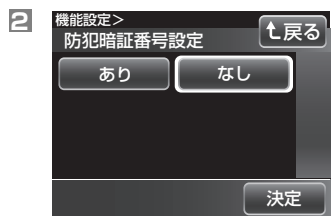
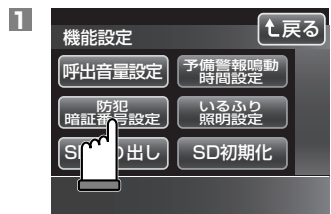
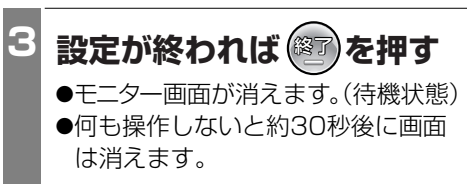
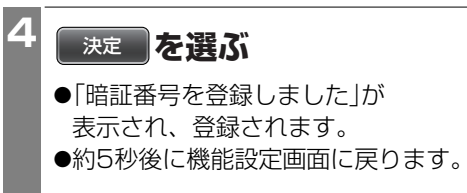
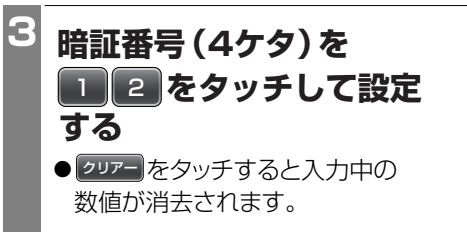
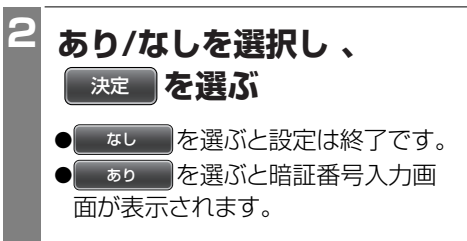
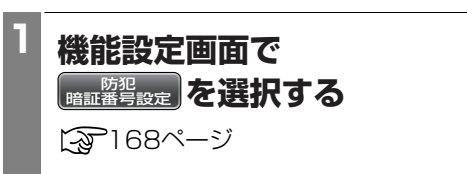
3 暗証番号（4ケタ）を 1 2 をタッチして設定する

● クリアー をタッチすると入力中の数値が消去されます。

4 決定 を選ぶ

●「暗証番号を登録しました」が表示され、登録されます。
●約5秒後に機能設定画面に戻ります。

3 設定が終われば 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

●設定した暗証番号は忘れないようメモしてください

■いるふり照明設定

●ワイヤレススイッチでのいるふり照明のあり/なし、タイマー点灯時間を設定します。

160ページ

1 機能設定画面で いるふり照明設定 を選択する

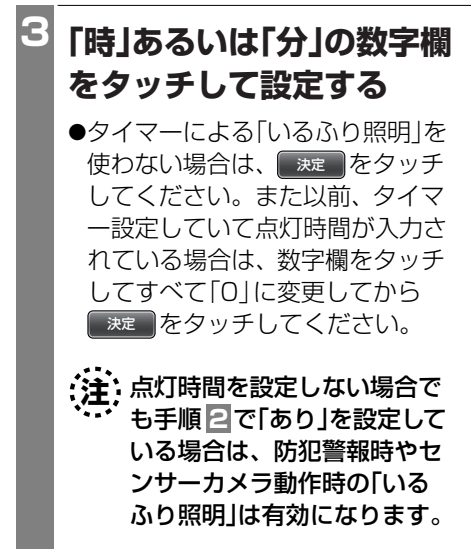
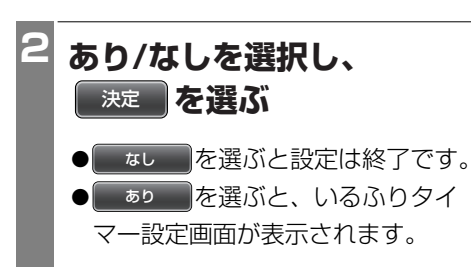
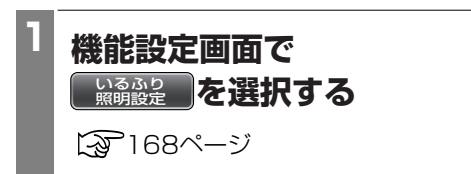
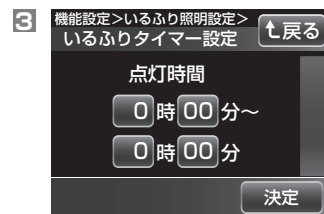
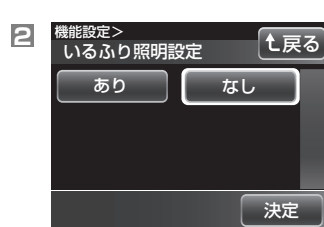
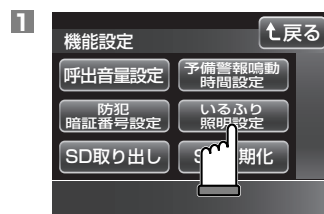
168ページ

2 あり/なしを選択し、決定 を選ぶ

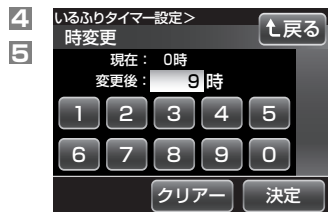
● なし を選ぶと設定は終了です。
● あり を選ぶと、いるふりタイマー設定画面が表示されます。

3 「時」あるいは「分」の数字欄をタッチして設定する

●タイマーによる「いるふり照明」を使わない場合は、決定 をタッチしてください。また以前、タイマー設定していて点灯時間が入力されている場合は、数字欄をタッチしてすべて「0」に変更してから 決定 をタッチしてください。

注 点灯時間を設定しない場合でも手順 2 で「あり」を設定している場合は、防犯警報時やセンサーカメラ動作時の「いるふり照明」は有効になります。

▼ 次ページにつづく

ワイヤレス

■いるふり照明設定（つづき）

4 数値を入力する

● クリアー をタッチすると入力中の数値が消去されます。

5 決定 を選ぶ

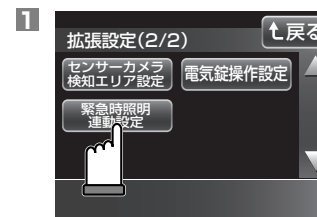
●手順 3 の画面に戻ります。

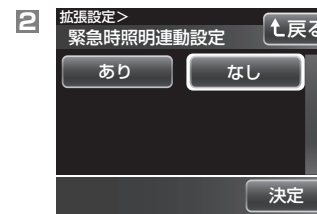
6 手順 3 ～ 5 をくり返して点灯時間範囲を設定する

7 設定が終われば 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

■緊急時照明連動設定

●住宅用火災警報器（連動型）の警報時、ワイヤレス発信器による非常警報時、およびアラームユニット動作時に、ワイヤレススイッチに連動している照明を点灯させるか点灯させないかを設定します。☞160ページ

1 拡張設定（2/2）画面で 緊急時照明連動設定 を選択する

☞168ページ

2 あり/なしを選択し、決定 を選ぶ

●手順 1 の画面に戻ります。

注 ワイヤレススイッチに連動している照明が複数ある場合、一括でのあり/なし設定です。個別設定はできません。

3 設定が終われば 終了 を押す

●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

●故障かな？と思ったら 〔異常時の点検〕

修理・サービスを依頼される前に、次の点検をしてください。

状　態	点　検
全く動作しない	ブレーカーが切れていませんか？
映像がはっきりしない	明るさの設定（7段階）は適切ですか？（50ページ参照） 子器のカメラ部がくもっていませんか？（くもりが取れるまで、しばらく放置してください。） 子器のカメラ部、および親機、副親機のモニター画面の保護シートは、はがしてありますか？
画面が見えにくい	子器の周囲が暗くなっていませんか？（故障ではありません。）
画面に黒い点が映る	太陽や反射光など、目にまぶしい光が映ると、黒い点になって映し出されますが、故障ではありません。（周囲が暗くなると黒い点はなくなります。）
呼出音量が小さい	呼出音量の設定が「小または中」の設定になっていませんか？（120ページ参照）
●通話がとぎれる ●相手の声が聞こえない ●自分の声が相手に伝わらない ●通話に雑音が入る	親機、副親機、通話副親機、子器のまわりで大きな音が出ていませんか？ （故障ではありません。まわりの音が大きく騒がしいとき、音声がとぎれることがあります。50ページの「子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は…」を参照して、通話してください。） 親機、副親機のモニター画面の保護シートは、はがしてありますか？
人がいないのにセンサーカメラが検知動作をする	検知範囲内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起っていませんか？ （原因となるものを取り除いてください。それでも検知動作する場合は、検知エリアをマスキングしてください。（131ページ参照））
センサーカメラが検知動作しているのに、親機で報知しない	センサーカメラ検知が「入（報知あり）」に設定されていますか？（34・43ページ参照） 「おでかけ」モードに設定してから5分以内ではありませんか？（約5分経過後より報知します。）
録画データ再生時に黒い画面が映し出される	近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがありませんか？（右ページ参照）

状　態	点　検
●録画画面が乱れている ●録画されていない	近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがありませんか？ （故障ではありません。強い電波の影響を受けると、画面や音声が乱れたり、乱れた映像や黒い映像を録画したり、または録画されない場合があります。）
住まいるサポから住宅用火災警報器の警報音が止められない	移報接点付の住宅用火災警報器を使用していませんか？

住宅用火災警報器（連動型）で異常が発生したら、状況を確認し、適切に処置してください。

状　態	点　検　・　処　置
住宅用火災警報器から故障警報音が鳴る 故障警報音：「ピッピッピッ、故障です。」（音声）を3回くり返した後、約40秒おきに「ピッピッピッ」（警報音）が鳴る。（以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとにくり返す。）	住宅用火災警報器が故障しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、すみやかに住宅用火災警報器を交換してください。 （住宅用火災警報器の警報動作の詳細は、住宅用火災警報器の説明書を参照してください。）
住宅用火災警報器から連動信号線異常音が鳴る 連動信号線異常音：「ピッピッピッ」が約8秒おきに鳴る。	住宅用火災警報器の配線が短絡、または住まいるサポが故障しています。施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、配線などを確認してください。
住まいるサポから住宅用火災警報器の点検をしたときに「ピッピッピッ、故障です。」と鳴動する、または何も鳴動しない	住宅用火災警報器が故障、または住宅用火災警報器の配線が断線しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、すみやかに住宅用火災警報器を交換する、または配線などを確認してください。
住宅用火災警報器の動作時、住まいるサポから警報音が鳴らない 住まいるサポの警報音：「ピーポー（6回鳴動）、火災警報器が作動しました。確認してください。」が鳴る。	住宅用火災警報器の配線が断線、または住まいるサポが故障しています。施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、配線などを確認してください。

ワイヤレス連動型の住宅用火災警報器を使用している場合

状態	点検・処置
住宅用火災警報器から故障警報音が鳴る 故障警報音： 「ピッピッピッ、故障です。」（音声）を3回くり返した後、約40秒おきに「ピッピッピッ」（警報音）が鳴る。 （以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとにくり返す。）	住宅用火災警報器が故障しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、すみやかに住宅用火災警報器を交換してください。 （住宅用火災警報器の警報動作の詳細は、住宅用火災警報器の説明書を参照してください。）
住宅用火災警報器から電池切れ警報音が鳴る 電池切れ警報音： 「ピッ、電池切れです。」（音声）を3回くり返した後、約40秒おきに「ピッ」（警報音）が鳴る。 （以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとにくり返す。）	住宅用火災警報器の電池寿命が近づいています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、住宅用火災警報器の電池交換を行ってください。 ●電池交換後は住まいるサポから点検を行ってください。（100ページ参照） ●住宅用火災警報器の警報動作の詳細は、住宅用火災警報器の説明書を参照してください。
住宅用火災警報器から電波異常警報音が鳴る 電波異常警報音： 「ピッピッ、電波が届きません。」（音声）を3回くり返した後、約40秒おきに「ピッピッ」（警報音）が鳴る。（以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとにくり返す。）	家電商品やOA機器の電波（ノイズ）の影響を受けている場合があります。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、使用環境を確認して影響している機器を移動させてください。 または、住まいるサポと住宅用火災警報器（親器とすべての子器）の周波数チャンネルを変更してください。 （住宅用火災警報器の警報動作の詳細は、住宅用火災警報器の説明書を参照してください。）
住まいるサポから住宅用火災警報器の点検をしたときに「ピッピッピッ、故障です。」と鳴動する、または何も鳴動しない	住宅用火災警報器が故障、または住宅用火災警報器が登録されていません。施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、すみやかに住宅用火災警報器を交換する、または登録内容などを確認してください。
住宅用火災警報器の動作時、住まいるサポから警報音が鳴らない 住まいるサポの警報音： 「ピーポー（6回鳴動）、火災警報器が作動しました。確認してください。」が鳴る。	住まいるサポが故障、または住宅用火災警報器が登録されていません。施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、配線などを確認する、または登録内容などを確認してください。

メッセージが表示されたときの対処方法

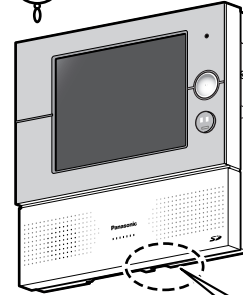
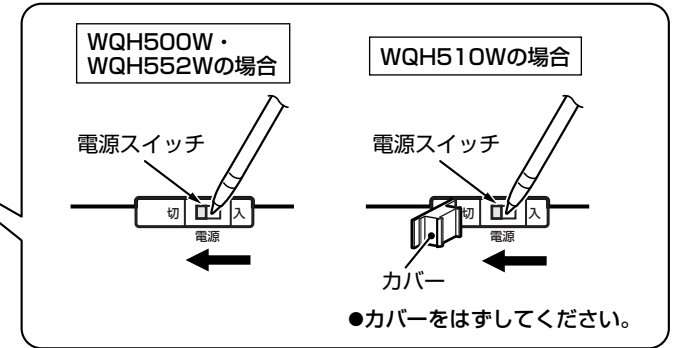
メッセージ	処置
録画できません 留守設定を解除してください	留守設定が「切」の生活モードを選んでください。（30ページ参照）
録画できません 空き容量が不足しています	不要なデータを消去してください。（84ページ参照）
録画できません SDカードの取り出し準備状態です	モニター画面が消えている状態でSDメモリーカードを抜いてください。
録画できません SDカードにロックがかかっています	LOCK（SDメモリーカード側面にあるスイッチ）を解除して、録画可能にしてください。
録画できません SDカードを確認してください	モニター画面が消えている状態でSDメモリーカードを挿入し直してください。それでも表示が消えない場合は、親機でSDメモリーカードを初期化してください。（122ページ参照）※1
録画できません しばらくお待ちください	上記以外の理由で録画ができない状態です。
SDカードを初期化できませんでした	●SDメモリーカードがLOCKされている可能性があります。LOCK（SDメモリーカード側面にあるスイッチ）を解除してください。 ●SDメモリーカードが抜けている可能性があります。挿入し直してください。
時刻設定してください	時刻を設定してください。（28ページ参照）

※1：SDメモリーカード内の画像やデータは、すべて消去されます。
　　必要な画像やデータは、パソコンなどに保存してください。

ワイヤレスシステムで異常が発生した場合
（親機がWQH510Wの場合）

状 態	点 検	処 置
発信器・送信器を動作させても親機が動作しないまたは、ときどき動作しない	発信器・送信器の電池が正しく入っていますか？	極性を確認して正しく電池を入れてください。
	古い電池を使っていませんか？	新しい電池と交換してください。
	発信器・送信器は登録されていますか？	発信器・送信器を登録してください。（付属の設定マニュアル参照）
	親機と発信器・送信器の間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がありませんか？	電波を通しにくい障壁を避けて、動作する場所で使用してください。
	親機または発信器・送信器の近くに、ファクシミリやパソコンなど電波（ノイズ）を出している家電商品やOA機器がありませんか？（受信モニターが赤色点灯・点滅）	電波（ノイズ）を出している家電商品やOA機器の近くを避けて、動作する場所で使用してください。
	親機と発信器・送信器間の距離が離れすぎていませんか？	距離を近づけ、動作する場所で使用してください。
	発信器・送信器の近くで携帯電話やPHS電話を使用していませんか？	携帯電話やPHS電話の使用を終了し、発信器・送信器を操作してください。
	発信器・送信器の近くにAC100V機器またはAC100V電源線が配置されていませんか？	AC100V機器、AC100V電源線の近くを避けて、動作する場所で使用してください。

故障と思われる場合には…

点検しても故障かな？と思われる場合は、親機・副親機の電源スイッチを「切」側にし、施工店へ連絡してください。

注 通話副親機には電源スイッチはありません。

用語集

WQH500W WQH510W

用語	意味
生活モード（おでかけ／おやすみ／在宅）	現在の生活モード（状態）を選ぶことによって、留守録画やセンサーカメラ検知、防犯状態（WQH510Wのみ）をそのモードに適した状態に自動設定する機能。外出するときは「おでかけ」、就寝するときは「おやすみ」、家にいるときは「在宅」を選んでください。（30ページ参照）
出荷時設定	製品を工場から出荷する時点での、各設定の初期状態。この取扱説明書は出荷時設定を前提として説明していますが、施工店によって各設定が変更されている場合がありますので、ご不明の点は施工店にお問い合わせください。
センサーカメラ連動	センサーカメラを設置している場合、侵入者を検知しなくても、子器（玄関）から呼び出されたときに親機・副親機の「子画面」にセンサーカメラの映像を表示させる機能。（付属の設定マニュアルの「子器設定」を参照するか、施工店にお問い合わせください。）
エコ	住まいるサポ専用計測ボックスが接続されている場合に、家庭内の消費電力や省エネ状態を詳しくモニターできる機能。（住まいるサポ専用計測ボックスが接続されているかどうかは、施工店にお問い合わせください。）

WQH510W

用語	意味
防犯状態（警戒／報知／非警戒）	生活モードを切り替えることによって設定されるワイヤレスセンサーの状態。警戒、報知、非警戒の3種類の状態があり、それぞれで防犯の動作が異なります。（45ページ参照）
エリア	ワイヤレスセンサーが登録されている場所の範囲。ご自宅は「玄関」「窓」「敷地（門扉と玄関の間や庭など）」といったエリアに分けられており、ワイヤレスセンサーが検知したときには、登録されているエリア、防犯状態（警戒、報知、非警戒）によって異なる動作をします。ご自宅のエリアがどのように分けられているかは設定マニュアルの「登録設定シート」をご確認いただくか、施工店にお問い合わせください。
警戒開始遅延時間（状態）	警戒セットをしてから防犯警戒状態に入るまでの時間（5分間）。この間に敷地内から出てください。
予備警報	防犯警戒中に玄関に登録された送信器からの防犯異常信号を受信してから、防犯警報に移行するまでの状態。
予備警報時間	予備警報の時間（1分間/5分間）。この時間内に警戒解除操作を行えば、防犯警報には移行しません。
電波到達確認	発信器・送信器などの電波が確実に届くかどうかを確認する機能です。（設定マニュアルの「電波到達の確認」を参照）

仕様

屋内用

住まいるサポ［S型］3:5親機（露出型）

WQH500W

項目	仕様
電源電圧	AC100V 50／60Hz
消費電力	動作時：13W 待機時：2W
通話方式	音声自動切替方式
画面	5.0型カラーTFT液晶
種別	補助警報装置（音式、住警器用）
型式	外部電源方式（AC100V、300mA）
型式番号	鑑住補第21〜1号
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂・難燃性ポリカーボネート ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃〜+40℃
寸法	高さ：約165mm 幅　：約162mm 奥行：約31.5mm
質量	約600g

住まいるサポ［W型］3:5親機（露出型）

WQH510W

項目	仕様
電源電圧	AC100V 50／60Hz
消費電力	動作時：13W 待機時：2W
通話方式	音声自動切替方式
画面	5.0型カラーTFT液晶
種別	補助警報装置（音式、住警器用）
型式	外部電源方式（AC100V、300mA） 無線式（発信器、受信器）
型式番号	鑑住補第21〜4号
使用周波数	住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）用 426.6625MHz（CH.1） 426.6875MHz（CH.3） 426.7125MHz（CH.5） 426.7375MHz（CH.7） の1波 ワイヤレスセキュリティ用 426.7625MHz（CH.1） 426.7875MHz（CH.3） 426.8125MHz（CH.5） 426.8375MHz（CH.7） の1波 周波数設定スイッチで選択 ワイヤレススイッチ用 426.1125MHz（CH.A） 426.0875MHz（CH.B）
電波の到達距離 周囲の環境により異なります。	●親機〜発信器・送信器、住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）、警報ランプ付ブザー受信器 障害物のない場所での水平見通し距離：約80m ●親機〜ワイヤレススイッチ 障害物のない場所での水平見通し距離：約30m
送信出力	ワイヤレスセキュリティ用・住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）用 10mW ワイヤレススイッチ用 1mW
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂・難燃性ポリカーボネート ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃〜+40℃
寸法	高さ：約165mm （アンテナを伸ばした状態261.5mm） 幅　：約162mm 奥行：約31.5mm
質量	約640g

仕　様 （つづき）

屋内用

住まいるサポ3:5副親機（露出型）

WQH552W

電源電圧	AC100V　50／60Hz
消費電力	動作時：4W　待機時：1W
通話方式	音声自動切替方式
画　　面	3.5型カラーTFT液晶
種　　別	補助警報装置 （音式、住警器用）
型　　式	外部電源方式 （AC100V、150mA）
型式番号	鑑住補第21～2号
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂・ 難燃性ポリカーボネート ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸　　法	高さ：約165mm 幅　：約162mm 奥行：約31.5mm
質　　量	約430g

住まいるサポ3:5通話副親機（露出型）

WQH571W・WQH570W

電源電圧	AC100V　50／60Hz
消費電力	動作時：2W　待機時：1W
通話方式	音声自動切替方式
種　　別	補助警報装置 （音式、住警器用）
型　　式	外部電源方式 （AC100V、150mA）
型式番号	鑑住補第21～3号
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂 ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸　　法	高さ：約180mm 幅　：約116mm 奥行：約　30mm
質　　量	約350g

屋外用

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出薄型）（警報表示付）

WQD852B（オフブラック）
WQD852S（シルバー）
WQD852Y（シャンパンブロンズ）

電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	−10℃～+50℃
寸　　法	高さ：約150mm　幅：約110mm 奥行：約23mm（カメラ部除く：約18.5mm）
質　　量	約260g（取付金具も含む）

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（FFシリーズ）（警報表示付）（ブラック）

WQD827B（横型）
WQD828B（縦型）

電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	−10℃～+50℃
寸　　法	**WQD827B** 高さ：約92mm　幅：約184mm 奥行：約59mm（カメラ部除く：約54mm） （商品取付時、壁面より約15mm） **WQD828B** 高さ：約184mm　幅：約92mm 奥行：約59mm（カメラ部除く：約54mm） （商品取付時、壁面より約15mm）
質　　量	約270g

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出型）（警報表示付）

WQD872B（オフブラック）
WQD872S（シルバー）
WQD872Y（シャンパンブロンズ）

電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	−10℃～+50℃
寸　　法	高さ：約128mm　幅：約96mm 奥行：約29.5mm（カメラ部除く：約25mm）
質　　量	約170g

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出薄型・金属プレート）（警報表示付）

WQD862B（ブラック）
WQD862Y（シャンパンブロンズ）

電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	本　　体：難燃性ABS樹脂 金属プレート：アルミダイカスト
使用周囲温度	−10℃～+50℃
寸　　法	高さ：約162mm　幅：約120mm 奥行：約23mm（カメラ部除く：約20.5mm）
質　　量	約390g（取付金具も含む）

ドアホン子器（露出型）

WQD500A

電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	170mA
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	−10℃～+50℃
寸　　法	高さ：約128mm 幅　：約　96mm 奥行：約　36mm
質　　量	約180g

●仕　様 （つづき）

屋外用

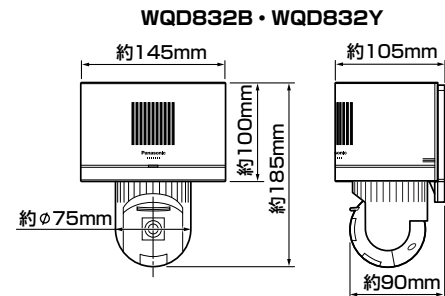
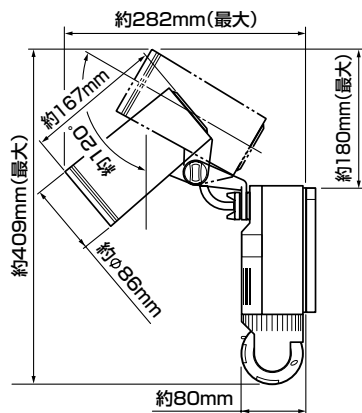
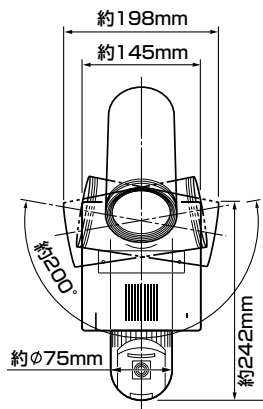
センサーライト付カメラ子器	WQD843B・WQD843Y
センサー付カメラ子器	WQD832B・WQD832Y

電源電圧	AC100V　50／60Hz
消費電力	WQD843B・WQD843Y　45W WQD832B・WQD832Y　4.4W
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス （近赤外線発光素子点灯による）
センサー有効検知距離	5m以下（取付高さ2m～3m）
センサー検知速度	0.3m／秒～1.5m／秒 （距離0.5m～5mにて）
音量（前方1m）	アラーム音量設定スイッチ 標準側：約50dB　大側：70dB以上
ケースの材質	WQD843B・WQD843Y 本　　体：難燃性ポリカーボネート カメラ部：アクリル 照明器具：アルミダイカスト
	WQD832B・WQD832Y カバー：難燃性ポリカーボネート 本　　体：難燃性AAS樹脂 カメラ部：アクリル
使用周囲温度	－10℃～＋50℃
質　　量	WQD843B・WQD843Y 約2kg WQD832B・WQD832Y 約850g

WQD832B・WQD832Y

寸　法

WQD843B・WQD843Y

約282mm（最大）
約167mm
約120°
約180mm（最大）
約409mm（最大）
約φ86mm
約80mm

●保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電　話（　　）　－
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…
「故障かな?と思ったら」（174～180ページ参照）でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- ●製品名　住まいるサポシステム
- ●品　番
- ●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用
【部品代】部品および補助材料代
【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この住まいるサポの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

●保証とアフターサービス （つづき）

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理に関するご相談は…………………

パナソニック エコソリューションズ修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎06-6906-1090

札幌 ☎011-261-6401㊫　名古屋 ☎052-551-7900㊫

東京 ☎03-5392-7190㊫　福岡 ☎092-622-0531㊫

※㊫印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365

携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合…**06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル…**0120-878-236**

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。